
日本植物学会第82回大会 研究発表記録



Proceedings of the 82nd Annual Meeting of
the Botanical Society of Japan, Hiroshima 2018

2018年9月14日(金)～9月16日(日)

広島国際会議場

<http://bsj82.jp/>



日本植物学会
The Botanical Society of Japan

研究発表記録電子版へのアクセスはこちら



URL: <http://bsj82.jp/epub.html>

公益社団法人日本植物学会第82回大会実行委員

大会会長：山口 富美夫

実行委員長：嶋村 正樹

会計担当：小塚 俊明

寄付担当：鈴木 克周／坪田 博美

企業展示・ランチョンセミナー担当：島田 裕士／深澤 壽太郎

プログラム・要旨集担当：草場 信／守口 和基／中坪 孝之／田中 伸和／信澤 岳／岩根 敦子

シンポジウム・関連集会担当：坂本 敦／藤江 誠

会場担当：入船 浩平／上田 晃弘／久我 ゆかり／田頭 紀和／富永 るみ／中川 直樹／
西田 翔／信澤 岳／藤川 愉吉／松崎 雅広

託児室担当：高橋 美佐

懇親会・ミキサー担当：深澤 壽太郎／島田 裕士

広報・ホームページ担当：藤川 愉吉／嶋村 正樹

高校生発表担当：竹下 俊治

公開講演会担当：坪田 博美／高橋 陽介

広島大会シンボルマーク

今大会のシンボルマークは、モミジ類（ムクロジ科）とした。広島県には、宮島、三段峡、帝釈峡などモミジ類の紅葉の名所が多く、葉の形をかたどった「もみじ饅頭」、県木・県花としても親しまれている。宮島では、コハウチワカエデ、イロハモミジ、オオモミジ、ヤマモミジ、ミヤジマカエデ、テツカエデ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、トウカエデなどの生育が報告されている。

表紙写真：内田慎二
解説、シンボルマークデザイン：嶋村正樹





目次 / Contents

大会会場案内	4
大会に参加される方へ	8

プログラム 15

日程表	16
学会賞授賞式および受賞講演	19
シンポジウム	21
公開講演会	37
口頭発表／シンポジウム 一覧表	38
口頭発表座長一覧	62
ポスター発表	64
高校生研究ポスター発表	80

受賞講演要旨 83

日本植物学会大賞・学術賞講演	85
日本植物学会奨励賞・若手奨励賞講演	87

シンポジウム要旨 91

口頭発表要旨 147

ポスター発表要旨 203

発表者名索引 267

広告 281

会場への交通案内

大会会場

大会会場は、広島国際会議場（〒731-0811広島市中区中島町1-5）です。

- 広島空港からリムジンバス／所要時間：約 60 分。ターミナルビル 1 階到着フロア 1 番ホームより、リムジンバス広島バスセンター行に乗車し、終点下車、徒歩約 10 分
- JR 広島駅から市内電車／所要時間：約 25 分。JR 広島駅南口より市内電車②系統 宮島口行き、または⑥系統 江波行きに乗車、「原爆ドーム前」下車、徒歩約 10 分。または①系統 広島港行に乗車、「袋町」下車、徒歩約 10 分
- JR 広島駅から路線バス／所要時間：約 20 分。JR 広島駅南口バスのりばから、広島バス 24 号線 吉島営業所または吉島病院行、「平和記念公園」下車すぐ
- JR 広島駅から観光循環バス／所要時間：約 20 分。JR 広島駅北口「めいぶる〜ぷ」のりばから乗車、「平和公園前」下車すぐ（9:00～19:30のみ運行）
- 大会会場に参加者のための駐車場はありません。また周辺の駐車場（有料）の数には限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください

公開講演会会場

公開講演会は、9月17日（祝）10:00より、宮島学園（宮島小中学校）体育館で開催します（〒739-0588広島県廿日市市宮島町779-2）。JR、広島電鉄で「宮島口駅」までおいでください。フェリーで宮島へお渡りいただき、左方向へ徒歩5分です。JRを用いた場合、広島駅からの所要時間は約50分です。

懇親会会場

懇親会は9月15日（土）18:30～20:30に、メルパルクホテル6階『平成』で開催します。会場は広島国際会議場から北へ徒歩約10分、旧広島市民球場跡地・広島バスセンター・そごう隣です（広島県広島市中区基町6-36）。5階には、授乳室もごございます。メニューは、広島、瀬戸内の食材を使った料理が提供され、有名お好み焼き店の屋台によるお好み焼きの提供も行ないます。また、実行委員会厳選の広島日本酒も多数準備いたします。事前に申し込まれていない方も当日参加を受付けますので、ご希望の方は大会受付にて、当日の午前中までにお申し込みください。懇親会会場でも18:00～19:00の時間帯に参加申し込み可能です。

ミキサー会場

ミキサー会場は休憩室及び、H、I会場です。ミキサーは大会1日目、9月14日（金）17:30から開催します。

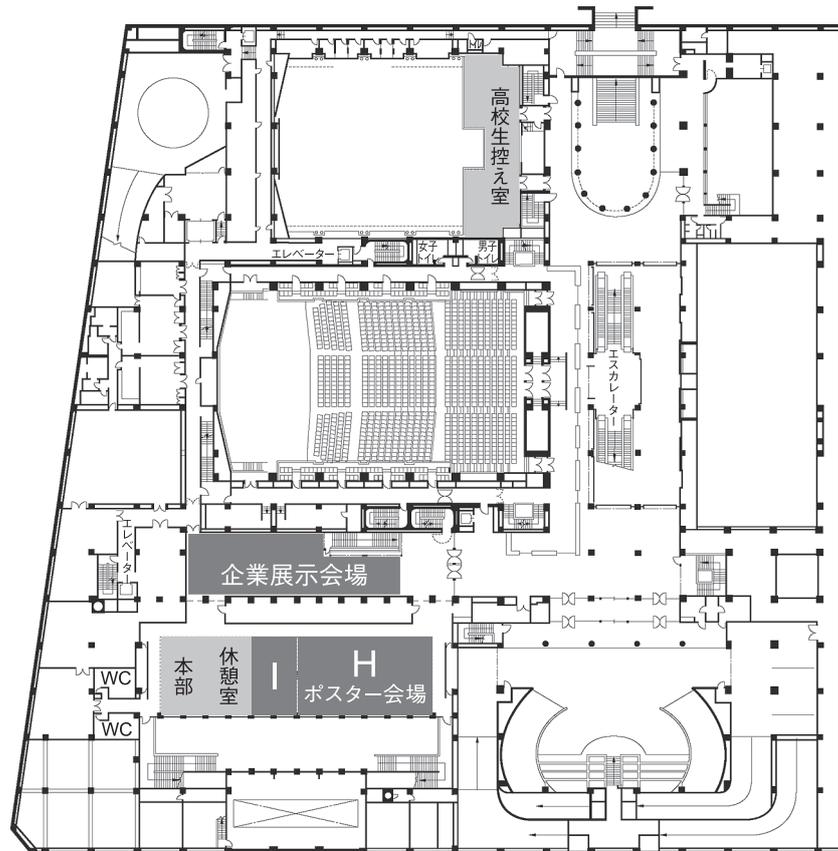
大会会場の詳細は次ページ以降の案内図をご覧ください。

会場周辺地図

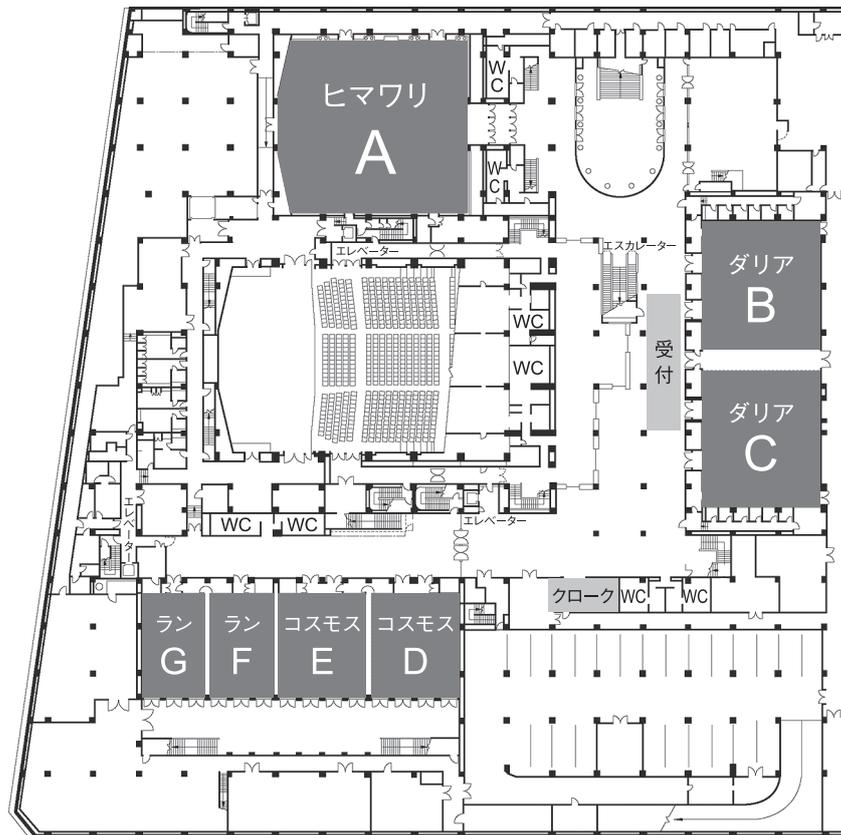


会場配置図

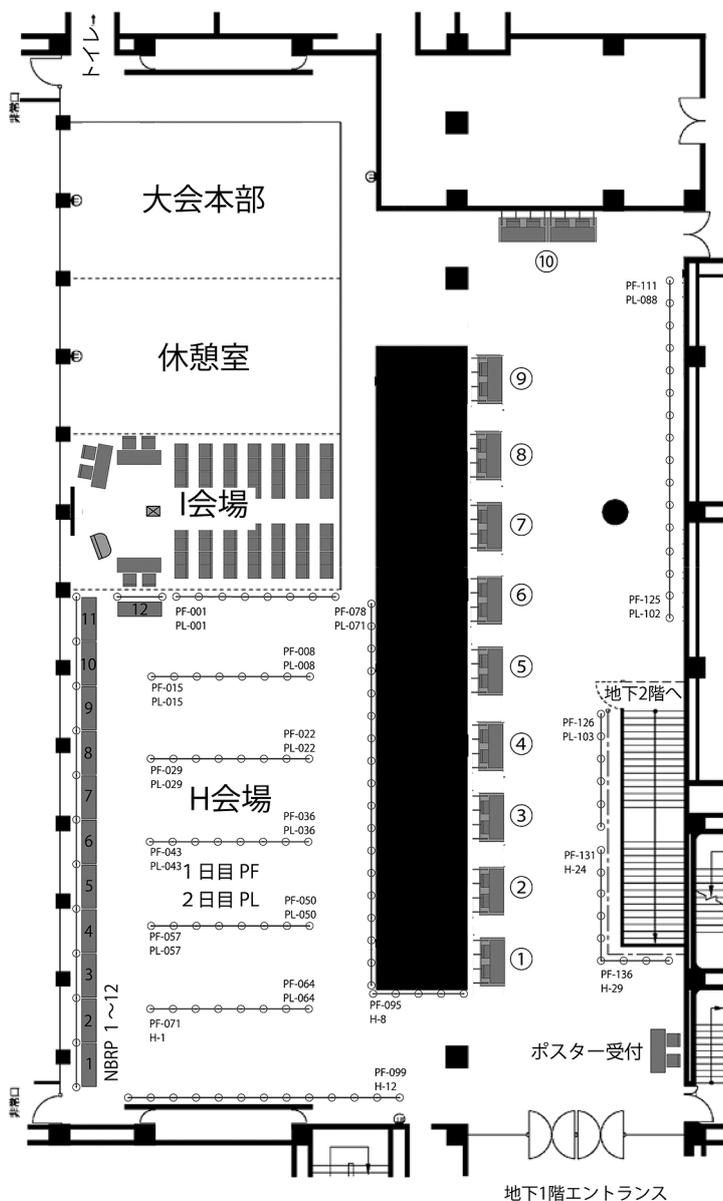
地下1階



地下2階



ポスター・企業展示詳細配置図



出展企業・団体一覧

書籍展示等

- ① シュプリンガー・ジャパン
- ② 新学術領域 植物構造オプト

機器展示

- ③ 中立電機株式会社
- ④ 先端バイオイメージング支援 (ABiS)
- ⑤ シーシーエス株式会社
- ⑥ ナモト貿易株式会社
- ⑦ ネットパジーン株式会社
- ⑧ 大学連携バイオバックアッププロジェクト (IBBP)
- ⑨ (株)ニコンインステック
- ⑩ 株式会社日本医化器械製作所

NBRP 展示

- 1) シロイヌナズナ
- 2) イネ
- 3) コムギ
- 4) オオムギ
- 5) ミヤコグサ・ダイズ
- 6) トマト
- 7) 広義キク属
- 8) アサガオ
- 9) 藻類
- 10) 細胞性粘菌
- 11) 酵母
- 12) 情報 (リソース総合)

大会に参加される方へ

受付と全般的注意

- (1) 受付は9月14日(金)8時30分から、大会受付(地下2階B、C会場正面)で行います。当日参加、関連集会、年会費納入、学会入会の受付も行います。9月15日午後は、A会場入り口付近に受付を設置します。
- (2) 会場内では必ず名札を着用してください。名札ケースは受付付近に準備しています。事前に参加登録をお済ませの方には、参加証(名札)をお送りしています。
- (3) 大会受付付近にホワイトボードを設けます。伝言板としてご利用ください。
- (4) 発表内容に関して、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、もしくは講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを厳に禁止します。

研究発表

▶ 口頭発表(一般講演)

- (1) 発表時間は1演題につきPCの接続時間を含め15分です。円滑な進行のため、12分の発表と2分30秒の質疑応答を目安にしてください。
- (2) 発表は各会場に備え付けの液晶プロジェクターのみで行います。発表用のPCはご持参ください。大会実行委員会ではPCの準備はしておりません。
- (3) PCの操作ならびに接続は演者自身が行ってください。大会実行委員会では、PCならびにプロジェクターの取り扱いに関するスタッフは配置しておりません。
- (4) 接続はミニD-sub15ピン(VGA端子)です。Macintoshなど特殊な接続アダプター・変換プラグ・ケーブルが必要な場合は、必ずご持参ください。
- (5) PCに電源を接続しないと、正常にプロジェクターに出力できないケースがあります。この現象は、MacBook Airでよく起こります。またバッテリーが弱っている場合にも起こりえます。円滑な遂行のため、電源アダプターとケーブルを各自ご持参ください。
- (6) 試写は休憩室の試写コーナーまたは発表会場でお願いいたします。発表会場では、各セッションの開始30分前から試写が可能です。事前に、お持ちのPCの動作をご確認ください。
- (7) 会場内のスクリーンは各会場に備え付けの1枚のみです。複数の機器による同時投影はできません。
- (8) 液晶プロジェクターは、演台(操作卓)に備え付けの2本のケーブルでPCを接続します。次演者は空いている方のケーブルを用い、自身のPCに接続の上、次演者席でお待ちください。外部モニターの認識にリスタートが必要な場合は予めリスタートをしておいてください。前の演者の発表が終了したら、ご自身のPCを演台まで運び、接続されている方のボタンを押してプロジェクターから投影されている映像を切り替えてください。発表が終了した演者は速やかにPCの接続を外してください。
- (9) 発表には液晶プロジェクターのみが使用できます。液晶プロジェクターの解像度は1024×768(アスペクト比率4:3)ですのでパソコンの解像度も1024×768に設定してください。ワイド画面およびA4には対応しておりませんのでご注意ください。

▶ シンポジウム

- (1) 進行は各オーガナイザーに一任いたします。次の行事予定が入っている会場もありますので、予定時間通りに終了するよう時間配分にご留意ください。
- (2) PCの接続などは、一般講演と同様の要領です。

▶ ポスター発表

- (1) 会場は地下1階H会場です。入口のポスター受付でポスター配置表を確認してください。ポスターは、幅80cm×高さ150cmの範囲で作成してください。演題番号(ポスターボード左上 幅15cm×高さ10cm)ならびに貼付用のピンは、大会実行委員会では準備します。
- (2) ポスターの貼り付けおよび撤去
前半(PF)9月14日(金)8:30から貼り付け可能です。9月15日(土)の14:50~15:00の間に撤去してください。
後半(PL)9月15日(土)15:00から貼り付け可能です。9月16日(日)15:00までに撤去してください。
- (3) ポスター発表の日時は以下の通りです。
前半(PF):9月15日(金)13:20~14:50 後半(PL):9月16日(日)10:30~12:00
- (4) 高校生による研究ポスター発表は9月16日(日)10:30~12:00です。この時間帯に発表および質疑応答を行います。12:00~12:30の間に撤去してください。

発表記録電子版

参加者に発表記録の電子版を提供します。提供するファイルは、EPUB形式（いわゆる。電子ブック）で、iOS、Mac、Android、Windowsの電子ブックソフトウェアで利用できます。

(1) 動作確認ができていないソフトウェア

Mac、iPhone、iPad、iPod：標準装備のiBooks

Android：Moon+ Reader（フリーウェア）、NeoSoar eBook（フリーウェア）

Android端末用のソフトウェアには様々なものがあり、仕様が統一されていないため、日本語フォントが少しおかしいものや、しおり機能を使えないものがありますので、ご注意ください。上記ソフトについては、当方で正常に動作することを確認しています。

Windows：Calibre、Adobe Digital Editions（Adobe社製）

提供する電子ブックファイルは、いずれの機器・ソフトウェアでも共通です。これらのソフトウェアは、いずれも無料でダウンロードすることができます。

(2) 閲覧の方法

Macの場合

アイコンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルをクリックすると自動的にiBooksで開くことができます。

iPhone、iPod、iPadの場合

アイコンをクリックすると、直接iBooksで開くことができます。

Android端末の場合

アイコンをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。EPUB用ソフトウェアで開いてください。

Windowsの場合

アイコンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルを、あらかじめPCにインストールしてあるEPUB用のソフトウェアで開いてください。関連づけしてあれば、プログラムでEPUBファイルをクリックするだけで、そのまま開くこともできます。

電子ブックの通常の機能として、文字サイズの変更、しおりの記憶・呼び出し、検索ができます。なお、電子ブックの画面は、上下スクロールしません。通常の本と同じように、ページを右から左に繰ってください。

また、本大会では、発表記録のPDF版も公開する予定ですので、合わせてご利用ください。

電子ブック正規版とPDF版のダウンロードには、IDとパスワードが必要になります。ダウンロードサイトのURLとダウンロードに必要なIDは、参加登録者にメールでお知らせします。また、大会当日に会場でもお知らせします。パスワードは、大会参加証にも記載されています。

日程

9月13日（木）

時間	内容	会場
12:00～14:00	JPR編集委員会	広島大学東千田未来創生センター M302号室
14:30～16:30	JPR拡大編集委員会	広島大学東千田未来創生センター M302号室
15:00～16:30	運営委員会	広島大学東千田未来創生センター M301号室
17:00～20:00	臨時代議員大会	広島大学東千田未来創生センター M301号室

9月14日（金）〈第1日目〉

時間	内容	会場
8:30～	受付	地下2階
9:30～12:30	口頭発表・シンポジウム・受賞講演	A～I会場
14:00～17:30	口頭発表・シンポジウム・受賞講演	A～I会場
12:30～13:30	日本植物学会関連団体意見交換会	F会場
12:40～13:40	関連集会 植物構造オプト	C会場
17:30～18:30	ポスタービュー（前半：PF）	H会場
17:30～18:30	ミキサー	休憩室、H、I会場
18:00～20:00	関連集会 広島大学国際シンポジウム	A会場
18:00～20:00	関連集会 植物生体膜談話会	B会場
18:00～20:00	関連集会 日本シダ学会	C会場
18:00～20:00	関連集会 数理モデル研究会	D会場

9月15日（土）〈第2日目〉

時間	内容	会場
9:00～12:45	口頭発表・シンポジウム・受賞講演	A～I会場
12:20～13:20	男女共同参画委員会ランチョンセミナー	A会場
13:20～14:50	ポスター発表（前半：PF）	H会場
15:00～18:00	学会賞授賞式・受賞講演・会員の集い	A会場
18:30～20:30	懇親会	メルパルク広島
13:20～14:50	JPR 将来構想委員会	F会場
13:20～14:50	学会賞選考委員会	G会場
13:30～14:30	男女共同参画委員会	I会場

9月16日（日）〈第3日目〉

時間	内容	会場
9:00～12:00	口頭発表・シンポジウム	A～G会場
10:30～12:00	ポスター発表（後半：RF）	H会場
10:30～12:00	高校生研究発表	H会場
12:00～15:00	ポスタービュー（後半：RF）	H会場
12:00～12:45	関連集会 科研費セミナー	B会場
13:00～13:20	高校生研究発表表彰式	A会場
13:30～16:00	理事会シンポジウム	A会場
11:30～13:00	拡大広報・電子出版物編集委員会	I会場
14:30～17:00	大会引き継ぎ	I会場

関連集会

植物学会大会開催期間中に以下の関連集会が開催されます。

(1) JSPS新学術領域「植物構造オプト」

日時 9月14日(金) 12:45～13:45 C会場

内容 平成30年度に新学術領域研究(研究領域提案型)(複合領域)に採択された「植物の力学的最適化戦略に基づくサステナブル構造システムの基盤創成(領域代表:出村拓)」の研究戦略を概説するとともに、平成31年度～32年度公募班の募集について説明する。

出村拓(奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科)

「新学術領域研究・植物の力学的最適化戦略に基づくサステナブル構造システムの基盤創成(植物構造オプト)の公募班の募集について」

世話人 出村拓(奈良先端大・先端科学技術) demura@bs.naist.jp
澤進一郎(熊本大・院・先端科学) sawa@kumamoto-u.ac.jp

(2) 広島大学国際シンポジウム「Plant-Environment Interaction: evolution, diversity, and utilization for crop improvement」(植物と環境の相互作用:進化と多様性、作物改良への利用)

日時 9月14日(金) 18:00～20:00 A会場

内容 大会実行委員会と広島大学インキュベーション拠点「次世代を救う 広大発 Green Revolution を創出する植物研究拠点」との共催でのシンポジウムです。本研究拠点は、学際的研究を通じて、持続的な食料生産の達成、環境問題の解決のための「次世代の Green Revolution」を目指しています。そのためには、植物生産に関わる広範囲の学問分野の知見を結集し、問題の多面的理解、解決を図る必要があると考えています。本シンポジウムでは主に、微生物を含めた植物と環境の相互作用について広島大学で行われている学際的研究の紹介を行います。招待講演者として、ゼニゴケを材料に、植物と菌類の関係性の進化的起源について先駆的研究を進めている Melanie Rich 博士(フランス国立科学研究センター)をお招きして、議論を深めます。

世話人 和崎淳(広島大学大学院生物圏科学研究科)、嶋村正樹(広島大学大学院理学研究科)

お問い合わせ:植物学会大会実行委員会 bsj2018@hiroshima-u.ac.jp

(3) 植物生体膜談話会「植物の光応答と物質輸送のダイナミズム」

日時 9月14日(金) 18:00～20:00 B会場

内容 生体膜における光・ホルモン応答と物質輸送の分野で長年にわたり貢献をしてきた2人の研究者から、これまでの研究を紹介していただきます。植物生体膜に関心、関係の皆様参加をお待ちしています。

1. 飯野盛利(大阪市立大学)

「植物における光・ホルモン応答と生体膜機能」

2. 前島正義(名古屋大学)

「生体膜で輝く分子:プロトンポンプとCa情報変換分子から見えてきたこと」

事前登録は不要です。関連集終了後に懇親会を予定しています。懇親会参加希望者は、世話人までご連絡ください。

世話人 森泉(岡山大学) E-mail: imori@okayama-u.ac.jp

(4) 日本シダ学会

日時 9月14日(金) 18:00～20:00 C会場

内容 植物学会の参加者なら自由に参加していただけるミニシンポジウムです。また、研究対象もシダ植物に限定していません。今回のテーマは、「DNA鑑定を活用して生物多様性を明らかにする」です。一人目の講演者の酒井さんは、形態では種同定の難しいシダの配偶体のDNA鑑定を行ったところ、中部地方固有と考えられてきた稀少種の配偶体が東京都の奥多摩に普通に生育すること等を明らかにしています。二人目の講演者の松岡さんは、菌類の多様性を環境DNAの手法を活用して活発に研究されています。今後、陸上植物を対象にした環境DNA研究を進める上で、とても参考になるはず。ふるってご参加下さい。

1. 酒井絵理佳(首都大学東京 牧野標本館)

「DNA情報によって見出された稀少シダ植物種の独立配偶体」

2. 松岡俊将(兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科)

「DNAメタバーコーディングで迫る菌類の多様性—環境DNAから何が分かるのか」

世話人 村上哲明(首都大学東京・牧野標本館) nmurak@tmu.ac.jp

(5) 第1回数理解モデル勉強会

日時 9月14日(金) 18:00～20:00 D会場

内容 植物科学における数理解モデル解析の現状を見ると、各研究者は基本的に独自に研究を進めており、研究者間の交流はそれほど活発に行われている訳ではありません。こうした中、数理解析研究のさらなる普及・発展のためには、研究者同士を結びつけるコミュニティー環境の構築が重要であると考えられます。そこで、数理解モデルに関心のある研究者が、ウェットかドライか、初心者か経験者かに関係なく一同に集い、研究交流や情報交換を促進する場とすることを目的に本関連集会を企画しました。今後この数理解モデル勉強会は、学会の関連集会として継続的に開催する予定です。第1回の今回は、世話人の一人である藤田が、最初に植物科学における数理解モデル研究を概観して、本勉強会立ち上げの趣旨を説明した後に、参加者に自己紹介を兼ねて研究内容、研究計画、数理解析への興味等を気軽に話していただき、自由な議論を通して研究者間の交流を深めていただく予定です。

演者：藤田 浩徳（基礎生物学研究所） 演題：植物科学における数理解モデル研究

世話人 藤田 浩徳（基礎生物学研究所） hfujita@nibb.ac.jp

杉山 宗隆（東京大学大学院理学系研究科） sugiyama@ns.bg.s.u-tokyo.ac.jp

(6) 「科研費セミナー」（日本学術振興会 学術システム研究センター）

日時 9月16日(日) 12:00～12:45 C会場

内容 科研費改革2018により科研費のしくみが大きく変わりました。科研費と特別研究員の新しい審査のしくみについて、多くの誤解があるようです。今回、この改革に携わってきた学術システム研究センターから説明をしたいと思えます。同センターは現役研究者で構成されており、審査委員の選考を行なう一方で、自らは審査には関わらず厳正なピアレビューを実行しています。自由な発想に基づく研究支援のための科研費と特別研究員制度に関心がある皆様の参加をお待ちしています。

世話人 塚谷 裕一（日本学術振興会 学術システム研究センター；東京大学・院・理）

男女共同参画ランチョンセミナー

（公益社団法人日本植物学会・男女共同参画委員会主催）

「あなたも、明日にも直面するかも、介護の問題」

9月15日(土) 12:20～13:20 A会場

会場に150名分の昼食（弁当・飲料）をご用意します。参加ご希望の方は、セミナー当日の午前8時30分から総合受付で配布する整理券を、大会参加証をご提示の上、お受け取りください。セミナー開始前に、整理券と引き換えに昼食をお渡しします。昼食の配布は150名分に限りさせていただきますが、整理券をお持ちでない方もセミナーには参加していただけます。

【ランチョンセミナー概要】

これまで、男女共同参画ランチョンセミナーでは、様々な角度から育児の問題を取り上げることが多かったのですが、アンケート結果では、介護問題を取りあげて欲しいという要望が少なからず存在していました。そこで今回、初めての試みとして、介護と仕事の両立方法に関する外部講師の講演、および介護休業や遠隔地に住んでいる肉親のケアの経験のある会員を交えたパネルディスカッションの2本立てで、介護問題について考えるセミナーを企画しました。

年間におおむね8～10万人が介護・看護を理由に退職し、その8割が女性であるという全国的な統計結果もあり、介護の負担が女性の就業に影響を与えている可能性が高いことが指摘されています。この機会に、誰もが直面する可能性のある介護と研究の両立問題について、一緒に考えてみませんか。

植物学会会長挨拶

三村 徹郎（神戸大学大学院・理学系研究科・教授）

男女共同参画ランチョンで介護の話題を取り上げる背景

日原 由香子（埼玉大学大学院・理工学研究科・教授）

講演「仕事と介護を両立するための上手な支援の使い方」

講師：河合 雅美（認知症の人と家族の会世話人、薬剤師）

パネルディスカッション「私たちの介護」

パネリスト：河合 雅美

浦和 博子（岐阜聖徳学園大学・教育学部・准教授）

榊原 恵子（立教大学・理学部・准教授）

司 会：吉田 聡子（奈良先端科学技術大学院大学・研究推進機構・特任准教授）

公開講演会

9月17日（祝）には公開講演会「共生を超えて―「神の島」宮島の自然と歴史―」を企画しています。大会参加者の方も自由に参加できます。参加無料です。会場は宮島栈橋から左方向へ出て徒歩5分です。予約・申込は不要ですので、当日会場に直接お越しください。宮島の植物の他、それにかかわる島の生活、文化、歴史などに関する講演会になります。午後は、講演会で議論した宮島の自然に直接触れる機会を設けます。講演会の内容に関連した場所をご案内いたします。

「共生を超えて―「神の島」宮島の自然と歴史―」

日時：2018年9月17日（祝）10:00～12:00

会場：広島県廿日市市宮島町779-2 宮島学園（宮島小中学校）体育館

2018年9月17日（祝）14:00～16:00

コース1：植物観察 宮島港-杉の浦-包ヶ浦

コース2：災害復興事業紹介、紅葉谷-砂防堰堤（集合場所等、公開講演会会場にてお伝えします）

クローク

クロークは地下2階に設置しています。クロークの利用時間は、9月14日（金）8:30～20:30、9月15日（土）8:30～18:30、9月16日（日）8:30～17:00です。

インターネット

会場内では無料無線LANがご利用可能です。

（発表会場）SSID：icch-user パスワード：icchu

（共用ロビー）SSID：icch-free パスワード：icc-h

食堂・売店等

飲食店は、会場のある平和記念公園の東側（大手町、紙屋町方面）に多くございます。国際会議場地下2階レストラン「セレナード」もご利用できます（営業時間：10:00～17:00）。大会2日目の男女共同参画ランチョンセミナーのお弁当（150名）もご利用ください。

休憩室

大会期間中、参加者の皆様の情報交換、および、リフレッシュのために休憩室を設けています。休憩室は、地下1階大会本部横にあります。どうぞご利用ください。喫煙は地下1階のエスカレーター付近の喫煙ブースをご利用ください。

ミキサー

9月14（金）17:30～18:30に、休憩室、ポスター会場付近でミキサーを開催します。ドリンクとおつまみなどを準備する予定です。多数の皆さんのお越しをお待ちいたします。

会員の集い

9月15日（土）受賞講演後、A会場にて、会員の集いを開催します。植物学会運営委員会より、学会の現状と今後の活動予定について説明いたします。植物学会について知る良い機会ですので、会員の皆様はぜひご参加ください。

懇親会

懇親会は9月15日（土）18:30からメルパルク広島で開催します。事前に申し込まれていない方も当日参加を受け付けますので、ご希望の方は大会総合受付にて、当日の午前中までにお申し込みください。

託児室

託児室は、事前に申し込まれた方のみを対象としています。詳細は、申し込まれた方に直接お知らせします。託児室に関するお問い合わせにつきましては、広島大学・高橋（misat@hiroshima-u.ac.jp）までお願いいたします。

高校生研究ポスター発表

高校生による研究ポスター発表、および、高校生研究ポスター発表表彰式を、以下の通り行います。次世代の植物科学者になる高校生の活発な発表にも是非足をお運びいただき、積極的にご質問・アドバイスをいただけるようお願いいたします。高校生研究ポスター発表要旨を必要とされる方は、大会受付でお申し出ください。また、審査に参加いただける会員の方は、当日 H 会場入り口にあります係の者から投票用紙を受け取り、事前をお願い致しました審査員の方々も含めまして、H会場入り口にある箱に審査用紙を入れて審査を 12:00 までに完了していただけますように、お願いいたします。

高校生研究ポスター発表

9月16日(日) 10:30～12:00 地下1階 H会場(奇数番号 10:30～11:45、偶数番号 11:45～12:00)

高校生研究ポスター発表表彰式

9月16日(日) 13:00～13:20 地下2階 A会場

その他

大会期間中、隣接する平和記念資料館に入館する際に、受付で大会参加証(ネームカード)を提示して頂くと、入館料が無料になります。

近隣情報

広島平和記念資料館：<http://hpmmuseum.jp/>

おりづるタワー：<http://www.orizurutower.jp/>

広島城：<http://www.rijo-castle.jp/>

広島国際会議場：<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>

広島県公式観光サイトひろしま観光ナビ：<https://www.hiroshima-kankou.com/>

廿日市市宮島観光公式サイト：<http://www.miyajima-wch.jp/>

大会についての問い合わせ先、事務局

▶ 9月12日(水)まで

<大会・プログラム等に関するお問い合わせ>

日本植物学会第82回大会 事務局

〒739-8526 東広島市鏡山1丁目3番1号 広島大学大学院理学研究科生物科学専攻

植物分類・生態学研究室

TEL: 082-424-7452 / FAX: 082-424-7452 / E-mail: bsj2018@hiroshima-u.ac.jp

<オンライン登録システム、参加費のお支払等に関するお問い合わせ>

日本植物学会第82回大会 サポートデスク

〒730-0031 広島市中区紙屋町2-2-2 紙屋町ビル 2F

(株)JTB広島支店 法人営業部 営業四課(MICE・地域交流) 担当者: 友杉・繁田・中山

TEL: 082-236-3733 / FAX: 082-542-2738 / E-mail: mice_hij@jtb.jp

▶ 9月13日(木)～16日(日)までの4日間

日本植物学会第82回大会本部

国際会議場地下1階 会議運営事務室

E-mail: bsj2018@hiroshima-u.ac.jp

プログラム

Program

日程表 —— 第1日目 9/14 (Fri)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	ヒマワリ		シンポジウム “観る”から“観て測る”の植物科学へ：画像解析の基礎から定量フェノタイピングの現場まで					JPR国際シンポジウム Apical stem cell(s): evolutionary basis for 3D body plans in land plants				関連集会 広島大学国際シンポジウム	
B	ダリア		シンポジウム 一芸に秀でた植物たち					シンポジウム 植物の確率論的なふるまいに基づいた戦略				関連集会 植物生体膜談話会	
C	ダリア		シンポジウム 植物細胞のリプログラミング制御～その鍵は動的恒常性の維持と打破にあり～			関連集会 植物構造 オプト		シンポジウム 新しい光合成の進化学				関連集会 日本シダ学会	
D	コスモス		口頭発表 代謝					口頭発表 代謝 発生			受賞講演	関連集会 数理モデル勉強会	
E	コスモス		口頭発表 生殖				受賞講演	口頭発表 生殖 分類, 系統, 進化					
F	ラン		口頭発表 生態			受賞講演	日本植物学会 関連団体 意見交換会	口頭発表 細胞増殖, 細胞分化					
G	ラン		口頭発表 細胞内小器官			受賞講演	口頭発表 遺伝 環境応答						
H	会議運営 事務室											ポスター ポスター ビュー	
I	会議運営 事務室		口頭発表 成長生理					口頭発表 細胞骨格					
休憩室	会議運営 事務室											ミキサー	

日程表 —— 第2日目 9/15 (Sat)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	ヒマワリ	シンポジウム 新規モデル植物を作ろう： ゲノム解読と形質転換系の確立			ランチョン セミナー 男女共同 参画委員会				学会賞/会員の集い 授賞式 大賞・学術賞 受賞講演 会員の集い				
B	ダリア	シンポジウム 電子顕微鏡で観る多様な 生命現象											
C	ダリア	シンポジウム 細胞の極性成長を支える分子 メカニズムの共通性と独自性											
D	コスモス	口頭発表 発生			受賞講演								
E	コスモス	口頭発表 分類, 系統, 進化											
F	ラン	口頭発表 光合成			受賞講演		委員会会議 JPR 将来構想 委員会						
G	ラン	口頭発表 環境応答					委員会会議 学会賞選考 委員会						
H	会議運営 事務室					ポスター ポスター発表 前半 (PF)							
I	会議運営 事務室	口頭発表 細胞壁					委員会会議 男女共同 参画委員会						
メルパルク広島												懇親会	

日程表 —— 第3日目 9/16 (Sun)

会場名	建物 部屋番号	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A	ヒマワリ	JPR国際シンポジウム New aspects of functional plant nuclear architecture				表彰式 おぼえきれない高校生物！ 一意味のある学びのために研究者コミュニティにできることー	理事会シンポジウム						
B	ダリア	シンポジウム 植物系NBRP リソースとその活用研究最前線				シンポジウム 重力環境が変化した時、動植物はどのように変化し、適応するのか							
C	ダリア	シンポジウム ウェットからモデリングまでのシームレスな研究に向けて			関連集会 科研費セミナー	シンポジウム 小笠原諸島返還から50年、絶滅危惧植物の現状と対策研究							
D	コスモス	口頭発表 発生		形態		シンポジウム 植物の窒素およびリン栄養獲得戦略							
E	コスモス	口頭発表 分類、系統、進化											
F	ラン	口頭発表 ゲノム、プロテオーム				口頭発表 遺伝子発現制御							
G	ラン	口頭発表 生体膜				口頭発表 植物微生物相互作用							
H	会議運営 事務室			ポスター ポスター発表後半 (PL) 高校生ポスター発表			ポスタービュー						
I	会議運営 事務室				委員会会議 拡大広報・電子出版物編集委員会			委員会会議 大会引き継ぎ					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

学会賞授賞式 および 受賞講演

9月15日 (土) 15:00~18:00 A会場

15:00~15:20	授賞式
15:20~15:40	受賞研究内容紹介 (奨励賞・若手奨励賞受賞者)
15:40~16:10	学術賞受賞講演 東山 哲也 会員
16:10~16:50	大賞受賞講演 長田 敏行 会員
16:50~17:00	集合写真撮影
17:10~18:00	会員のつどい
18:30~	懇親会

●大 賞

9/15 16:10-16:50 A会場 座長：馳澤 盛一郎 (東京大)

長田 敏行 (東京大学 名誉教授, 法政大学 名誉教授)

49年前の記憶を思い起こして!

●学 術 賞

9/15 15:40-16:10 A会場 座長：町田 泰則 (名古屋大)

東山 哲也 (名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)

ライブセル解析による被子植物の生殖機構の解明

●奨 励 賞 1aE-AL1 生殖

9/14 12:00-12:30 E会場 座長：西川 周一 (新潟大)

丸山 大輔 (横浜市立大学 木原生物学研究所)

新奇の細胞融合現象による花粉管誘引停止メカニズムの解明

●奨 励 賞 2aD-AL1 発生

9/15 12:15-12:45 D会場 座長：太田 啓之 (東工大)

中村 友輝 (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)

植物の生長および発生における脂質多様性に関する研究

●奨 励 賞 2aF-AL1 光合成

9/15 12:15-12:45 F会場 座長：寺島 一郎 (東京大)

吉田 啓亮 (東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所)

植物オルガネラ機能を支えるレドックス制御ネットワークの包括的解析

● 若手奨励賞 1aF-AL1 生態

9/14 11:15-11:45 F会場 座長：川窪 伸光 (岐阜大)

小林 峻 (琉球大学 理学部 海洋自然科学科)

哺乳類媒植物ウジルカンダの送粉者の地域変異

● 若手奨励賞 1aG-AL1 細胞内小器官

9/14 11:45-12:15 G会場 座長：西村 芳樹 (京都大)

小林 優介 (情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所／日本学術振興会特別研究員)

葉緑体核様体構造の進化と遺伝機構の分子生物学的解析

● 若手奨励賞 1pD-AL1 発生

9/14 17:15-17:45 D会場 座長：長谷部 光泰 (基生研)

福島 健児 (University of Colorado Denver／理化学研究所 環境資源科学研究センター／日本学術振興会特別研究員)

食虫植物のゲノム・形態・機能の進化

特別賞

該当なし

2018年度 JPR 論文賞

[Best Paper Award]

Kaori Takemura, Hiroyuki Kamachi, Atsushi Kume, Tomomichi Fujita, Ichirou Karahara, Yuko T. Hanba (2017) A hypergravity environment increases chloroplast size, photosynthesis, and plant growth in the moss *Physcomitrella patens*. Journal of Plant Research 130: 181–192.

Kotaro T. Yamamoto, Masaaki K. Watahiki, Jun Matsuzaki, Soichirou Satoh, Hisayo Shimizu (2017) Space-time analysis of gravitropism in etiolated *Arabidopsis* hypocotyls using bioluminescence imaging of the *IAA19* promoter fusion with a destabilized luciferase reporter. Journal of Plant Research 130: 765–777.

[Most-Cited Paper]

Yasutaka Chiba, Takafumi Shimizu, Shinya Miyakawa, Yuri Kanno, Tomokazu Koshiba, Yuji Kamiya, Mitsunori Seo (2015) Identification of *Arabidopsis thaliana* NRT1/PTR FAMILY (NPF) proteins capable of transporting plant hormones. Journal of Plant Research 128: 679–686.

9/14 9:30-12:30

A会場

“観る”から“観て測る”の植物科学へ： 画像解析の基礎から定量フェノタイピングの現場まで

共催：新学術領域研究「先端バイオイメージング支援プラットフォーム（ABiS）」（代表：狩野 方伸）

● オーガナイザー

栗原(大窪) 恵美子（理研・環境資源科学研究センター）

檜垣 匠（熊本大・国際先端科学技術研究機構）

近年のイメージング技術の発達に伴って画像解析の必要性が増している。一方、「画像解析はハードルが高そうだと身構える実験系研究者の方も多いのではないだろうか？しかし、画像解析の目的・ポイントを定めるためには、やはり実験者の「眼」も必要不可欠である。本シンポジウムは実験系研究者を対象に、画像解析を身近に感じ、ご自身の研究に取り入れる可能性を考えて頂く契機となるよう、若手演者らによる入門的な内容として企画した。

9:30-9:35		はじめに
9:35-10:00	1aSA01	生物顕微鏡画像における形態情報の抽出とその数量的表現 木森 義隆（福井工業大・環境情報）
10:00-10:25	1aSA02	自動フェノタイピングシステム“RIPPS”による植物環境応答解析 藤田 美紀（理研・環境資源科学研究センター）
10:25-10:50	1aSA03	遺伝解析に価値ある画像解析～イネ科植物の葉形態を例に～ 坂本 莉沙 ^{1,2} （ ¹ 東京大・院・農学生命， ² 日本学術振興会特別研究員DC）
10:50-11:15	1aSA04	フェノタイプベーススクリーニングによるゴム様粒子誘導化合物の探索・解析 栗原(大窪) 恵美子（理研・環境資源科学研究センター）
11:15-11:40	1aSA05	植物細胞の形態形成機構の理解に向けたイメージングと画像解析 檜垣 匠（熊本大・国際先端科学技術研究機構）
11:40-12:05	1aSA06	ハイパースペクトラルイメージングと画像解析による微細藻類モニタリングシステムの開発 大貫 慎輔 ¹ ，大田 修平 ² ，河野 重行 ^{1,3} ，大矢 禎一 ¹ （ ¹ 東京大・院・新領域， ² 国立環境研・生物， ³ 東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ）
12:05-12:30	1aSA07	深層学習を用いて人らしく植物画像から情報抽出する 戸田 陽介 ^{1,2} （ ¹ JST・さきがけ， ² 名古屋大・ITbM）

一芸に秀でた植物たち

●オーガナイザー

福島 健児 (理研・環境資源科学研究センター)

植物界全体の形態的・機能的多様性をここに記すには余白が狭すぎるが、個々の種に限れば注目すべき点は自ずと少数に限られる。その特徴が特に際立った植物は、見つけにくい、育てにくい、実験しにくいなどの困難を伴ったとしても、その“一芸”の真髄に迫らんとする研究者たちを虜にしてきた。本シンポジウムではそのような植物たちに焦点を当て、一芸とそれを可能にするメカニズムについて、驚きと謎を共有したい。

9:30-10:00	1aSB01	食虫植物へ至る進化の細道 福島 健児 ^{1,2} (理研・環境資源科学研究センター, ² Univ. Colorado)
10:00-10:30	1aSB02	光合成をやめた植物「菌従属栄養植物」のしたたかなニート生活 末次 健司 (神戸大・院・理)
10:30-11:00	1aSB03	寄生植物はどうやって宿主を認識するのか? 白須 賢 (理研・環境資源科学研究センター)
11:00-11:30	1aSB04	接ぎ木能力の高いタバコ属植物 野田口 理孝 ^{1,2,3} (名古屋大・院・生命農学, ² 名古屋大・ITbM, ³ JST・さきがけ)
11:30-12:00	1aSB05	自他を識別する植物たち —野生植物にみられる多様な識別システムと応答— 山尾 篁 (弘前大・農学生命)
12:00-12:30	1aSB06	オジギソウの運動を遺伝子レベルで解き明かす 真野 弘明 ¹ , Chao-Li Huang ² , 西山 智明 ³ , 重信 秀治 ⁴ , 豊田 正嗣 ⁵ , 長谷部 光泰 ^{1,6} (基生研・生物進化, ² Dept. Life Sci., National Cheng Kung Univ., ³ 金沢大・学際科学実験センター, ⁴ 基生研・機能解析センター, ⁵ 埼玉大・院・理工, ⁶ 総研大・院・生命科学)

9/14 9:30-12:15

C 会場

植物細胞のリプログラミング制御 ～その鍵は動的恒常性の維持と打破にあり～

●オーガナイザー

大谷 美沙都 (奈良先端大・院・バイオ)

岩瀬 哲 (理研・環境資源科学研究センター)

植物が高い分化可塑性を発揮して細胞状態を大きく変える際には、既存の分子システムがダイナミックに変容しつつもその恒常性が維持される必要がある。本シンポジウムでは、分化可塑性が顕在化するストレス応答時や組織培養系において、ホルモン、転写因子、エピゲノム、RNA代謝等のキーワードを切り口に細胞リプログラミングのメカニズムを探求する研究者が集い、最新の知見に基づいて植物の動的恒常性を議論する。

9:30-9:35		はじめに 大谷 美沙都
9:35-10:00	1aSC01	陸上植物がもつ細胞の分化状態を打破するシステム 石川 雅樹 ^{1,2} , 森下 美生 ^{1,2} , 重信 秀治 ^{1,2} , 長谷部 光泰 ^{1,2} (1基生研, 2総研大・院・生命科学)
10:00-10:25	1aSC02	傷口から蘇る：ストレスから植物体再生までの分子機構 岩瀬 哲, 池内 桃子, 杉本 慶子 (理研・環境資源科学研究センター)
10:25-10:50	1aSC03	「われても末に？ 切断組織の修復と再生」 朝比奈 雅志 ^{1,2} , 松岡 啓太 ¹ , 佐藤 忍 ³ (1帝京大・理工・バイオ, 2帝京大・先端機器分析センター, 3筑波大・生命環境)
10:50-11:15	1aSC04	植物の再生能力獲得を制御するヒストン修飾 杉本 薫 ¹ , 石原 弘也 ¹ , Paul Tarr ² , 天満 春花 ¹ , 角倉 慧 ¹ , 乾 弥生 ¹ , 坂本 卓也 ¹ , 鈴木 孝征 ³ , 稲垣 宗一 ⁴ , 諸橋 賢吾 ¹ , 関 原明 ⁵ , 角谷 徹仁 ⁴ , Elliot Meyerowitz ² , 松永 幸大 ¹ (1東京理科大・理工・応生, 2Caltech・HHMI, 3中部大・応用生物, 4遺伝研, 5理研・環境資源科学研究センター)
11:15-11:40	1aSC05	“RNAの海”で舵をとれ：細胞分化能を支えるRNA代謝制御 大谷 美沙都 (奈良先端大・院・バイオ)
11:40-12:05	1aSC06	品種の壁を越える：オオムギの形質転換や再分化を可能にするゲノム領域の同定 久野 裕 (岡山大・植物研)
12:05-12:15		総合討論 岩瀬 哲

本シンポジウムは JSPS 科研費 JP15HP1002 の助成を受けたものです

Apical stem cell(s): evolutionary basis for 3D body plans in land plants

共催：SPIRITS 「知の越境」融合チーム研究プログラム

新学術領域研究「植物の生命力を支える多能性幹細胞の基盤原理」（代表：梅田 正明）

● オーガナイザー

西浜 竜一（京大・院・生命科学）

楢本 悟史（東北大・院・生命科学）

2 次元的な体制を持つ緑藻が陸上化を果たした頃、植物は 3 次元的な形態形成能を獲得した。これは頂端幹細胞の機能変化に起因する。その後陸上植物進化に伴い、頂端幹細胞は 1 細胞から多細胞へと増加し、さらに複雑な根や花などの器官を発達させた。本シンポジウムでは、コケ・シダ植物における頂端幹細胞の特性、形成機構、機能について、さらに被子植物の頂端機能との比較から陸上植物の幹細胞進化について議論する。

14:00-14:05		Preface Ryuichi Nishihama (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ.)
14:05-14:30	1pSA01	Connections between apical cell function and auxin response in the liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> <u>Ryuichi Nishihama</u> , Takayuki Kohchi (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ.)
14:30-14:55	1pSA02	Coordination of lateral organ development and meristem activity mediated by ALOG protein in <i>Marchantia polymorpha</i> <u>Satoshi Naramoto</u> ¹ , Trozzi Nicola ^{1,2} , Jones Victor ³ , Masaki Shimamura ⁴ , Kanane Sato ¹ , Sakiko Ishida ⁵ , Kimitsune Ishizaki ⁶ , Ryuichi Nishihama ⁵ , Takayuki Kohchi ⁵ , Junko Kyoizuka ¹ (¹ Grad. Sch. of Life Sci., Tohoku Univ., ² SLU/Umea Plant Sci. Centre, ³ Dept. of Plant Sci., Univ. of Oxford., ⁴ Grad. Sch. of Sci., Hiroshima Univ., ⁵ Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ., ⁶ Grad. Sch. of Sci., Kobe Univ.)
14:55-15:20	1pSA03	Roles for CLAVATA in the innovation of 3D growth in land plants <u>Jill Harrison</u> (Sch. of Biol. Sci., Univ. of Bristol)
15:20-15:45	1pSA04	The <i>NO GAMETOPHORES</i> genes regulate the 2D to 3D growth transition in <i>Physcomitrella patens</i> <u>Laura A. Moody</u> , Steven Kelly, Ester Rabbinoiwtsch, Roxaana Clayton, Jane A. Langdate (Dept. of Plant Sci., Univ. of Oxford)
15:45-16:10	1pSA05	Root apical meristem diversity and the origin of roots: insights from extant lycophytes <u>Rieko Fujinami</u> (Fac. of Education, Kyoto Univ. of Education)
16:10-16:35	1pSA06	Structural and functional evolution of the shoot apical meristem <u>Michael J. Scanlon</u> , Margaret H. Frank (Dept. of Plant Biol., Cornell Univ.)
16:35-17:00	1pSA07	Signal integration in plant stem cell control <u>Jan U. Lohmann</u> , Yanfei Ma, Andrej Miotk, Zoran Sutikovic, Anna Medzihradzsky, Christian Wenzl, Christophe Gaillochet, Joachim Forner, Gözde Utan, Klaus Brackmann, Thomas Greb (Dept. of Stem Cell Biol., Centre for Organismal Studies, Heidelberg Univ.)
17:00-17:10		Discussion Satoshi Naramoto (Grad. Sch. of Life Sci., Tohoku Univ.)

9/14 14:00-17:00

B会場

植物の確率論的なふるまいに基づいた戦略

●オーガナイザー

川出 健介 (岡崎統合バイオ)

北沢 美帆 (大阪大・全学教育)

確率論的なふるまいは、分子、細胞、器官、さらには生態系レベルまでの幅広い階層で見られ、量・形・種類など様々なばらつきをうみ出す。近年の実験および理論的な解析から、このばらつきこそ、集団の構造を安定化させる要因であることが分かり始めている。本シンポジウムでは、各階層で見られるばらつきについて、植物がいかに対応しているのか、あるいは、いかに対応しているのか、理解を深める機会としたい。

14:00-14:05		はじめに
14:05-14:35	1pSB01	遺伝子の発現揺らぎ・発現制御・機能間関係：RNA-seq と数理モデル 粟津 暁紀 ¹ 、田邊 章洋 ² 、神谷 麻梨 ³ 、手塚 あゆみ ³ 、永野 惇 ³ (1広島大・院・理, 2明治大・院・現象数理, 3龍谷大・農)
14:35-15:05	1pSB02	核内倍加の確率論的なふるまいと表皮細胞のサイズ分布 川出 健介 ^{1,2,3} (1岡崎統合バイオ, 2基生研, 3総研大)
15:05-15:35	1pSB03	萼片器官の形の頑健性：細胞成長揺らぎの時空間平均化の仕組み 津川 暁 (理研)
15:35-16:05	1pSB04	形の空間にみる制約された揺らぎと多様性：花器官配置の数理解析 北沢 美帆 ^{1,2} 、藤本 仰一 ² (1大阪大・全学教育, 2大阪大・院・理)
16:05-16:35	1pSB05	確率的な現象が生み出す多様性：繁殖戦略の進化と多種共存 柿嶋 聡 (科博・植物)
16:35-17:00		総合討論

新しい光合成の進化学

共催：新学術領域研究「新光合成：光エネルギー変換システムの再最適化」（代表：皆川 純）

● オーガナイザー

園池 公毅（早稲田大・教育）

丸山 真一郎（東北大・院・生命）

光合成の進化について、光合成アンテナ複合体からプロトン駆動力生成に関わる葉緑体の構造や代謝に至るまで、詳細な機能解析により初めて明らかになってきた進化的革新を、自由な発想と大胆な仮説と共に議論する。特に、これまでブラックボックスとされてきた葉緑体の起源や初期進化の研究をはじめ、植物学会だからこそ発信できる新しい光合成研究、葉緑体進化学のあり方を提案する場としたい。

14:00-14:05		はじめに 園池 公毅
14:05-14:30	1pSC01	藍藻から葉緑体への変貌過程における膜機能の進化 児島 征司 ^{1,2} （ ¹ 東北大・学際研， ² 東北大・院・生命）
14:30-14:55	1pSC02	光エネルギー利用効率制御の多様性 秋本 誠志（神戸大・院・理）
14:55-15:20	1pSC03	真核光合成アンテナの起源と断続進化，光を集めるということの意味 丸山 真一郎（東北大・院・生命）
15:20-15:45	1pSC04	光化学系を利用した緑藻の光防御メカニズム 得津 隆太郎（基生研・環境光生物）
15:45-16:10	1pSC05	緑藻の光化学系の淡水適応が陸上化への鍵であった 高林 厚史（北海道大・低温研）
16:10-16:35	1pSC06	細胞内共生による葉緑体の獲得—光合成の毒性による制約 宮城島 進也（遺伝研・細胞遺伝）
16:35-16:45		総合討論

9/15 9:00-11:55

A 会場

新規モデル植物を作ろう：ゲノム解読と形質転換系の確立

共催：新学術領域研究「進化制約方向性」（代表：倉谷 滋）
基礎生物学研究所・新規モデル生物開発センター

●オーガナイザー

長谷部 光泰（基生研・生物進化）

植物は多様であるにも関わらず、動物に較べると、特定の分類群での研究しか進んでいない。そのため、新しい実験植物を開発すると、必ず新しい知見が得られ、新しい植物科学の世界が広がる。近代的な実験生物学を行うには、ゲノム解読と形質転換が必須であるが、両者ともに近年の技術革新によって著しく容易かつ安価となり、博士課程の学生でも新しいモデル植物作出に挑戦できる時代になった。本シンポジウムでは、新規モデル植物作出のコツとノウハウを講演者に存分に公開していただき、新しい挑戦をする若者を励ましたい。

9:00-9:20	2aSA01	はじめに、ヒメツリガネゴケ 長谷部 光泰 ^{1,2} （ ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・院・生命科学）
9:20-9:45	2aSA02	ゲノム解読法の最前線 重信 秀治 ^{1,2} （ ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・院・生命科学）
9:45-10:05	2aSA03	モデル苔類ゼニゴケの現在・過去・未来 河内 孝之（京都大・院・生命科学）
10:05-10:25	2aSA04	シャジクモ藻類ヒメミカツキモのモデル植物化 関本 弘之（日本女子大・理）
10:25-10:45	2aSA05	オジギソウの形質転換と CRISPR/Cas9 によるゲノム編集 真野 弘明（基生研・生物進化）
10:45-11:05	2aSA06	基部被子植物ドクダミの形質転換と花成誘導 萱谷 友美 ^{1,2} （ ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・院・生命科学）
11:05-11:25	2aSA07	ハエトリソウとコモウセンゴケの形質転換技術およびハエトリソウのカルシウムイメージング 須田 啓 ^{1,2} （ ¹ 基生研・生物進化, ² 総研大・院・生命科学）
11:25-11:55		総合討論

電子顕微鏡で観る多様な生命現象

共催：日本植物形態学会

認定 NPO 法人総合画像研究支援 (IIRS)

●オーガナイザー

豊岡 公德 (理研・環境資源科学研究センター)

大隅 正子 (認定 NPO 法人総合画像研究支援)

蛍光イメージングなど特定分子を可視化するための様々な光学顕微鏡技術が発展した現在でも、電子顕微鏡でしか捉えることができない多様な生命現象がある。本シンポジウムでは、単細胞藻類から樹木までの多様な生物材料を対象とし、様々な電子顕微鏡技術を駆使して微細構造レベルの解析を行なっている演者の方々に講演いただき、その解析例を紹介する。それらを踏まえて現状の形態学の課題とそれを解決する方法について議論する。

9:00-9:05		はじめに 豊岡 公德
9:05-9:30	2aSB01	静と動：電子顕微鏡と motion analysis で読み解くユーグレナの光運動反応 加藤 翔太 (帝京大・理工・バイオ)
9:30-9:55	2aSB02	フリーズフラクチャーレプリカ法で観る渦鞭毛藻類の細胞外被形成の過程 関田 諭子 ¹ , 堀口 健雄 ² , 奥田 一雄 ¹ (1高知大・院・黒潮圏, 2北海道大・院・理)
9:55-10:20	2aSB03	電顕 3D とハイパースペクトルで見るヘマトコッカス藻のカロテノイド分布とその動態 大田 修平 ¹ , 河野 重行 ^{2,3} (1国立環境研, 2東京大・院・新領域, 3東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)
10:20-10:45	2aSB04	高圧凍結法を用いた藻類・植物の電子顕微鏡解析 佐藤 蘭子, 豊岡 公德 (理研・環境資源科学研究センター)
10:45-11:10	2aSB05	イネ種子貯蔵タンパク質グルテリンの小胞体から液胞への細胞内輸送機構の解明 福田 真子, 熊丸 敏博 (九州大・院・農)
11:10-11:35	2aSB06	木材細胞壁における非セルロース性多糖類の局在 栗野 達也 ¹ , 米川 翼 ² , 横山 誠人 ¹ , 木村 尚敬 ¹ , 高部 圭司 ¹ (1京都大・院・農, 2京都大・生存研)
11:35-11:40		おわりに 大隅 正子

9/15 9:00-12:00

C 会場

細胞の極性成長を支える分子メカニズムの共通性と独自性

●オーガナイザー

四方 明格 (名古屋大・トランスフォーメティブ生命分子研究所)

武内 秀憲 (名古屋大・トランスフォーメティブ生命分子研究所)

極性成長は、動物から菌類、植物に至るまで広くみられる細胞の成長様式であり、方向性をもった細胞の形作りに重要な仕組みである。近年、蛍光顕微鏡技術や分子生物学的手法の進歩により、極性成長に関わる細胞骨格や膜交通などの分子ダイナミクスが明らかになりつつある。本シンポジウムでは、コケ植物や被子植物、糸状菌における極性成長に関する最新の研究成果を紹介し、生物種間や細胞種間での共通性、また環境応答性などを含めた独自性について議論する場としたい。

9:00-9:25	2aSC01	ヒメツリガネゴケの先端成長における細胞骨格制御 日渡 祐二 ¹ , 佐藤 良勝 ² (1宮城大・食産業, 2名古屋大・WPI-ITbMライブイメージングセンター)
9:25-9:55	2aSC02	糸状菌の極性生長 竹下 典男 (筑波大・生命環境)
9:55-10:20	2aSC03	進化的に保存された微小管依存的な極性成長のメカニズム 本瀬 宏康 (岡山大・院・自然科学)
10:20-10:45	2aSC04	イノシトールリン脂質が制御する根毛の形態形成 平野 朋子 ¹ , 紺野 宏記 ² , 武田 征士 ¹ , 加藤 真理子 ³ , 青山 卓史 ³ , 檜垣 匠 ⁴ , 今村 寿子 ⁵ , 佐藤 雅彦 ¹ (1京都府大・院・生命環境, 2金沢大・理工・バイオAFM, 3京都大・化研, 4熊本大・国際先端科学, 5九州大・医・系統解剖学)
10:45-11:10	2aSC05	根毛の伸長方向制御機構の解析：障害物との接触における根毛の成長ダイナミクス 四方 明格 ^{1,2} , 柳沢 直樹 ¹ , 佐藤 良勝 ¹ , 東山 哲也 ^{1,3} , Claus Schwechheimer ² (1名古屋大・WPI-ITbM, 2ミュンヘン工科大・Chair of Plant Systems Biology, 3名古屋大・院・理)
11:10-11:35	2aSC06	シロイヌナズナの花粉管伸長制御における ANTH ドメインタンパク質の機能 室 啓太 ¹ , 時田 公美 ² , 金岡 雅浩 ^{2,3} , 東山 哲也 ^{2,3} , 中野 明彦 ⁴ , 上田 貴志 ¹ (1基生研・細胞動態, 2名古屋大・院・理, 3名古屋大・WPI-ITbM, 4理研・光量子工学)
11:35-12:00	2aSC07	先端をいく花粉管受容体による極性制御機構の解析 武内 秀憲 ^{1,2} , 井本 美紀 ³ , 長江 拓也 ³ , 東山 哲也 ^{1,3} (1名古屋大・WPI-ITbM, 2名古屋大・高等研究院, 3名古屋大・院・理)

本シンポジウムは JSPS 科研費 JP15HP1002 の助成を受けたものです

New aspects of functional plant nuclear architecture

共催：新学術領域研究（研究領域提案型）「植物の成長可塑性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム」（代表：木下 俊則）

● オーガナイザー

坂本 卓也（東京理科大学）

坂本 勇貴（東京理科大学）

近年、クロマチンイメージング法、クロマチン免疫沈降法や Hi-C 法などのクロマチン解析技術の進歩によって、植物細胞核内におけるクロマチンのダイナミクスを時空間的に捉えることが可能になってきた。本シンポジウムでは、細胞核を構成する核膜、核膜孔、核ラミナ、核小体を包括する核構造研究の新局面として、植物の発生、成長、環境応答における遺伝子発現やゲノムの安定性に繋がるクロマチンの時空間的制御の場としての核構造機能について紹介する。演者として、当該分野において海外で活躍する先鋭的な若手研究者を招待する。

9:00-9:20	3aSA01	Plant nuclear lamina regulates gene expression under stress condition <u>Yuki Sakamoto</u> ¹ , Mayuko Sato ² , Kiminori Toyooka ² , Shingo Takagi ³ , Sachihiro Matsunaga ¹ (¹ Tokyo Univ. Sci., ² CSRS, RIKEN, ³ Osaka Univ.)
9:20-9:50	3aSA02	Exploring bridging complexes at the nuclear envelope in plants <u>Katja Graumann</u> ¹ , Vidya Pawar ¹ , Gwen Detourne ^{1,2} , Frances Tolmie ¹ , Joe McKenna ¹ , Hardeep Gumber ³ , David Evans ¹ , Christophe Tatout ² , Hank Bass ³ (¹ Oxford Brookes University, ² Université Clermont Auvergne, ³ Florida State University)
9:50-10:20	3aSA03	Dynamic regulation of plant nuclear architecture <u>Kentaro Tamura</u> (Univ. Shizuoka)
10:20-10:50	3aSA04	Transgene Silencing in 3D —How a Chromosomal Knot Can Inactivate Foreign DNA Elements <u>Stefan Grob</u> , Ueli Grossniklaus (Univ. Zurich)
10:50-11:20	3aSA05	Elucidating the role of the nucleolus in the global chromatin organization in <i>A. thaliana</i> Ariadna Picart-Piccolo ^{1,2} , Marie-Christine Carpentier ^{1,2} , Nathalie Picault ^{1,2} , <u>Frédéric Pontvianne</u> ^{1,2} (¹ CNRS, Laboratoire Génome et Développement des Plantes, ² Univ. de Perpignan Via Domitia, Laboratoire Génome et Développement des Plantes)
11:20-11:40	3aSA06	Maintenance of chromatin stability brought by two-step regulation of centromere distribution <u>Takuya Sakamoto</u> ¹ , Yuki Sakamoto ¹ , Oko Yuka ¹ , Stefan Grob ² , Ueli Grossniklaus ² , Sachihiro Matsunaga ¹ (¹ Tokyo Univ. Sci., ² Univ. Zurich)

9/16 9:00-12:00

B会場

植物系 NBRP リソースとその活用研究最前線

●オーガナイザー

山口 晴代 (国立環境研・生物・生態系環境研究センター)

佐藤 豊 (国立遺伝研・系統生物研究センター)

ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) は、ライフサイエンス研究の基礎・基盤となるバイオリソースについて、収集・保存・提供を行うとともに、リソースの質的向上、付加価値向上を目指し、かつ時代の要請に応えるリソース整備を行うものです。日本植物学会にゆかりのある植物系 NBRP の魅力を紹介するために、本大会に 12 の NBRP リソースが展示ブースに集結しました。本シンポジウムでは、その中から 6 つの NBRP リソース担当者に、各リソースの特徴と魅力を語ってもらい、リソースを活用して行われた最新で独創的な研究成果について各リソース選りすぐりのユーザーからご講演頂き、植物科学における NBRP リソースの重要性と魅力についての認識を新たに今後の課題等について議論する場としたい。

9:00-9:05	3aSB01	植物科学における藻類リソースの魅力について 河地 正伸 ¹ , 川井 浩史 ² (1国立環境研・生物・生態系環境研究センター, 2神戸大・内海地域環境教育研究センター)
9:05-9:29	3aSB02	ゾンビ化実験で明らかになった創発現象としてのボルボックス走光性 植木 紀子 (ニューヨーク市立大・ブルックリン校)
9:29-9:34	3aSB03	細胞性粘菌リソースと研究への利用 上村 陽一郎 ¹ , 桑山 秀一 ² , 上田 昌宏 ¹ (1理研・生命機能科学研究センター, 2筑波大学・生命環境)
9:34-9:58	3aSB04	細胞性粘菌の化学生態学 齊藤 玉緒 (上智大・理工)
9:58-10:05	3aSB05	キクタニギク自家和合性突然変異体を用いたキク属モデル系統の開発 草場 信, 中野 道治, 小塚 俊明, 谷口 研至 (広島大・院・理)
10:05-10:27	3aSB06	キクタニギクを用いた光周性花成制御機構の解明と電照栽培技術への応用 樋口 洋平 ¹ , 久松 完 ² (1東京大・院・農学生命, 2農研機構・野菜花き)
10:27-10:32	3aSB07	アサガオの多様な変異体リソースと高精度ゲノム情報 仁田坂 英二 ¹ , 星野 敦 ² (1九州大・院・理, 2基生研)
10:32-10:56	3aSB08	アサガオ花卉屈曲系統「台咲」から見る花器官のマイクロ構造の役割 武田 征士 (京都府立大・院・生命環境)
10:56-11:00	3aSB09	マメ科植物研究を牽引するミヤコグサ・ダイズバイオリソース 橋口 正嗣 ¹ , 佐藤 修正 ² , 橋口 拓勇 ¹ , 田中 秀典 ³ , 明石 良 ^{1,3} (1宮崎大・農, 2東北大・院・生命科学, 3宮崎大・IR推進センター)
11:00-11:25	3aSB10	「ミヤコグサ国内野生系統が示す開花時期の大きな違いとその遺伝基盤」～全ゲノム関連解析による責任遺伝子の検出～ 瀬戸口 浩彰 ^{1,2} , 若林 智美 ³ (1京都大・院・人間環境, 2京都大・地球環境学堂, 3奈良女子大・理系女性教育開発共同機構)
11:25-11:30	3aSB11	実験植物としてのコムギとその近縁種 那須田 周平 (京都大・院・農)
11:30-11:54	3aSB12	パンコムギの冠水応答にみられるコムギ・エギロプス属細胞質の多様性 竹中 祥太郎, 山本 涼平, 中村 千春 (龍谷大・農)
11:54-12:00		総合討論 佐藤 豊, 山口 晴代

ウェットからモデリングまでのシームレスな研究に向けて

● オーガナイザー

中田 未友希 (産総研)

爲重 才覚 (横浜市大・木原生研)

実験データを踏まえた適切なモデル化は、植物のシステムとしての理解において重要である。しかしながら、モデリングには数学的知識やプログラミングなどのスキルが必要となるため、ウェットの研究者にとってはまだまだハードルが高いのが現状である。本シンポジウムでは、この問題に精力的に取り組んでいる植物に関わる研究者に、具体的な方法の解説や実際に進める際の経験などをシェアしてもらうことで、これから取り組む場合またはさらなる発展のためにすべきことは何かについて参加者とともに議論したい。

9:00-9:15	3aSC01	Python で茎の表現型解析プログラムを作るまでの道のり 中田 未友希 (産総研)
9:15-9:40	3aSC02	発生シグナルの時空間動態を解くための実験と理論 川出 健介 ^{1,2,3} (1岡崎統合バイオサイエンスセンター, 2基生研, 3総研大)
9:40-10:05	3aSC03	植物科学における数理モデル研究 藤田 浩徳 ^{1,2} (1基生研, 2総研大・院・生命科学)
10:05-10:20	3aSC04	初歩的なモデリングでわかったこと, わからなかったこと ~葉の発生研究を例に~ 爲重 才覚 ¹ , 鳥居 啓子 ^{2,3,4} , 打田 直行 ² (1横浜市大・木原生研, 2名古屋大・ITbM, 3Univ. Washington, 4HHMI)
10:20-10:45	3aSC05	分子生物学的なモデリングとの馴れ初め 寛 雄介 ^{1,2} , 嶋田 幸久 ² (1農研機構・野菜花き, 2横浜市大・木原生研)
10:45-11:10	3aSC06	境界を越え, 異分野に学ぼう ~野外トランスクリプトーム研究などを通じて~ 永野 惇 (龍谷大・農)
11:10-11:35	3aSC07	表現学習による仮説提案型モデルの構築 青木 裕一 ^{1,2} (1東北大・東北メディカルメガバンク機構, 2東北大・院・情報科学)
11:35-12:00		総合討論

おぼえきれない高校生物！ —意味のある学びのために研究者コミュニティにできること—

●オーガナイザー

経塚 淳子（東北大・生命科学）

公益社団法人日本植物学会理事会

生物学教育の本来の目的は、生命現象の多様性と共通性を理解し、その驚異に触れることであるはずですが、しかしながら、科目としての「生物」は暗記科目であると捉えられがちであり、受験に不利とされることから敬遠され、生物を受験科目に選ばなかった医学部生が多数いるほか、先端生命科学研究の成果の社会的受容を遅らせることにもつながっています。いうなれば「生物離れ」が起きているのではないかと危惧され状況なのです。このような状況を改善し、高校生物を科学リテラシーの重要な核とするために、研究者コミュニティに何ができるのか、その一歩を踏み出すきっかけづくりとして、高校の生物教員の皆様も交えて論じ合いたいと思います。

13:30-13:40	3pSA01	はじめに 経塚 淳子（東北大学生命科学研究科）
13:40-14:05	3pSA02	「深い学び」を志向した高等学校生物における授業改善の取り組み 井上 純一（広島大学附属高等学校）
14:05-14:30	3pSA03	なぜ学習は主体的でなくなったか、どうしたら主体的になるか、主体的になると何がよいか 松浦 克美（首都大学東京）
14:30-14:45		休憩
14:45-15:10	3pSA04	高校生物の重要用語について日本学術会議からのメッセージ 中野 明彦（理研・光量子工学研究センター）
15:10-15:35	3pSA05	生物教育の未来 一入試・教科書・検定の三すくみからの脱出を目指して— 園池 公毅（早稲田大学）
15:35-16:00		パネルディスカッション

重力環境が変化した時、動植物はどのように変化し、適応するのか

●オーガナイザー

藤田 知道 (北海道大学・院・理)

久米 篤 (九州大学・農院)

唐原 一郎 (富山大学・院・理工)

生物はこれまで出会ったことのない極限環境下でも適応し生存することができる。この時、どのような変化が起こり生存が可能になるのであろうか。地球上で進化してきた生物にとって重力の大きさは常に1Gであり、重力のない環境や過大な重力がかかる環境に晒されたことはない。本シンポジウムでは、安定した重力環境を増減させることにより、動植物がその変化をどのようにセンスし、遺伝子発現や細胞、生理反応、形態が変化するのかについて、宇宙実験なども含めた独創的な研究を集め、重力変化による動植物の応答機構について議論しその理解を深める。

- | | | |
|-------------|--------|--|
| 13:00-13:20 | 3pSB01 | 生物にとっての重力とは？ 質量・重さ・浮力・対流
久米 篤 (九州大・農院) |
| 13:20-13:45 | 3pSB02 | 重力屈性における重力シグナリング機構
森田 (寺尾) 美代 ^{1,2} , 古谷 将彦 ³ , 西村 岳志 ¹ , 中村 守貴 ¹ , 谷口 雅俊 ¹ , 橋本 (杉本) 美海 ¹
(¹ 名古屋大・院・生命農学, ² 基生研, ³ 福建農林大学) |
| 13:45-14:05 | 3pSB03 | 植物が重力に抗して体を支える反応：抗重力反応
曾我 康一, 若林 和幸, 保尊 隆享 (大阪市大・院・理) |
| 14:05-14:25 | 3pSB04 | 樹木の重力応答 一方向変化と疑似微少重力に対して一
馬場 啓一 ¹ , 辻 祥子 ² , 土井 隆雄 ³ (1京都大・生存研, 2京都大・生態研, 3京都大・宇宙ユニット) |
| 14:25-14:50 | 3pSB05 | 植物の機械 (重力) 刺激受容機構の生物物理学的研究
豊田 正嗣 (埼玉大・院・理) |
| 14:50-15:15 | 3pSB06 | 筋細胞における無重力ストレスのシグナル・トランスダクション
二川 健 (徳島大・院・医歯薬) |
| 15:15-15:40 | 3pSB07 | 微小重力環境は、植物の紫外線障害・修復・応答に影響を及ぼすのか？
日出間 純 ¹ , 高橋 昭久 ² (1東北大・院・生命科学, 2群馬大・重粒子線医学研究センター) |
| 15:40-16:00 | 3pSB08 | 1Gとは異なる重力環境におけるヒメツリガネゴケの成長, 光合成, 遺伝子発現変化
藤田 知道 ¹ , 北島 佐紀人 ² , 蒲池 浩之 ³ , 久米 篤 ⁴ , 唐原 一郎 ³ , 坂田 洋一 ⁵ , 半場 祐子 ² (1北海道大・院・理, 2京都工繊大・応用生物, 3富山大・院・理工, 4九州大・農院, 5東京農大・生命科学) |

9/16 13:00-15:30

C 会場

小笠原諸島返還から 50 年，絶滅危惧植物の現状と対策研究

●オーガナイザー

瀬戸口 浩彰（京都大・院・人間環境）

伊藤 元己（東京大・院・総合文化）

今年是小笠原諸島が日本に返還されて 50 周年，世界自然遺産に登録されて 5 周年を迎える。この島嶼の多くの固有種は様々な保全施策が行われてきたが，今も改善の兆しが見えていないケースが多い。「なぜ希少種が希少なままなのか？」，このシンポジウムでは，その要因を探ります。

- | | | |
|-------------|--------|---|
| 13:00-13:30 | 3pSC01 | <p>初めに：いま，なぜ，小笠原諸島の絶滅危惧植物なのか
瀬戸口 浩彰^{1,2}（¹京都大・院・人間環境，²京都大・地球環境学堂）</p> |
| 13:30-14:10 | 3pSC02 | <p>小笠原に生育する希少植物の保全ゲノミクス
井鷲 裕司¹，兼子 伸吾²，牧野 能士³，浜端 朋子³，邑田 仁⁴，小牧 義輝⁴，成田 智史⁵，加藤 英寿⁶，加藤 朗子⁶，鈴木 節子⁷，須貝 杏子⁸，成田 あゆ⁹（¹京都大・院・農，²福島大・院・共生システム理工，³東北大・院・生命科学，⁴東京大・院・理，⁵環境省・関東地方環境事務所，⁶首都大学東京・牧野標本館，⁷森林総研・森林遺伝研究領域，⁸島根大・生物資源科学，⁹北海道立総合研究機構・林業試験場）</p> |
| 14:10-14:50 | 3pSC03 | <p>小笠原の絶滅危惧植物の現状と課題
加藤 英寿（首都大学東京・院・理工）</p> |
| 14:50-15:30 | 3pSC04 | <p>小笠原諸島における絶滅危惧植物保全に関わる活動のこれまで
中村 隆太（東京大・院・理）</p> |

植物の窒素およびリン栄養獲得戦略

● オーガナイザー

寿崎 拓哉 (筑波大・生命環境)

木羽 隆敏 (名古屋大・院・生命農学)

植物の二大必須栄養素である窒素とリンに関して、細胞レベルでの応答機構、栄養シグナリング、微生物を介した獲得機構などの最新の研究動向を共有する。これらの知見に基づき、窒素・リン栄養獲得機構の植物の種を超えた共通原理や多様性について理解を深めるとともに、今後の研究展開の方向性について討論したい。

13:00-13:05		はじめに
13:05-13:30	3pSD01	硝酸シグナル伝達とリン飢餓シグナル伝達の転写カスケードを介したクロストーク 柳澤 修一 (東京大・生物生産工学研究センター)
13:30-13:55	3pSD02	窒素飢餓応答制御系とリン飢餓応答制御系のクロストーク 木羽 隆敏 (名古屋大・院・生命農学)
13:55-14:20	3pSD03	植物の窒素充足応答 蜂谷 卓土 (島根大・総合科学研究支援センター)
14:20-14:45	3pSD04	長鎖ノンコーディング RNA を介した植物の低窒素・低リン適応戦略 西田 翔 ¹ , 福田 牧葉 ² , 寛 雄介 ³ , 嶋田 幸久 ³ , 和崎 淳 ¹ , 藤原 徹 ² (¹ 広島大・院・生物圏, ² 東京大・院・農学生命, ³ 横浜市立大・木原生研)
14:45-15:10	3pSD05	植物-根粒菌共生における窒素栄養獲得の制御機構 寿崎 拓哉 (筑波大・生命環境)
15:10-15:35	3pSD06	内生糸状菌との相互作用を介したアブラナ科植物のリン栄養獲得戦略 晝間 敬 ^{1,2} (¹ 奈良先端大・院・バイオ, ² JST・さきがけ)
15:35-15:45		総合討論

公開講演会 9/17 10:00-12:00

宮島小中学校体育館

会場は宮島栈橋から左方向へ出て徒歩5分です。予約・申込は不要ですので、当日会場に直接お越しください。宮島の植物の他、島の生活、文化、歴史などに関する講演会になります。

共生を超えて—「神の島」宮島の自然と歴史—

日本植物学会会長の御挨拶

三村 徹郎（神戸大学大学院理学研究科教授・日本植物学会会長）

はじめに

山口 富美夫（広島大学大学院理学研究科教授・第82回日本植物学会大会会長）

日本の縮図としての宮島の生態系

関 太郎（広島大学名誉教授）

シカの棲む島、宮島の森林植生の特殊性

奥田 敏統（広島大学大学院総合科学研究科）

歴史資料にみる宮島の自然

本多 博之（広島大学大学院文学研究科）

宮島の土砂災害と紅葉谷川庭園砂防

海堀 正博（広島大学大学院総合科学研究科）

14:00-16:00

自然観察会

講演会終了後、宮島の自然に直接触れる機会を設けます。講演会の内容に関連した場所を案内いたします。

コース1：植物観察 宮島港-杉の浦-包ヶ浦

コース2：災害復興事業紹介 紅葉谷-砂防堰堤

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	シンポジウム “観る”から“観て測る”の植物科学へ：画像解析の基礎から定量フェノタイピングの現場まで	シンポジウム 一芸に秀でた植物たち	シンポジウム 植物細胞のリプログラミング制御～その鍵は動的恒常性の維持と打破にあり～	代 謝 座長：瀬上 紹嗣 石川 寿樹 戸田 恭子
9:30	9:30-9:35 はじめに 9:35-10:00 1aSA01 生物顕微鏡画像における形態情報の抽出とその数量的表現 木森 義隆 (福井工業大・環境情報)	9:30-10:00 1aSB01 食虫植物へ至る進化の細道 福島 健児 ^{1,2} (理研・環境資源科学研究センター, ² Univ. Colorado)	9:30-9:35 はじめに 大谷 美沙都 9:35-10:00 1aSC01 陸上植物がもつ細胞の分化状態を打破するシステム 石川 雅樹 ^{1,2} , 森下 美生 ^{1,2} , 重信 秀治 ^{1,2} , 長谷部 光泰 ^{1,2} (¹ 基生研, ² 総研大・院・生命科学)	1aD01 大豆未熟種皮におけるプロアントシアニジン分子種の品種間差と抗酸化活性との関係 戸田 恭子 ¹ , 高橋 良二 ¹ , 平賀 勲 ¹ , 村井 良徳 ² (¹ 農研機構, ² 国立科博・植物)
9:45				1aD02 外来種シャクチリソバの種子と葉に含有するフラボノイド 小濱 幹太, 上原 歩 (東電大・理工・生命科学)
10:00	10:00-10:25 1aSA02 自動フェノタイピングシステム“RIPPS”による植物環境応答解析 藤田 美紀 (理研・環境資源科学研究センター)	10:00-10:30 1aSB02 光合成をやめた植物「菌従属栄養植物」のしたたかなニート生活 末次 健司 (神戸大・院・理)	10:00-10:25 1aSC02 傷口から蘇る：ストレスから植物体再生までの分子機構 岩瀬 哲, 池内 桃子, 杉本 慶子 (理研・環境資源科学研究センター)	1aD03 スギ未熟雄花芽の糖成分の分析 伊ヶ崎 知弘 ¹ , 掛川 弘一 ² , 菱山 正二郎 ² , 橋田 光 ² (¹ 森林研・樹分遣, ² 森林研・森資化)
10:15				1aD04 ハマツツナの葉に蓄積するフラボノイドと生育環境の変化に伴う変動 森脇 夕貴 ¹ , 村井 良徳 ² , 瀬戸口 浩彰 ³ , 岩科 司 ² , 上原 歩 ⁴ (¹ 東京電機大学大学院 理工学研究科, ² 国立科学博物館植物研究部, ³ 京都大学大学院 人間・環境学研究科, ⁴ 東京電機大学 理工学部)
10:30	10:25-10:50 1aSA03 遺伝解析に価値ある画像解析～イネ科植物の葉形態を例に～ 坂本 莉沙 ^{1,2} (¹ 東京大・院・農学生命, ² 日本学術振興会特別研究員DC)	10:30-11:00 1aSB03 寄生植物はどうやって宿主を認識するのか？ 白須 賢 (理研・環境資源科学研究センター)	10:25-10:50 1aSC03 「われても末に？ 切断組織の修復と再生」 朝比奈 雅志 ^{1,2} , 松岡 啓太 ¹ , 佐藤 忍 ³ (¹ 帝京大・理工・バイオ, ² 帝京大・先端機器分析センター, ³ 筑波大・生命環境)	1aD05 海洋性微細藻ナンノクロプシスを用いた超多価不飽和脂肪酸合成系の構築 永井 千夏, 信澤 岳, 岩井 雅子, 堀 孝一, 佐々木 結子, 下嶋 美恵, 太田 啓之 (東京工業大学生命理工学院)
10:45	10:50-11:15 1aSA04 フェノタイプベーススクリーニングによるゴム様粒子誘導化合物の探索・解析 栗原 (大窪) 恵美子 (理研・環境資源科学研究センター)		10:50-11:15 1aSC04 植物の再生能力獲得を制御するヒストン修飾 杉本 薫 ¹ , 石原 弘也 ¹ , Paul Tarr ² , 天満 春花 ¹ , 角倉 慧 ¹ , 乾 弥生 ¹ , 坂本 卓也 ¹ , 鈴木 孝征 ³ , 稲垣 宗一 ⁴ , 諸橋 賢吾 ¹ , 関 原明 ⁵ , 角谷 徹仁 ⁴ , Elliot Meyerowitz ² , 松永 幸大 ¹ (¹ 東京理科大・理工・応生, ² Caltech・HHMI, ³ 中部大・応用生物, ⁴ 遺伝研, ⁵ 理研・環境資源科学研究センター)	1aD06 シロイヌナズナのコレメラ細胞におけるピロリン酸分解酵素の生理的重要性 木下 悟, 瀬上 紹嗣, 前島 正義 (名古屋大・院・生命農)

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>生殖 座長：南野 尚紀 山岡 尚平 武内 秀憲</p>	<p>生態 座長：中坪 孝之 木下 晃彦</p>	<p>細胞内小器官 座長：吉田 大和 高野 博嘉 岩根 敦子</p>	<p>成長生理 座長：楠見 健介 下遠野 明恵 岩元 明敏</p>	
<p>1aE01 花粉管の伸長および誘引におけるPRK6受容体のシグナル伝達機構の解析 井本美紀¹, 東山 哲也^{1,2}, 武内 秀憲^{2,3} (¹名古屋大・院・理, ²名古屋大・WPI-ITbM, ³名古屋大・高等研究院)</p>	<p>1aF01 マリモ球状集合体の長期維持に必要な連続暗条件への馴化の特性 鈴木 祥弘¹, 中島 康成², 小川 麻里³, 若菜 勇⁴ (¹神奈川大学 理学部 生物科学科, ²神奈川大学 理学研究科, ³安田女子大学 教育学部 児童教育学科, ⁴釧路市教育委員会)</p>	<p>1aG01 先端顕微鏡を用いて細胞分裂過程や細胞分化過程を読み解く 岩根 敦子^{1,2,3} (¹理研・生命機能科学・細胞場, ²阪大・院生命・特別推進, ³広大・院理・理学融合教育)</p>	<p>1aI01 ブラシノステロイド生合成酵素DWF4の根端での蓄積パターンに関する研究 坂口 潤, 渡邊 雄一郎 (東大・院・総合文化)</p>	9:30
<p>1aE02 陸上植物の生殖細胞分化に必要な転写因子BONOBOの同定と標的遺伝子の探索 山岡 尚平¹, 西浜 竜一¹, 吉竹 良洋¹, 石田 咲子¹, 井上 佳祐¹, 齋藤 美咲¹, 岡橋 啓太郎¹, 包 昊南¹, 西田 浩之¹, 山口 勝司², 重信 秀治², 石崎 公庸³, 大和 勝幸⁴, 河内 孝之¹ (¹京大・院・生命科学, ²基生研・機能解析セ, ³神戸大・院・理, ⁴近大・生命理工)</p>	<p>1aF02 絶滅危惧種タチスズシロソウ (<i>Arabidopsis kamchatica</i> ssp. <i>kawasakiana</i>) の個体数に影響する環境要因 原田 美美子, 沼田 はるな, 柳崎 祥希, 小野 夏実, 稗田 真也, 野間 直彦, 岩間 憲治, 吉山 浩平 (滋賀県立大学 環境科学部)</p>	<p>1aG02 葉緑体タンパク質CASによる気孔免疫応答の制御 水野 公貴, 上村 優奈, 椎名 隆 (京府大・院・生命環境)</p>	<p>1aI02 環境応答に関するペプチドシグナルの分子機構と生理的役割 下遠野 明恵, 福田 裕穂 (東京大学大学院・理学系研究科・生物科学専攻)</p>	9:45
<p>1aE03 転写因子BONOBOの機能に必要な相互作用因子の同定 齋藤 美咲¹, 山岡 尚平¹, 吉竹 良洋¹, 光田 展隆², 西浜 竜一¹, 河内 孝之¹ (¹京大・院・生命, ²産総研・生物プロセス)</p>	<p>1aF03 多雪地域における藓類オオミズゴケとホソバミズゴケの分布と環境要因の関連性 白崎 仁 (新潟薬大・薬・生物)</p>	<p>1aG03 葉緑体核様体ネットワークの動態制御機構 西村 芳樹¹, 浜地 貴志¹, 小林 優介², 鹿内 利治¹ (¹京大・院・理・植物分子遺伝, ²国立遺伝研・細胞遺伝・進化細胞生物)</p>	<p>1aI03 ゲノム倍数化がシロイヌナズナの根端成長へ及ぼす影響の定量的解析 菊池 涼夏¹, 杉山 宗隆², 岩元 明敏¹ (¹東京学芸大・自然科学・生命科学, ²東大・院・理・植物園)</p>	10:00
<p>1aE04 卵細胞で発現するMpKNOX1がゼニゴケの胚発生を制御する 久永 哲也, 藤本 翔大, 中島 敬二 (奈良先端大・バイオ)</p>	<p>1aF04 完全寄生植物の生活史戦略—宿主植物との花芽形成の同調が成長量を最大化する— 吉 鴻二, 寺島 一郎, 種子田 春彦 (東京大・院・理・生物科学)</p>	<p>1aG04 葉緑体脂質合成系全体の系統解析に基づく細胞内共生事象の再検討 佐藤 直樹 (東京大学大学院総合文化研究科)</p>	<p>1aI04 クローナル解析で究明する苔類ゼニゴケの無性芽発生パターンとオーキシン受容体MpTIR1の役割 鈴木 秀政¹, Jill Harrison², 嶋村 正樹³, 山岡 尚平¹, 河内 孝之¹, 西浜 竜一¹ (¹京大・院・生命, ²School of Biological Sciences, University of Bristol, UK, ³広島大・院・理学)</p>	10:15
<p>1aE05 ゼニゴケの精子形成に関わる精細胞特異的リンカーヒストンH1バリエーションの解析 西田 瑠理¹, 肥後 あすか², 小竹 葵¹, 井上 佳祐¹, 荒木 崇¹ (¹京大・院・生命科学, ²横浜市大・木原研)</p>	<p>1aF05 ケヤキの幹から検出される温度変動の樹液流依存性の検証 依田 清胤 (石巻専修大・理工)</p>	<p>1aG05 オートファジーによる緑葉ペルオキシソーム選択機構の解明 井上 和也¹, Loreto Naya², 佐藤 蘭子³, 豊岡 公徳³, 吉本 光希^{1,2} (¹明治大・院・農・生命科学, ²フランス国立農学研究所, ³理研CSRS)</p>	<p>1aI05 ゼニゴケの転写活性化型・抑制型ARFによる拮抗的なメリステム形成維持制御 灰庭 瑛実, 片山 みなみ, 鈴木 秀政, 西浜 竜一, 河内 孝之 (京大・院・生命)</p>	10:30
<p>1aE06 ゼニゴケの精子形成に関わる膜交通因子の解析 南野 尚紀¹, 金澤 建彦^{1,2}, 法月 拓也^{1,3}, 石田 咲子⁴, 西浜 竜一⁴, 河内 孝之⁴, 中野 明彦⁵, 上田 貴志^{1,2} (¹基生研, ²総研大, ³東大・院・理, ⁴京大・院・生命科学, ⁵理研・光子工学)</p>	<p>1aF06 スギの葉の浸透圧とその変化 齋藤 隆実¹, 飛田 博順¹, 矢崎 健一¹, 小笠 真由美², 奥田 史郎², 山下 直子², 宇都木 玄¹ (¹森林総研, ²森林総研関西)</p>	<p>1aG06 緑藻メダカモ (<i>Medakamo hakoo</i>) のオルガネラゲノムの特徴について 三角 修己¹, 田草川 真理², 加藤 翔一³, 乾 弥生³, 松永 幸大³, 黒岩 晴子⁴, 黒岩 常祥⁴ (¹山口大・院・創成科学, ²京大・院・理・生物科学, ³東京理科大・理工・応用生物, ⁴日本女子大・理・物質生物)</p>	<p>1aI06 Compensated cell enlargement in <i>fugu5</i> is specifically triggered by IBA-derived auxin Hiromitsu Tabeta¹, Mariko Asaoka¹, Shizuka Gunji², Hirokazu Tsukaya^{3,4}, Ali Ferjani^{1,2} (¹Department of Biology, Tokyo Gakugei University, ²United Graduated School of Education, Tokyo Gakugei University, ³Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, ⁴Okazaki Institute for Integrative Bioscience, National Institutes of Natural Sciences)</p>	10:45

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
11:00	<p>シンポジウム “観る”から“観て測る”の植物科学へ：画像解析の基礎から定量フェノタイピングの現場まで</p>	<p>シンポジウム 一芸に秀でた植物たち</p> <p>11:00-11:30</p> <p>1aSB04 接ぎ木能力の高いタバコ属植物 野田口理孝^{1,2,3} (1名古屋大・院・生命農学, 2名古屋大・ITbM, 3JST・さきがけ)</p>	<p>シンポジウム 植物細胞のリプログラミング制御～その鍵は動的恒常性の維持と打破にあり～</p>	<p>代 謝 座長：瀬上 紹嗣 石川 寿樹 戸田 恭子</p> <p>1aD07 液胞膜 H⁺-ピロホスファターゼと可溶性ピロホスファターゼが協働してピロリン酸レベルを調節する 瀬上 紹嗣¹, 巴山 貴晶¹, 坂本 真吾², 郡司 玄³, 福田 菜由¹, 木下 悟¹, 光田 展隆², Ali Ferjani³, 前島 正義¹ (1名古屋大学大学院生命農学研究科, 2産業技術総合研究所, 3東京学芸大学自然科学系生命科学分野)</p>
11:15	<p>11:15-11:40</p> <p>1aSA05 植物細胞の形態形成機構の理解に向けたイメージングと画像解析 楢垣 匠 (熊本大・国際先端科学技術研究機構)</p>		<p>11:15-11:40</p> <p>1aSC05 “RNAの海”で舵をとれ：細胞分化能を支えるRNA代謝制御 大谷 美沙都 (奈良先端大・院・バイオ)</p>	<p>1aD08 ニチニチソウ乳管細胞・異形細胞の発生・分化・機能の解析 鶴崎 真妃¹, 山本 浩太郎², 高橋 勝利³, 棟方 涼介⁴, 大西 美輪¹, 七條 千津子¹, 石崎 公庸¹, 深城 英弘¹, 三村 徹郎¹ (1神戸大・院・理, 2Dept. Biol. Chem., John Innes Centre, 3産総研・計測フロンティア部門, 4Lab. Agron. Environ., Univ. Lorraine-INRA)</p>
11:30		<p>11:30-12:00</p> <p>1aSB05 自他を識別する植物たち 一野生植物にみられる多様な識別システムと応答— 山尾 篁 (弘前大・農学生命)</p>		<p>1aD09 イネにおけるイソクエン酸リアーゼ (ICL) の生理機能解析 宮城 敦子¹, 西丸 拓也¹, 尾崎 莉沙子², 野上 宙暉², 石川 寿樹¹, 山口 雅利¹, 川合 真紀¹ (1埼玉大・院・理工, 2埼玉大・工)</p>
11:45	<p>11:40-12:05</p> <p>1aSA06 ハイパースペクトラルイメージングと画像解析による微細藻類モニタリングシステムの開発 大貫 慎輔¹, 大田 修平², 河野 重行^{1,3}, 大矢 禎一¹ (1東京大・院・新領域, 2国立環境研・生物, 3東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)</p>		<p>11:40-12:05</p> <p>1aSC06 品種の壁を越える：オオムギの形質転換や再分化を可能にするゲノム領域の同定 久野 裕 (岡山大・植物研)</p>	<p>1aD10 植物固有なスフィンゴ脂質糖鎖を形成する糖転移酵素の同定と機能解析 石川 寿樹, 川合 真紀 (埼玉大・院・理工)</p>
12:00	<p>12:05-12:30</p> <p>1aSA07 深層学習を用いて人らしく植物画像から情報抽出する 戸田 陽介^{1,2} (1JST・さきがけ, 2名古屋大・ITbM)</p>	<p>12:00-12:30</p> <p>1aSB06 オジギソウの運動を遺伝子レベルで解き明かす 真野 弘明¹, Chao-Li Huang², 西山 智明³, 重信 秀治⁴, 豊田 正嗣⁵, 長谷部 光泰^{1,6} (1基生研・生物進化, 2Dept. Life Sci., National Cheng Kung Univ., 3金沢大・学際科学実験センター, 4基生研・機能解析センター, 5埼玉大・院・理工, 6総研大・院・生命科学)</p>	<p>12:05-12:15</p> <p>総合討論 岩瀬 哲</p>	<p>1aD11 ヒスイラン (<i>Puya alpestris</i>) の花に含まれるフラボノイド 水野 貴行¹, 菅原 孝太郎², 飯野 盛利³, 岩科 司¹ (1国立科博・植物, 2サントリー生命科学・構造生命科学, 3大阪市大院・理)</p>
12:15				

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>生殖 座長：南野 尚紀 山岡 尚平 武内 秀憲</p>	<p>生態 座長：中坪 孝之 木下 晃彦</p>	<p>細胞内小器官 座長：吉田 大和 高野 博嘉 岩根 敦子</p>	<p>成長生理 座長：楠見 健介 下遠野 明恵 岩元 明敏</p>	
<p>1aE07 重複受精を制御する精細胞膜局在型タンパク質AtLGM1の解析 高橋 太郎¹, 森 稔幸², 山田 力志³, 澤田 均³, 上田 健治⁴, 永原 史織⁵, 東山 哲也⁵, 井川 智子¹ (¹千葉大・院・園芸, ²順天堂大・医, ³名古屋大・院・理, ⁴秋田県立大・生物資源, ⁵名古屋大・ITbM)</p>	<p>1aF07 花器内にみられるアザミウマの生態を探る 塚原一颯, 土田 浩治, 川窪 伸光 (岐阜大・院・自然科学技術・環境生態)</p>	<p>1aG07 母性遺伝におけるミトコンドリアDNA選択的消失に関与するヌクレアーゼの探索 浦川 直希¹, 中村 聡², 岸本 真理子³, 森山 陽介⁴, 桑田 啓子⁵, 鈴木 孝征⁶, 横川 大輔⁷, 河野 重行⁸, 東山 哲也¹, 佐々木 成江¹ (¹名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻, ²名古屋大学理学部生命理学, ³総合研究大学院大学生命科学研究科基礎生物学専攻, ⁴沖縄科学技術大学院大学サイエンス・テクノロジーグループ, ⁵名古屋大学ITbM分子構造センター, ⁶中部大学応用生物学部応用生物化学科, ⁷名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻化学系, ⁸東京大学フューチャーセンター推進機構)</p>	<p>1aI07 Stomatal closure is hampered in a cell autonomous manner due to excess pyrophosphate Mariko Asaoka¹, Shin-ichiro Inoue², Shizuka Gunji³, Toshinori Kinoshita^{2,4}, Masayoshi Maeshima⁵, Hirokazu Tsukaya^{6,7}, Ali Ferjani^{1,3} (¹Dept. of Biol., Tokyo Gakugei Univ., ²Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., ³United Grad. Sch. Edu., Tokyo Gakugei Univ., ⁴WPI-ITbM, ⁵Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya Univ., ⁶Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, ⁷OIIB)</p>	<p>11:00</p>
<p>1aE08 高等植物の重複受精前後における胚嚢内細胞の動態について 黒岩 晴子, 永田 典子, 黒岩 常祥 (日本女子大・理・物質生物学)</p>	<p>11:15-11:45 1aF-AL1 [若手奨励賞] 哺乳類媒植物ウジルカンダの送粉者の地域変異 小林 峻 (琉球大学 理学部 海洋自然科学科)</p>	<p>1aG08 ミトコンドリア分裂リング合成遺伝子MDR1の同定と機能の解析 吉田 大和¹, 黒岩 晴子², 嶋田 崇史³, 吉田 昌樹⁴, 大沼 みお⁵, 藤原 崇之⁶, 井元 祐太⁷, 八木沢 美美⁸, 西田 敬二⁹, 廣岡 俊亮³, 三角 修己¹⁰, 茂木 祐子¹, 赤壁 善彦¹¹, 松下一信¹¹, 黒岩 常祥² (¹茨城大・理・生物学, ²日本女子大・理・物質生物学, ³鳥津製作所, ⁴筑波大・院・生命環境科学, ⁵広島商船高, ⁶遺伝研・細胞遺伝, ⁷ジョンズホプキンス大, ⁸琉球大・研究基盤, ⁹神戸大・院・科技イ, ¹⁰山口大・院・創成科学, ¹¹山口大・農)</p>	<p>1aI08 窒素栄養環境に応答した側根形成に関わる short ORF の解析 楠見 健介¹, 伊藤 和洋¹, 山本 あゆ¹, 馬淵 敦士¹, 花田 耕介², 射場 厚¹ (¹九大・院理・生物, ²九工大・生命情報工学)</p>	<p>11:15</p>
<p>1aE09 精細胞侵入に伴う細胞内Ca²⁺レベルの上昇はイネ受精卵内の核合一を促進する 大西 由之佑^{1,2}, 國分 巖², 岡本 龍史² (¹横浜市立大学・木原生物学研究所, ²首都大学東京・理工学研究科)</p>		<p>1aG09 シロイヌナズナにおける新奇核膜内膜タンパク質の同定 渡邊 水音¹, 坂本 勇貴², 桑田 啓子³, 松永 幸大¹ (¹東理大・理工・応用生物学, ²東理大・総研・イメージングフロンティア, ³名古屋大・ITbM)</p>	<p>1aI09 ACC合成酵素遺伝子の発現から考えるアサガオの蔓の巻き付きにおけるエチレンの役割 夜船 友暎, 金田 剛史 (愛媛大学大学院 理工学研究科 環境機能科学専攻)</p>	<p>11:30</p>
<p>1aE10 ヒメミカヅキモの性フェロモンPR-IP Inducerによる生殖隔離障壁 土金 勇樹, 小林 弘佳, 吉田 睦未, 関本 弘之 (日本女子大学・理)</p>		<p>11:45-12:15 1aG-AL1 [若手奨励賞] 葉緑体核様体構造の進化と遺伝機構の分子生物学的解析 小林 優介^{1,2} (¹情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所, ²日本学術振興会特別研究員)</p>	<p>1aI10 寄生植物アメリカナシカズラの花成制御におけるFTの機能 加藤 萌木¹, 横山 隆亮¹, 黒羽 剛¹, 大林 武¹, 阿部 光知², 西谷 和彦¹ (¹東北大・院・生命科学, ²東京大・院・理)</p>	<p>11:45</p>
<p>12:00-12:30 1aE-AL1 [奨励賞] 新奇の細胞融合現象による花粉管誘引停止メカニズムの解明 丸山 大輔 (横浜市立大学 木原生物学研究所)</p>				<p>12:00</p> <p>12:15</p>

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	JPR国際シンポジウム Apical stem cell(s): evolutionary basis for 3D body plans in land plants	シンポジウム 植物の確率的なふるまいに 基づいた戦略	シンポジウム 新しい光合成の進化学	代 謝 座長：来須 孝光 岩科 司
14:00	14:00-14:05 Preface Ryuichi Nishihama (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ.)	14:00-14:05 はじめに	14:00-14:05 はじめに 園池 公毅	1pD01 ミャンマー固有のヨウラクボク の花に含まれる色素成分と発現 の機構 岩科 司 ¹ , 田中 伸幸 ¹ , Aung Mu Mu ² , 水野 貴行 ¹ , 遊川 知久 ¹ (¹ 国立科博・ 植物, ² ミャンマー森林研究所)
	14:05-14:30 1pSA01 Connections between apical cell function and auxin response in the liverwort <i>Marchantia</i> <i>polymorpha</i> Ryuichi Nishihama, Takayuki Kohchi (Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ.)	14:05-14:35 1pSB01 遺伝子の発現揺らぎ・発現制御・ 機能間関係: RNA-seq と数理モ デル 栗津 暁紀 ¹ , 田邊 章洋 ² , 神谷 麻梨 ³ , 手塚 あゆみ ³ , 永野 惇 ³ (¹ 広島大・院・ 理, ² 明治大・院・現象数理, ³ 龍谷大・ 農)	14:05-14:30 1pSC01 藍藻から葉緑体への変貌過程に おける膜機能の進化 児島 征司 ^{1,2} (¹ 東北大・学際研, ² 東北 大・院・生命)	
14:15				1pD02 高山植物におけるフェノール化 化合物の多様性の解析 村井 良徳 (国立科博・植物)
14:30	14:30-14:55 1pSA02 Coordination of lateral organ development and meristem activity mediated by ALOG protein in <i>Marchantia</i> <i>polymorpha</i> Satoshi Naramoto ¹ , Trozzi Nicola ^{1,2} , Jones Victor ³ , Masaki Shimamura ⁴ , Kanane Sato ¹ , Sakiko Ishida ⁵ , Kimitsune Ishizaki ⁶ , Ryuichi Nishihama ⁵ , Takayuki Kohchi ⁵ , Junko Kyozuka ¹ (¹ Grad. Sch. of Life Sci., Tohoku Univ., ² SLU/Umea Plant Sci. Centre, ³ Dept. of Plant Sci., Univ. of Oxford., ⁴ Grad. Sch. of Sci., Hiroshima Univ., ⁵ Grad. Sch. of Biostudies, Kyoto Univ., ⁶ Grad. Sch. of Sci., Kobe Univ.)	14:35-15:05 1pSB02 核内倍加の確率的なふるまい と表皮細胞のサイズ分布 川出 健介 ^{1,2,3} (¹ 岡崎統合バイオ, ² 基 生研, ³ 総研大)	14:30-14:55 1pSC02 光エネルギー利用効率制御の多 様性 秋本 誠志 (神戸大・院・理)	1pD03 低窒素条件で高成長を示すシロ イヌナズナ野生系統のN/CO ₂ 応 答性解析 馬淵 敦士 ¹ , 門田 慧奈 ¹ , 渡瀬 光瑠 ¹ , 櫻庭 康仁 ² , 衿宜 淳太郎 ¹ , 柳澤 修一 ² , 射場 厚 ¹ (¹ 九州大学大学院 理学研究 院, ² 東京大学 生物生産工学研究セン ター)
14:45				1pD04 DOPA dioxygenaseの機能ドメ インの解析 渡辺 華子 ¹ , 横山 陽子 ² , 家政 茜 ² , 石 塚 夏洋 ¹ , 作田 正明 ^{1,2} (¹ お茶の水大・ 院・生命科学, ² お茶の水大・理・生物)
15:00	14:55-15:20 1pSA03 Roles for CLAVATA in the innovation of 3D growth in land plants Jill Harrison (Sch. of Biol. Sci., Univ. of Bristol)	15:05-15:35 1pSB03 萼片器官の形の頑健性: 細胞成 長揺らぎの時空間平均化の仕組 み 津川 暁 (理研)	14:55-15:20 1pSC03 真核光合成アンテナの起源と断 続進化, 光を集めるということ の意味 丸山 真一朗 (東北大・院・生命)	1pD05 イネ種子の登熟・品質制御にお けるオートファジーの役割 来須 孝光 ^{1,2} , 瀬良 ゆり ³ , 花俣 繁 ^{2,4} , 坂本 真吾 ⁵ , 小野 聖二郎 ⁶ , 金古 堅太 郎 ⁴ , 三井 悠大 ⁴ , 北畑 信隆 ^{2,3} , 三ツ井 敏明 ⁴ , 野々村 賢一 ⁶ , 光田 展隆 ⁵ , 朽津 和幸 ^{2,3} (¹ 公立諏訪東京理科大・工, ² 東京理科大・イメージングフロンティア センター, ³ 東京理科大院・理工・ 応用生物科学, ⁴ 新潟大・自然科学系 (農), ⁵ 産総研・生物プロセス, ⁶ 国立 遺伝研・実験圃場)

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>生殖 座長：西川 周一 野々村 賢一</p>	<p>細胞増殖, 細胞分化 座長：久保 稔 大谷 美沙都 近藤 侑貴 藤原 崇之</p>	<p>遺伝 座長：小野 道之 内藤 健</p>	<p>細胞骨格 座長：本瀬 宏康 濱田 隆宏</p>	<p>14:00</p>
<p>1pE01 イネの葯タペート細胞のプログラム細胞死制御における転写制御ネットワーク・オートファジー・ROS生成酵素の役割と花粉成熟における意義 澤田 隼平¹, 福永 任吾¹, 花俣 繁^{2,3}, 小野 聖二郎⁴, 木村 成介⁵, 野々村 賢一⁴, 来須 孝光^{2,6}, 朽津 和幸^{1,2} (1東京理科大学・理工・応用生物学, 2東京理科大学・イメージングフロンティアセンター, 3新潟大・自然科学系(農), 4国立遺伝研・実験圃場, 5京産大・総合生命科学, 6公立諏訪東京理科大学・工)</p>	<p>1pF01 真核細胞の基本構造と機能をシゾンとメダカモの比較ゲノム形態から解く(2) 黒岩 堂桂¹, 黒岩 晴子¹, 永田 典子¹, 本多 珠巳¹, 田草川 真理², 三角 修己³, 加藤 翔一⁴, 乾 弥生⁴, 松永 朋子⁴, 松永 幸大⁴ (1日本女子大・理・物質生物, 2京大・院・理, 3山口大・院・創成科学, 4東理工・院・理工・応用生物学)</p>	<p>1pG01 Vigna nakashimae 宇久島系統が獲得した耐塩性に関する遺伝解析 内藤 健¹, 大橋 ほなみ², 高橋 有¹ (1農研機構遺伝資源センター, 2東大院・新領域創成)</p>	<p>1pI01 PIP2を介してリポソームに結合したピリンは、F-アクチンと相互作用することができる 横田 悦雄¹, 新免 輝男¹, 高木 慎吾² (1兵庫県立大・院・生命理学, 2大阪大・院・理・生命科学)</p>	<p>14:00</p>
<p>1pE02 イネ葯タペート組織において減数分裂期 siRNA の生合成を制御する bHLH 転写因子のネットワーク 小野 聖二郎¹, 田中 啓介², 佐々木 卓治³, 野々村 賢一^{1,4} (1国立遺伝学研究所 実験圃場, 2東京農大 生物資源ゲノム解析センター, 3東京農大 総合研究所, 4総合研究大学院大学 生命科学)</p>	<p>1pF02 真核藻類の日周における代謝と細胞周期の時間分業 藤原 崇之^{1,2,3}, 廣岡 俊亮^{1,2}, 大林 龍胆¹, 宮城島 進也^{1,2,3} (1遺伝研・細胞遺伝, 2JST・MIRAI, 3総研大・生命科学・遺伝学)</p>	<p>1pG02 CRISPR/Cas9システムを用いたファレノプシス属のゲノム編集 二宮 佳奈¹, 浅野 裕己², Endang Semiarti³, Aziz Purwantoro³, Jaka Widada³, Aries Bagus Sasongko³, Muhammad Dylan Lawrie³, Windi Mose³, 松本 省吾¹, 吉岡 泰² (1名古屋大学院 生命農学研究科, 2名古屋大学院理学研究科, 3Gadjah Mada University)</p>	<p>1pI02 二次細胞壁の形成を制御する新規アクチンシグナル経路の解析 杉山 友希^{1,2}, 長島 慶宜^{1,2}, 若崎 真由美³, 佐藤 満子³, 豊岡 公徳³, 福田 裕穂¹, 小田 祥久^{2,4} (1東大・院理・生物学, 2遺伝研・新分野, 3理研・CSRS, 4総研大・遺伝学)</p>	<p>14:15</p>
<p>1pE03 シロイヌナズナ小胞体品質管理変異株が高温ストレス下で示す花粉成熟異常の解析 西川 周一¹, 宇治 周平², 坂本 智昭³, 山本 雅也⁴, 杉山 智之², 木村 成介³, 遠藤 斗志也³ (1新潟大・理, 2新潟大院・自然, 3京産大・総合生命科学, 4東北大・農)</p>	<p>1pF03 VISUAL 維管束分化誘導系を用いた篩部伴細胞分化過程の解析 玉置 貴之, 大矢 恵代, 内藤 万紀子, 福田 裕穂, 近藤 侑貴 (東大・院・理・生物学)</p>	<p>1pG03 植物受精卵への Cas9 タンパク質-gRNA 複合体の直接導入によるゲノム編集技術の確立と応用 戸田 絵梨香^{1,2}, 古磯 成美², 竹林 有理佳¹, 市川 雅子³, 木羽 隆敏¹, 刑部 敬史⁴, 刑部 祐里子^{1,4}, 榎原 均¹, 岡本 龍史^{1,2}, 加藤 紀夫^{1,2,3} (1理研・RInC, 2首都大・理工・生命科学, 3日本たばこ産業・植物イノベーションセンター, 4徳島大・生物資源)</p>	<p>1pI03 道管における新規 ROP-アクチン経路の解析 長島 慶宜^{1,2}, 杉山 友希^{1,2}, 福田 裕穂¹, 小田 祥久^{2,3} (1東大・院・理・生物学, 2遺伝研・新分野, 3総研大・遺伝学)</p>	<p>14:30</p>
<p>1pE04 雌雄異株種・同株種ボルボックスの性染色体領域・相同領域における比較ゲノム解析 山本 荷葉子¹, 浜地 貴志², 豊岡 博子¹, 新垣 陽子¹, 野口 英樹³, 豊田 敦⁴, 水口 洋平⁴, 野崎 久義¹ (1東京大・理, 2京都大・理, 3ゲノムデータ解析支援センター, 4国立遺伝研)</p>	<p>1pF04 篩管細胞を優先的に誘導できる VISUAL-PH の開発 近藤 侑貴, 福田 裕穂 (東大・院・理・生物)</p>	<p>1pG04 午後開花アサガオにおける開花時刻の QTL 解析 本山 星香¹, 小野 公代¹, 鷲塚 滯¹, 甲斐 文子¹, 遠藤 沙織¹, 渡邊 健太¹, 久保山 勉², 中嶋 信美³, 白澤 健太⁴, 小野 道之¹ (1筑波大・遺伝子, 2茨城大・農, 3国立環境研, 4かずさ DNA 研)</p>	<p>1pI04 ストレス顆粒形成における細胞骨格の役割 濱田 隆宏¹, 矢光 真子¹, 西村 いくこ², 渡邊 雄一郎¹ (1東京大・院・総合文化, 2甲南大・理工)</p>	<p>14:45</p>
<p>1pE05 ボルボックス系列異型配偶体ドリーナにおける配偶子誘導要因の解析 豊岡 博子^{1,2}, 浜地 貴志³, 西村 芳樹³, 宮城島 進也⁴, 箕浦 高子², 野崎 久義¹ (1東京大・院理・生科, 2中央大・理工・生科, 3京都大・院理・生科, 4遺伝研・細胞遺伝)</p>	<p>1pF05 ゼニゴケの頂端分裂組織周辺における ROS 生成酵素の役割の解析 橋本 研志^{1,2}, 萩原 雄樹¹, 高川 智弘¹, 春日 谷海¹, 木村 貴史¹, 朽津 和幸^{1,2} (1東京理科大学・理工・応用生物学, 2東京理科大学・イメージングフロンティアセンター)</p>	<p>1pG05 遠赤色光高照射による苔類ゼニゴケの生殖器誘導機構 井上 佳祐, 西浜 竜一, 荒木 崇, 河内 孝之 (京大・院・生命)</p>	<p>1pI05 植物細胞の先端成長におけるシロイヌナズナミオシン XI-B の機能解析 段 中瑞^{1,2}, 矢嶋 祐紀¹, 中野 明彦³, 伊藤 光二⁴, 富永 基樹^{1,2,5} (1早稲田大・教育, 2JST・先端低炭素, 3理研・量子工学, 4千葉大・院・生物, 5早稲田大・院・先進理工)</p>	<p>15:00</p>
<p>環境応答 座長：黒羽 剛 橋本 研志 小林 啓恵</p>				

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	JPR国際シンポジウム Apical stem cell(s): evolutionary basis for 3D body plans in land plants	シンポジウム 植物の確率的なふるまいに 基づいた戦略	シンポジウム 新しい光合成の進化学	発 生 座長：栗原 大輔 前川 修吾
15:15	15:20-15:45 1pSA04 The <i>NO GAMETOPHORES</i> genes regulate the 2D to 3D growth transition in <i>Physcomitrella patens</i> Laura A. Moody, Steven Kelly, Ester Rabbinowitsch, Roxaana Clayton, Jane A. Langdate (Dept. of Plant Sci., Univ. of Oxford)		15:20-15:45 1pSC04 光化学系を利用した緑藻の光防 御メカニズム 得津 隆太郎 (基生研・環境光生物)	1pD06 植物種間情報伝達を介したアメ リカネナシカズラ吸器における 維管束新生機構の探索 加賀 悠樹 ¹ , 大林 武 ² , 横山 隆亮 ¹ , 黒 羽 剛 ¹ , 大谷 美沙都 ³ , 出村 拓 ³ , 西谷 和彦 ¹ (¹ 東北大・院・生命科学, ² 東北 大・院・情報科学, ³ 奈良先端大・バイ オ)
15:30		15:35-16:05 1pSB04 形の空間にみる制約された揺ら ぎと多様性：花器官配置の数理 解析 北沢 美帆 ^{1,2} , 藤本 仰一 ² (¹ 大阪大・全 学教育, ² 大阪大・院・理)		1pD07 リボソームタンパク質遺伝子 <i>RPL4D</i> の新規アレルにおける葉 の表現型解析 堀口 吾朗 ^{1,2} , 塚谷 裕一 ^{3,4} (¹ 立教大・ 理・生命, ² 立教大・理・生命理セン ター, ³ 東大・院・理, ⁴ 岡崎統合バイオ)
15:45	15:45-16:10 1pSA05 Root apical meristem diversity and the origin of roots: insights from extant lycophytes Rieko Fujinami (Fac. of Education, Kyoto Univ. of Education)		15:45-16:10 1pSC05 緑藻の光化学系の淡水適応が陸 上化への鍵であった 高林 厚史 (北海道大・低温研)	1pD08 根の静止中心ではリボソームタ ンパク質の蓄積量が制限される 富田 麗香 ¹ , 佐藤 萌 ¹ , 堀口 吾朗 ^{1,2} (¹ 立教大・理・生命, ² 立教大・理・生 命理センター)
16:00		16:05-16:35 1pSB05 確率的な現象が生み出す多様 性：繁殖戦略の進化と多種共存 植嶋 聡 (科博・植物)		1pD09 側根形成不全変異株 <i>rfc3</i> および その抑圧変異株におけるプラス チド rRNA 量の解析 長嶋 友美 ¹ , 大城 克友 ¹ , 岩瀬 晃康 ¹ , 中村 葉理 ¹ , 中田 未友希 ² , 前川 修吾 ¹ , 堀口 吾朗 ^{1,2} (¹ 立教大・理・生命, ² 立 教大・理・生命理センター)
16:15	16:10-16:35 1pSA06 Structural and functional evolution of the shoot apical meristem Michael J. Scanlon, Margaret H. Frank (Dept. of Plant Biol., Cornell Univ.)		16:10-16:35 1pSC06 細胞内共生による葉緑体の獲得 —光合成の毒性による制約 宮城島 進也 (遺伝研・細胞遺伝)	1pD10 葉の発生に関わるジंकフィン ガー蛋白質 AS2 による核小体ス ベックル形成の仕組み 町田 泰則 ¹ , Luo Lilan ¹ , 安藤 沙友里 ² , 笹部 美知子 ³ , 鈴木 崇紀 ^{1,4} , 石橋 奈々 子 ¹ , 中本 大輔 ² , 山本 興太郎 ² , 町田 千代子 ² (¹ 名大・院理, ² 中部大・院応 用生物, ³ 弘前大・農学生命科学, ⁴ 石 原産業・中研, ⁵ 北大・院理)

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 半田 信司 井藤賀 操 野崎 久義</p>	<p>細胞増殖, 細胞分化</p> <p>座長: 久保 稔 大谷 美沙都 近藤 侑貴 藤原 崇之</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 黒羽 剛 橋本 研志 小林 啓恵</p>	<p>細胞骨格</p> <p>座長: 本瀬 宏康 濱田 隆宏</p>	
<p>1pE06 タイ国産巨大ボルボックスの種分類と新種の提唱</p> <p>野崎 久義¹, 田草川 真理², 松崎 令³, 三角 修己⁴, 河地 正伸⁵, Wuttipong Mahakham⁶ (¹東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻, ²京都大学 理学研究科 生物科学専攻, ³国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター, ⁴山口大学 理学部 生物・化学科, ⁵コンケン大学 理学部 生物学科)</p>	<p>1pF06 BES1 ファミリー転写因子による細胞分化の制御</p> <p>齊藤 真人, 近藤 侑貴, 福田 裕穂 (東大・院・理・生物科学)</p>	<p>1pG06 ヒメツリガネゴケの低温順化における光の役割</p> <p>篠澤 章久, 吉田 康平, 坂田 洋一 (東京農大・バイオ)</p>	<p>1pI06 微小管付随タンパク質CORDの細胞分裂における機能</p> <p>佐々木 武馬¹, 村田 隆^{2,3}, 長谷部 光泰^{2,3}, 小田 祥久^{1,4} (¹国立遺伝学研究所・新分野創造センター, ²基礎生物学研究所・生物進化研究部門, ³総合研究大学院大学・基礎生物学専攻, ⁴総合研究大学院大学・遺伝学専攻)</p>	15:15
<p>1pE07 ボルボックス系列緑藻の基部に位置する平面状群体の胚発生の解析</p> <p>山下 翔太, 野崎 久義 (東京大・院・理・生物科学)</p>	<p>1pF07 BES1/BZR1ファミリー転写因子の機能分化</p> <p>古谷 朋之, 齊藤 真人, 内村 悠, 福田 裕穂, 近藤 侑貴 (東大・院・理)</p>	<p>1pG07 ポプラの短期落葉一開芽系を用いた季節的なリン酸転流機構の解明と野外RNA-seqとの比較</p> <p>栗田 悠子¹, 菅野 里美^{2,3}, 杉田 亮平⁴, 廣瀬 農⁴, 大西 美輪², 手塚 あゆみ¹, 出口 亜由美¹, 小菅 桂子², 石崎 公庸², 深城 英弘², 田野井 慶太郎^{4,5}, 中西 友子⁴, 馬場 啓一⁶, 三村 徹郎², 永野 惇¹ (¹龍谷大・農, ²神戸大・院・理, ³The French Alternative Energies and Atomic Energy Commission, France, ⁴東京大・院・農, ⁵JST さきがけ, ⁶京都大・生存研)</p>	<p>1pI07 NIMA関連キナーゼファミリーによる細胞伸長制御の進化的な保存性</p> <p>橋爪 駿¹, 高谷 彰吾¹, 日渡 祐二², 坂山 英俊³, 西山 智明⁴, 高橋 卓¹, 本瀬 宏康¹ (¹岡山大学・院・自然・生物科学, ²宮城大・食産業学, ³神戸大・院・生物, ⁴金沢大・学際科学実験センター)</p>	15:30
<p>1pE08 アオミドロ属 (接合藻類ストロプト植物門) で初めて発見されたヘテロタリック種</p> <p>高野 智之, 野崎 久義 (東京大・院・理・生物科学)</p>	<p>1pF08 生きた細胞の中でヒストン修飾を観る</p> <p>松永 幸太¹, 八木 慎宜¹, 村田 隆², 栗田 和貴¹, 長谷部 光泰², 坂本 卓也¹ (¹東京理科大・理工・応用生物科学, ²基礎生物学研・生物進化)</p>	<p>1pG08 HSP90とNPH3がシロイヌナズナの根の水分屈性をMIZ1と協調的に制御する可能性</p> <p>山崎 誠和¹, 小泉 日輪¹, 小林 啓恵¹, 藤井 伸治¹, 宮沢 豊^{1,2}, 高橋 大輔³, 河村 幸男⁴, 上村 松生⁴, 高橋 秀幸¹ (¹東北大・院・生命科学, ²山形大・理, ³岩手大・院・連合農学, ⁴岩手大・農)</p>	<p>1pI08 氷点近傍におけるフラスコモ仮根細胞内の原形質顆粒の運動</p> <p>三橋 和彦¹, 大津 卓人¹ (¹茨城工業高等専門学校・一般教養部, ²茨城工業高等専門学校・物質工学科)</p>	15:45
<p>1pE09 アオノリの雌雄性と接合初期から葉状体発達過程における雌雄オルガネラの排除と選択</p> <p>佐藤 康大¹, 市原 健介^{1,2}, 大田 修平^{1,3}, 山崎 誠和¹, 工藤 恭子⁴, 宮村 新⁵, 平田 愛子^{4,6}, 河野 重行^{1,4} (¹東京大・院・新領域・先端生命, ²北大・北方セ, ³環境研・生物生態系・生物多様性, ⁴東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ, ⁵筑波大・生命環境系, ⁶東京大・院・新領域・バイオイメージングセンター)</p>	<p>1pF09 シロイヌナズナ間期クロマチンにおけるコヒーシンの機能の探索</p> <p>鈴木 喬善, 藤本 聡, 松永 幸太 (東京理科大・理工・応用生物科学)</p>	<p>1pG09 陸棲藍藻 <i>Nostoc</i> sp. HK-01 の休眠細胞の高熱耐性に関する機能物質</p> <p>木村 駿太^{1,2}, オン 碧¹, 高原 萌¹, 鈴木 利貞³, 富田 横谷 香織¹ (¹筑波大・生命, ²学振, ³香川大・農)</p>		16:00
<p>1pE10 アオサ藻綱アオサ目に属するショウジョウアオノリとスジアオノリの比較ゲノム解析</p> <p>山崎 誠和^{1,2}, 市原 健介³, 桑野 和可⁴, 河野 重行^{2,5} (JAXA・有人・利セ, ²東京大・院・新領域・先端生命, ³北大・北方セ, ⁴長崎大・院・水産, ⁵東京大・FC推進機構・機能性バイオPJ)</p>	<p>1pF10 シロイヌナズナ RNAヘリカーゼ遺伝子 <i>ESP3/RSW12</i> の胚軸脱分化時における分子機能解析</p> <p>花本 修二, 出村 拓, 大谷 美沙都 (奈良先端科学技術大学院大学)</p>	<p>1pG10 イネ染色体断片置換系統を用いた, 環境情報と遺伝子型に基づく遺伝子発現動態の予測</p> <p>鹿島 誠¹, 齊藤 大樹², 坂本 亮太³, 大久保 智司², 手塚 あゆみ¹, 出口 亜由美¹, 橋田 庸一¹, 栗田 悠子¹, 永野 惇⁴ (¹龍谷大・食農研, ²京都大・農, ³京都大学・生態研, ⁴龍谷大・農)</p>		16:15

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	JPR国際シンポジウム Apical stem cell(s): evolutionary basis for 3D body plans in land plants	シンポジウム 植物の確率論的なふるまいに 基づいた戦略	シンポジウム 新しい光合成の進化学	発 生 座長：栗原 大輔 前川 修吾
16:30	16:35-17:00 1pSA07 Signal integration in plant stem cell control Jan U. Lohmann, Yanfei Ma, Andrej Miotk, Zoran Sutikovic, Anna Medzihradzsky, Christian Wenzl, Christophe Gaillochet, Joachim Forner, Gözde Utan, Klaus Brackmann, Thomas Greb (Dept. of Stem Cell Biol., Centre for Organismal Studies, Heidelberg Univ.)	16:35-17:00 総合討論	16:35-16:45 総合討論	1pD11 Arabidopsis zinc-finger-like protein ASYMMETRIC LEAVES2 (AS2) bound exon 1 of ETTIN (ARF3) and maintain gene body DNA methylation in ETTIN together with nucleolar proteins Simon Vial-Pradel ¹ , Mika Nomoto ² , Hiro Takahashi ³ , Sayuri Ando ¹ , Masataka Suzuki ¹ , Shoko Kojima ¹ , Yasuomi Tada ² , Yasunori Machida ⁴ , Chiyoko Machida ¹ (¹ Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, ² Center for Gene Research, Nagoya University, ³ Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University, ⁴ Graduate School of Science, Nagoya University)
16:45				1pD12 ライブイメージングによる受精 卵の極性化における液胞の動態 と役割の解明 木全 祐資 ¹ , 加藤 壮英 ² , 檜垣 匠 ^{3,4} , 栗 原 大輔 ¹ , 山田 朋美 ^{1,5} , 瀬上 紹嗣 ⁶ , 森 田 (寺尾) 美代 ^{2,6} , 前島 正義 ⁶ , 馳澤 盛一郎 ⁴ , 東山 哲也 ^{1,5} , 田坂 昌生 ² , 植 田 美那子 ^{1,5} (¹ 名古屋大・院・理, ² 奈 良先端大・バイオサイエンス, ³ 熊本 大・IROAST, ⁴ 東京大・院・新領域, ⁵ 名 古屋大・ITbM, ⁶ 名古屋大・院・生命農)
17:00	17:00-17:10 Discussion Satoshi Naramoto (Grad. Sch. of Life Sci., Tohoku Univ.)			1pD13 染色や薬剤処理に適した簡便な シロイヌナズナ根および根毛の ライブイメージング系の構築 四方 明格 ^{1,2} , 佐藤 良勝 ¹ , Claus Schwechheimer ² (¹ 名古屋大・ WPI-ITbM, ² ミュンヘン工科大・ Chair of Plant Systems Biology)
17:15				17:15-17:45 1pD-AL1 [若手奨励賞] 食虫植物のゲノム・形態・機能 の進化 福島 健児 ^{1,2,3} (¹ University of Colorado Denver, ² 理化学研究所 環境資源科学 研究センター, ³ 日本学術振興会特別 研究員)
17:30				
17:45				

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化 座長: 半田 信司 井藤賀 操 野崎 久義</p>	<p>細胞増殖, 細胞分化 座長: 久保 稔 大谷 美沙都 近藤 侑貴 藤原 崇之</p>	<p>環境応答 座長: 黒羽 剛 橋本 研志 小林 啓恵</p>		
<p>1pE11 新たに確認された日本産スミレモ類 (アオサ藻綱) の大型種3種の形態と系統 半田 信司¹, 溝淵 綾¹, 中原一坪田 美保², 坪田 博美³ (¹広島県環境保健協会, ²千葉中央博・共同研究員, ³広島大・院・理)</p>	<p>1pF11 SMC5/6 Complex Subunit NSE4A is Involved in DNA Damage Repair and Seed Development in Arabidopsis Mariana Diaz^{1,2,3}, Petra Pecinkova², Anna Nowicka^{2,3}, Celia Baroux⁴, Priscilla Yuliani², Ueli Grossniklaus⁴, Ales Pecinka^{2,3} (¹Applied Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci., ²Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ³Institute of Experimental Bot., Czech Academy Sci., ⁴IPMB, Zurich Univ.)</p>	<p>1pG11 浮イネにおけるジベレリン合成を介した洪水への適応戦略 黒羽 剛¹, 増口 潔¹, 瀬戸 義哉², 山口 信次郎¹, 横山 隆亮¹, 西谷 和彦¹, 芦荻 基行³ (¹東北大・生命, ²明治大・農, ³名古屋大・生物センター)</p>		16:30
<p>1pE12 配偶体と孢子体が混生する集団ではいかなる進化が起こるのか? 別所 和博^{1,2}, Sarah Otto³ (¹総合研究大学院大学, ²日本学術振興会特別研究員PD, ³University of British Columbia)</p>	<p>1pF12 核膜関連タンパク質によるセントロメア配置制御機構の解析 御子 侑香¹, 坂本 卓也¹, 坂本 勇貴², 松永 幸大¹ (¹東理大・理工・応用生物科学, ²東理大・総研・イメージングフロンティア)</p>	<p>1pG12 アブシジン酸・高浸透圧応答におけるRaf様プロテインキナーゼの活性化とその制御 平出 真由佳¹, 桑田 啓子², 坂田 洋一³, 梅澤 泰史⁴, 竹澤 大輔¹ (¹埼玉大学 理工学研究科 生命科学系, ²名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所, ³東京農業大学 バイオサイエンス学科, ⁴東京農工大学 生物システム応用科学)</p>		16:45
<p>1pE13 BONSAIビロード苔 (通称) の正体 井藤賀 操¹, 松露 将典², 坪田 博美³ (¹理研・環境資源科学, ²清香園, ³広島大・院・理)</p>	<p>1pF13 シロイヌナズナの組織による再生能の差異に関与するヒストン脱メチル化酵素の解析 豊田 悠真¹, 杉本 薫¹, 角倉 慧¹, 関 明², 松永 幸大¹ (¹東理大・理工・応用生物科学, ²理研・CSRS)</p>	<p>1pG13 Goup B2 and B3 Raf-like Kinases mediate abscisic acid responses in <i>Marchantia polymorpha</i> Akida Jahan, Totan Kumar Ghosh, Daisuke Takezawa (Saitama University)</p>		17:00
<p>1pE14 グロソプテリス生殖器官鋳化石の新知見と被子植物の祖先植物候補 西田 治文^{1,2}, Kathleen Pigg³, Melanie Devore⁴ (¹中央大学理工学部生命科学科, ²東京大学理学系大学院生物科学, ³School of Life Sciences and Biodiversity Knowledge Integration Center, Arizona State University, ⁴Department of Biological and Environmental Sciences, Georgia College and State University)</p>	<p>1pF14 1細胞遺伝子発現解析を用いたヒメツリガネゴケ葉細胞におけるリプログラミング分子機構の解明 新井 亨¹, 佐野 亮輔¹, 玉田 洋介², 西山 智明³, 佐藤 良勝⁴, 出村 拓¹, 長谷部 光泰², 久保 稔⁵ (¹奈良先端大・バイオ, ²基生研, ³金沢大・学際七, ⁴名大・ITbM, ⁵奈良先端大・研究推進機構)</p>			17:15
				17:30
				17:45

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	シンポジウム 新規モデル植物を作ろう： ゲノム解読と形質転換系の確立	シンポジウム 電子顕微鏡で観る多様な 生命現象	シンポジウム 細胞の極性成長を支える分子 メカニズムの共通性と独自性	発 生 座長：藤田 知道 坂本 智昭 石田 喬志 伊藤(大橋) 恭子
9:00	9:00-9:20 2aSA01 はじめに、ヒメツリガネゴケ 長谷部 光泰 ^{1,2} (1基生研・生物進化, 2総研大・院・生命科学)	9:00-9:05 はじめに 豊岡 公徳 9:05-9:30 2aSB01 静と動：電子顕微鏡と motion analysis で読み解くユーグレナの光運動反応 加藤 翔太 (帝京大・理工・バイオ)	9:00-9:25 2aSC01 ヒメツリガネゴケの先端成長における細胞骨格制御 日渡 祐二 ¹ , 佐藤 良勝 ² (1宮城大・食産業, 2名古屋大・WPI-ITbM ライブイメーシングセンター)	2aD01 根端分裂組織において幹細胞の活性制御を担う新規キナーゼ CLEN3の解析 石田 喬志 ¹ , 澤 進一郎 ² (1熊本大・IROAST, 2熊本大・院・先端科学研究部)
9:15	9:20-9:45 2aSA02 ゲノム解読法の最前線 重信 秀治 ^{1,2} (1基生研・生物進化, 2総研大・院・生命科学)			2aD02 シロイヌナズナ胚のパターン形成におけるHD-ZIP IV 転写因子群の機能の解析 田中 小百合 ¹ , 栗原 大輔 ² , 柳沢 直樹 ² , 東山 哲也 ^{2,3} , 植田 美那子 ^{2,3} (1名古屋大 院 理学研究科 生命理学専攻, 2名古屋大学 理学部 生命理学科, 3名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所)
9:30		9:30-9:55 2aSB02 フリーズフラクチャーレプリカ法で観る渦鞭毛藻類の細胞外被形成の過程 関田 諭子 ¹ , 堀口 健雄 ² , 奥田 一雄 ¹ (1高知大・院・黒潮圏, 2北海道大・院・理)	9:25-9:55 2aSC02 糸状菌の極性生長 竹下 典男 (筑波大・生命環境)	2aD03 アワゴケ属植物における気孔発生パターンの多様性とその進化 ドル 有生 ¹ , 古賀 皓之 ¹ , 塚谷 裕一 ^{1,2} (1東大・院・理, 2NINS・生命創成探究センター)
9:45	9:45-10:05 2aSA03 モデル苔類ゼニゴケの現在・過去・未来 河内 孝之 (京都大・院・生命科学)			2aD04 維管束始原細胞に特異的な代謝物の探索 伊藤(大橋) 恭子 ¹ , 澤田 有司 ² , 平井 優美 ² , 福田 裕穂 ¹ (1東京大・院・理, 2理研 環境資源科学研究センター)
10:00	10:05-10:25 2aSA04 シャジクモ藻類ヒメミカツキモのモデル植物化 関本 弘之 (日本女子大・理)	9:55-10:20 2aSB03 電顕3Dとハイパースペクトルで見るヘマトコッカス藻のカロテノイド分布とその動態 大田 修平 ¹ , 河野 重行 ^{2,3} (1国立環境研, 2東京大・院・新領域, 3東京大・FC 推進機構・機能性バイオPJ)	9:55-10:20 2aSC03 進化的に保存された微小管依存的な極性成長のメカニズム 本瀬 宏康 (岡山大・院・自然科学)	2aD05 維管束の篩要素における核消失を伴う細胞分化の新規制御機構 古田 かおり ¹ , 宮島 俊介 ¹ , Ilya Belevich ² , Yka Helariutta ^{2,3} , Eija Jokitalo ² , 中島 敬二 ¹ (1奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科, 2Institute of Biotechnology, University of Helsinki, 3The Sainsbury Laboratory, University of Cambridge)
10:15		10:20-10:45 2aSB04 高圧凍結法を用いた藻類・植物の電子顕微鏡解析 佐藤 蘭子, 豊岡 公徳 (理研・環境資源科学研究センター)	10:20-10:45 2aSC04 イノシトールリン脂質が制御する根毛の形態形成 平野 朋子 ¹ , 紺野 宏記 ² , 武田 征士 ¹ , 加藤 真理子 ³ , 青山 卓史 ³ , 檜垣 匠 ⁴ , 今村 寿子 ⁵ , 佐藤 雅彦 ¹ (1京都府大・院・生命環境, 2金沢大・理工・バイオAFM, 3京都大・化研, 4熊本大・国際先端科学, 5九州大・医・系統解剖学)	2aD06 2種類の細胞間の真っ直ぐで滑らかな境界は、境界から離れた局所的な細胞成長により促進される 藤原 基洋 ¹ , 宮島 俊介 ² , 中島 敬二 ² , 藤本 仰一 ¹ (1大阪大学理学研究科生物科学専攻, 2奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 田村 実 藤井 伸二 厚井 聡 田頭 紀和</p>	<p>光合成</p> <p>座長: 野口 航 寺島 一郎 山崎 朋人 小林 康一</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 廣岡 俊亮 遠藤 求 後藤 栄治 岡崎 久美子</p>	<p>細胞壁</p> <p>座長: 小竹 敬久 岩井 宏暁 馬場 啓一</p>	
<p>2aE01 西日本における広義ダイモンジソウの葉形態の検討 藤井伸二¹, 徳岡良則², 牧雅之³ (¹人間環境大学, ²農研機構・農環研, ³東北大学植物園)</p>	<p>2aF01 紅藻シアニジオシゾンにおける従属栄養培養での生理的・形態的变化の解析 毛利奈津美, 森山 崇, 佐藤 直樹 (東京大・院・総合文化)</p>	<p>2aG01 長期間にわたる窒素欠乏または暗条件下で誘導される老化に対するオートファジーの影響 増子史織¹, 兪羽豊², 井上 悠子², 森安 裕二² (¹埼玉大学理学部生体制御学科, ²埼玉大学大学院理工学研究科)</p>	<p>2aI01 重力によって屈曲したシロイヌナズナ花茎の細胞形状 松永 菜々子, 馬場 啓一, 杉山 淳司 (京都大・生存研)</p>	9:00
<p>2aE02 ラオス産カワゴケソウ科植物がもつ奇妙な軸状器官の相同性の解明 厚井 聡¹, 加藤 雅啓² (¹大阪市立大学理学部附属植物園, ²国立科学博物館)</p>	<p>2aF02 miRNAを介した光防御機能の制御メカニズム解析 山崎 朋人¹, 得津 隆太郎², 皆川 純² (¹高知大・理工, ²基生研・環境光)</p>	<p>2aG02 植物の複合的栄養ストレス応答におけるオートファジーの役割 吉竹 悠宇志, 太田 啓之, 下嶋 美恵 (東京工業大学 生命理工学院)</p>	<p>2aI02 周年短縮サイクル系におけるポプラの木部形成 馬場 啓一¹, 栗田 悠子², 三村 徹郎³ (¹京都大・生存研, ²龍谷大・農, ³神戸大・院・理)</p>	9:15
<p>2aE03 西日本におけるクサノオウ(ケシ科)の染色体多様性と分布傾向 田頭 紀和¹, 濱谷 修一² (¹広島女学院大学人間生活学部, ²広島市植物公園)</p>	<p>2aF03 シロイヌナズナ葉緑体翻訳因子の酸化傷害と光化学系IIの光阻害 新庄 控¹, 鳥生 万智², 神保 晴彦¹, 西山 佳孝^{1,2} (¹埼玉大・院・理工, ²埼玉大・理)</p>	<p>2aG03 林床植物の葉緑体光定位運動 後藤 栄治¹, 木藪 亮太¹, 孫田 佳奈², 篠原 慶規³, 久米 篤¹, 瀬戸口 浩彰², 和田 正三⁴ (¹九州大・院・農, ²京都大・院・人間環境, ³宮崎大・院・農, ⁴首都大・院・理工)</p>	<p>2aI03 道管細胞分化過程における細胞壁タンパク質の動態解析 中小路 麻衣, 野口 真大, 大谷 美沙都, 出村 拓 (奈良先端大・バイオ)</p>	9:30
<p>2aE04 講演取消</p>	<p>2aF04 海洋性珪藻ピレノイドにおけるCCMと光化学系機能的連携の解明 天野 凌輔, 山岸 寛征, 菊谷 早絵, 辻 敬典, 松田 祐介 (関西学院大学大学院理工学研究科生命科学専攻)</p>	<p>2aG04 シロイヌナズナにおいて, 組織間で時間情報を共有する仕組みの解明 上本 恭平¹, 国本 有美², 荒木 崇¹, 遠藤 求² (¹京都大学大学院生命科学研究科分子代謝制御学, ²奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス領域植物生理学)</p>	<p>2aI04 ヒメツリガネゴケの通水細胞の機能を制御するポリガラクトノナーゼ遺伝子の機能解析 久野 花織¹, 笹尾 亮太¹, 秋吉 信宏¹, Jérôme Pelloux², 大谷 美沙都¹, 出村 拓¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²Université de Picardie)</p>	9:45
<p>2aE05 スカシユリ類(ユリ科ユリ属)の系統と分類 渡邊 誠太¹, 林 一彦², 荒川 克郎³, 布施 静香¹, 田村 実¹ (¹京都大・院・理・植物, ²大阪学院大・経済, ³ガーデンリリーファーム)</p>	<p>2aF05 海洋性珪藻のリン酸獲得機構 前田 香葉子, 木村 奈々恵, 福地 庸平, 杉山 俊樹, 中島 健介, 辻 敬典, 松田 祐介 (関西学院大学大学院理工学研究科生命科学専攻)</p>	<p>2aG05 植物の環境ストレス応答におけるsnRNAキャップトリメチル化の役割 畑中 優佳¹, 廣山 涼子², 出村 拓^{1,2}, 大谷 美沙都^{1,2} (¹奈良先端科学技術大学院大学, ²理研 CSRS)</p>	<p>2aI05 テンションウッド形成機構の解明に向けた木部繊維細胞誘導系の開発 青木 隆之介¹, 時田 勝広¹, 大谷 美沙都¹, 久保 稔^{1,2}, 出村 拓¹ (¹奈良先端大 先端バイオ, ²奈良先端大 研究推進機構)</p>	10:00
<p>2aE06 ギボウシ属(クサスギカズラ科)の系統分類 田村 実¹, 布施 静香¹, 高山 浩司¹, 吉澤 直哉¹, 川口 利奈², 永野 惇², 藤田 昇³ (¹京都大・院・理・植物, ²龍谷大・農・植物生命, ³京都大・生態研センター)</p>	<p>2aF06 子葉緑化時のクロロフィル合成と光合成遺伝子発現にガラクト脂質合成が与える影響 藤井 祥¹, 永田 典子², 増田 建¹, 和田 元¹, 小林 康一³ (¹東大・院・総合文化, ²日本女子大・理, ³大阪府大・高等教育)</p>	<p>2aG06 ヒストン脱メチル化酵素による相同組換えにおけるクロマチン構造制御機構の解析 平川 健¹, 桑田 啓子², 松永 幸大¹ (¹東理大・院・理工・応用生物科学, ²名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p>	<p>2aI06 細胞壁修飾が木部輸送に及ぼす影響の解析 遠藤 暁詩, 岩井 由実, 福田 裕穂 (東京大・院・理・生物科学)</p>	10:15

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	シンポジウム 新規モデル植物を作ろう： ゲノム解読と形質転換系の確立	シンポジウム 電子顕微鏡で観る多様な 生命現象	シンポジウム 細胞の極性成長を支える分子 メカニズムの共通性と独自性	発 生 座長：藤田 知道 坂本 智昭 石田 喬志 伊藤(大橋) 恭子
10:30	10:25-10:45 2aSA05 オジギソウの形質転換と CRISPR/Cas9によるゲノム編 集 真野 弘明 (基生研・生物進化)			2aD07 シロイヌナズナ表皮細胞におい て脂質が伝達する位置情報シグ ナリングの解明 永田賢司 ¹ , 高橋 卓 ² , 阿部 光知 ¹ (¹ 東 大・院理・生物科学, ² 岡山大・院・自 然科学)
10:45	10:45-11:05 2aSA06 基部被子植物ドクダミの形質転 換と花成誘導 菅谷 友美 ^{1,2} (¹ 基生研・生物進化, ² 総 研大・院・生命科学)	10:45-11:10 2aSB05 イネ種子貯蔵タンパク質グルテ リンの小胞体から液胞への細胞 内輸送機構の解明 福田 真子, 熊丸 敏博 (九州大・院・農)	10:45-11:10 2aSC05 根毛の伸長方向制御機構の解 析：障害物との接触における根 毛の成長ダイナミクス 四方 明橙 ^{1,2} , 柳沢 直樹 ¹ , 佐藤 良勝 ¹ , 東山 哲也 ^{1,3} , Claus Schwechheimer ² (¹ 名古屋大・WPI-ITbM, ² ミュンヘン 工科大・Chair of Plant Systems Biology, ³ 名古屋大・院・理)	2aD08 オーキシン極性輸送再編モデル によるコクサギ型葉序生成機構 の検討 米倉 崇晃 ¹ , 岩元 明敏 ² , 藤田 浩徳 ³ , 杉山 宗隆 ¹ (¹ 東大・院・理・植物園, ² 学芸大・教育・生命, ³ 基生研・共生 システム)
11:00	11:05-11:25 2aSA07 ハエトリソウとコモウセンゴケ の形質転換技術およびハエトリ ソウのカルシウムイメージング 須田 啓 ^{1,2} (¹ 基生研・生物進化, ² 総研 大・院・生命科学)			2aD09 シロイヌナズナの塊根形成機構 の解析 西岡 咲子, 坂本 卓也, 松永 幸大 (東 理大・理工・応用生物科学)
11:15		11:10-11:35 2aSB06 木材細胞壁における非セルロー ス性多糖類の局在 栗野 達也 ¹ , 米川 翼 ² , 横山 誠人 ¹ , 木 村 尚敬 ¹ , 高部 圭司 ¹ (¹ 京都大・院・ 農, ² 京都大・生存研)	11:10-11:35 2aSC06 シロイヌナズナの花粉管伸長制 御におけるANTHドメインタン パク質の機能 室 啓太 ¹ , 時田 公美 ² , 金岡 雅浩 ^{2,3} , 東 山 哲也 ^{2,3} , 中野 明彦 ⁴ , 上田 貴志 ¹ (¹ 基 生研・細胞動態, ² 名古屋大・院・理, ³ 名 古屋大・WPI-ITbM, ⁴ 理研・光子量子工 学)	2aD10 光合成と糖代謝経路は植物再生 系における細胞増殖と再生能の 獲得を制御している 牧野 亮介 ¹ , 杉本 薫 ¹ , 勝山 雄喜 ¹ , 石 原 弘也 ¹ , 角倉 慧 ¹ , 乾 弥生 ¹ , 坂本 卓 也 ¹ , 寺島 一郎 ² , 鈴木 孝征 ³ , 澤田 有 司 ⁴ , 平井 優美 ⁴ , 関 原明 ⁴ , 松永 幸大 ¹ (¹ 東理大・理工・応生, ² 東大・理学・ 生物科学, ³ 中部大・応用生物, ⁴ RIKEN・CSRS)
11:30	11:25-11:55 総合討論	11:35-11:40 おわりに 大隅 正子	11:35-12:00 2aSC07 先端をいく花粉管受容体による 極性制御機構の解析 武内 秀憲 ^{1,2} , 井本 美紀 ³ , 長江 拓也 ³ , 東山 哲也 ^{1,3} (¹ 名古屋大・WPI-ITbM, ² 名古屋大・高等研究院, ³ 名古屋大・ 院・理)	2aD11 細胞間的高分子拡散に対する浸 透圧ストレスの影響 友井 拓実 ^{1,2} , 北川 宗典 ³ , 坂田 洋一 ⁴ , 川出 健介 ^{2,5,6} , 塚谷 裕一 ⁷ , 藤田 知道 ⁸ (¹ 北海道大・院・生命科学, ² 岡崎統合 バイオ, ³ CSHL, ⁴ 東農大・バイオ, ⁵ 基 生研, ⁶ 総研大, ⁷ 東大・院・理, ⁸ 北大・ 院・理)

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 田村 実 藤井 伸二 厚井 聡 田頭 紀和</p>	<p>光合成</p> <p>座長: 野口 航 寺島 一郎 山崎 朋人 小林 康一</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 廣岡 俊亮 遠藤 求 後藤 栄治 岡崎 久美子</p>	<p>細胞壁</p> <p>座長: 小竹 敬久 岩井 宏暁 馬場 啓一</p>	
<p>2aE07 Genome-wide association study for differences of flowering time variation under two conditions in <i>Lotus japonicus</i> in Japan 若林 智美¹, Stig Andersen², 佐藤 修三³, 川口 正代司⁴, 瀬戸口 浩彰⁵ (1奈良女大, 2Molec. Biol. and Genet, Aarhus Univ., 3東北大・院・生命, 4基生研・共生, 5京大・院・人環)</p>	<p>2aF07 クロララクニオン藻の新規炭酸脱水酵素 平川 泰久¹, 福田 耕太² (1筑波大・生命環境系, 2筑波大・生命環境科学)</p>	<p>2aG07 GlcNAc再生経路が担う生存への役割—シロイヌナズナ GlcNAcキナーゼ破壊変異体を用いた生理学的解析— 財津 良多, 佐藤 康 (愛媛大・院・理工)</p>	<p>2aI07 Differential gene expression analyses of the heartwood formation process in <i>Taiwania xylem</i> tissues Ting-Feng Yeh¹, Jui-Hua Chu², Li-Yuan Liu¹, Shih-Yin Chen¹ (1School of Forestry and Resource Conservation, National Taiwan University, 2Center for Systems Biology, National Taiwan University)</p>	10:30
<p>2aE08 同所的に生育するエチゼンダイモンジソウとダイモンジソウの遺伝構造比較 孫田 佳奈¹, 阪口 翔太¹, 廣田 峻², 網本 良啓³, 陶山 佳久², 赤井 賢成⁴, 瀬戸口 浩彰¹ (1京大・院・人環, 2東北大・院・農, 3森林総研・東北, 4(一財)沖縄美ら島財団)</p>	<p>2aF08 単細胞性紅藻 <i>Galdieria sulphuraria</i> における高濃度 CO₂ の光合成特性への影響 尾関 大徳¹, 三角 将洋², 園池 公毅², 養田 歩¹ (1筑波大・生命環境, 2早稲田大・教育)</p>	<p>2aG08 澱粉生産性 <i>Cyanobacterium</i> sp. PCC 10605 株のグローバル転写解析 二宮 有佳梨, 鈴木 英治 (秋田県立大・生物資源科学)</p>	<p>2aI08 カラマツのアラビノガラクトランのヤリブ試薬反応性 小竹 敬久¹, 原 克弥¹, 佐藤 一樹², 吉見 圭永¹, 北澤 仁成¹, 円谷 陽一¹ (1埼玉大・院理工, 2埼玉大・理)</p>	10:45
<p>2aE09 襲速紀要素ハガクレツリフネの系統的位置, 起源そして集団遺伝構造 村山 香織¹, 渡邊 幹男², 藤井 紀行³ (1熊本大・院・自然科学, 2愛教大・生物, 3熊本大・院・先端科学)</p>	<p>2aF09 絶滅危惧種タマノカンアオイの葉の光合成系の季節変化の解析 野口 航, 和田 尚樹, 近藤 老星, 中田 大暁, 尾崎 洋史 (東京薬科大・生命科学)</p>	<p>2aG09 ナンノクロロプシスにおけるSPX様遺伝子の機能解析 岡崎 久美子¹, 堀 孝一², 清水 信介², 高見 明秀³, 野村 誠治³, 斎藤 史彦³, 山本 卓¹, 太田 啓之², 坂本 敦¹ (1広島大・院理, 2東京工業大・生命理工学院, 3マツダ・技術研)</p>	<p>2aI09 塩ストレス処理栽培トマト果実の組織別硬度変化における細胞壁代謝解析 杉山 晴香¹, 細川 花栄¹, 浦尾 唯¹, 高見 るり子¹, 山田 佳央理¹, 松倉 千昭¹, 櫻井 直樹², 佐藤 忍¹, 岩井 宏暁¹ (1筑波大・生命環境, 2広島大院生物圏科学研究科)</p>	11:00
<p>2aE10 朝鮮半島と日本列島におけるダイモンジソウ (広義) の分子系統地理学的解析 白石 大暁¹, 堀江 佐知子², 藤井 伸二³, 牧 雅之² (1東北大・院・生命, 2東北大植物園, 3人間環境大・人間環境学)</p>	<p>2aF10 品種, 大気 CO₂濃度, 窒素施肥はイネ光化学系Iの頑健性に影響を与える 尾崎 洋史¹, 中村 浩史², 常田 岳志³, 酒井 英光³, 長谷川 利雄⁴, 野口 航¹ (1東京薬科大・生命科学, 2太陽計器(株), 3農研機構・環境変動センター, 4農研機構・東北農業センター)</p>	<p>2aG10 光環境が微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> のカロテノイド合成に及ぼす影響 丹野 夕麗¹, 加藤 翔太², 高市 真一³, 石川 孝博⁴, 児玉 豊⁵, 田中 裕之⁶, 朝比奈 雅志^{1,2,7}, 高橋 宣治^{1,2}, 篠村 知子^{1,2} (1帝京大・院・理工, 2帝京大・理工・バイオ, 3東京農大・生命科学, 4鳥根大・生物資源, 5宇都宮大・バイオセンター, 6東工大・生命理工, 7帝京大・先端機器分析センター)</p>	<p>2aI10 wall-associated kinase を介したキシロオリゴ糖誘導性病害応答機構の探索 木村 郷子¹, 豊田 一希¹, 小原 崇司¹, 中村 敦子¹, 住吉 美奈子¹, 出崎 能文², 渋谷 直人³, 賀来 華江³, 南 栄一⁴, 佐藤 忍¹, 岩井 宏暁¹ (1筑波大・生命環境, 2東京理科大・生物工, 3明治大・生命科学, 4農研機構)</p>	11:15
<p>2aE11 緑色菌従属栄養植物カイサカネランの光合成機能の検証 山下 由美^{1,2}, 高木 大輔³, Felix Lallemand⁴, 末次 健司⁵, Marc-Andre Selosse⁴, 黒沢 高秀¹, 遊川 知久² (1福島大学大学院共生システム理工学研究科, 2国立科学博物館筑波実験植物園, 3東北大学大学院農学研究科, 4Museum national d'Histoire naturelle, 5神戸大学大学院理学研究科)</p>	<p>2aF11 陰生植物の光化学系Iが示す変動光による光阻害への耐性について 寺島 一郎, 河野 優, 矢守 航 (東京大・院・理・生物科学)</p>	<p>2aG11 Gene Expression profiling and Genetic transformation trials on <i>Pediastrum duplex</i>, a model for photoregulation of life cycle Harshavardhini Sridharan¹, 加藤 翔太¹, 土金 勇樹², 関本 弘之², 永田 典子², 鈴木 智大³, 児玉 豊³, 相蘇 春菜⁴, 宮本 皓司¹, 松岡 啓太¹, 朝比奈 雅志¹, 篠村 知子¹ (1Grad. Sch. Sci & Tech., Teikyo University, 2Japan Women's University, 3Utsunomiya University, 4University of Tsukuba)</p>	<p>2aI11 シロイヌナズナ他数種の植物におけるYの測定と比較 中里 (岡本) 朱根, 久保 春香 (昭和薬科大・統合薬学)</p>	11:30

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
11:45				<p style="text-align: center;">発 生</p> <p style="text-align: center;">座長：藤田 知道 坂本 智昭 石田 喬志 伊藤(大橋) 恭子</p> <p>2aD12 <i>Rorippa aquatica</i>の温度移行に 応答した葉形決定メカニズムの 解析 池松 朱夏¹, 北野 つくし¹, 坂本 智昭¹, 笠原 博幸², 木村 成介¹ (¹京産大 総合 生命, ²東京農工大 GIR)</p>
12:00				<p>2aD13 マメ科植物の根粒と側根の形成 に共通して関わる宿主因子 征矢野 敬^{1,2}, 林 誠³, 川口 正代司^{1,2} (¹基生研, ²総研大, ³理研)</p>
12:15				<p style="text-align: center;">12:15-12:45</p> <p>2aD-AL1 奨励賞 植物の生長および発生における 脂質多様性に関する研究 中村 友輝 (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)</p>
12:30				
12:45				

E 会場	F 会場	G 会場	I 会場	時間
<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長: 田村 実 藤井 伸二 厚井 聡 田頭 紀和</p>	<p>光合成</p> <p>座長: 野口 航 寺島 一郎 山崎 朋人 小林 康一</p>	<p>環境応答</p> <p>座長: 廣岡 俊亮 遠藤 求 後藤 栄治 岡崎 久美子</p>	<p>細胞壁</p> <p>座長: 小竹 敬久 岩井 宏暁 馬場 啓一</p>	
<p>2aE12 ラン科サカネラン属の菌従属栄養性と光合成機能の進化 木下 晃彦¹, 山下 由美^{2,3}, 辻田 有紀⁴, 黒沢 高秀², Felix Lallemand⁵, Marc-Andre Selosse⁵, 遊川 知久³ (¹森林総合研究所九州支所, ²福島大学大学院共生システム理工学研究所, ³国立科学博物館筑波実験植物園, ⁴佐賀大学農学部, ⁵Museum national d'Histoire naturelle)</p>	<p>2aF12 緑藻クラミドモナスのCO₂濃縮機構に必須な因子LCIBの局在制御機構 豊川 知華, 松岡 俊樹, 西村 明洋, 山野 隆志, 福澤 秀哉 (京都大学 生命科学研究所)</p>	<p>2aG12 単細胞紅藻シアニジウム類の自然環境中における生育様式 廣岡 俊亮^{1,2}, 藤原 崇之^{1,2,3}, 広瀬 侑⁴, 大沼 亮¹, 田草川 真理⁵, 三角 修己⁶, 宮城島 進也^{1,2,3} (¹遺伝研・細胞遺伝, ²JST・MIRAI, ³総研大・生命科学・遺伝学, ⁴豊橋技科大・環境・生命工学系, ⁵京大・院・理, ⁶山口大・院・創成科学)</p>	<p>2aI12 自由振動解析システムを用いたシロイヌナズナ茎の機械強度の迅速評価 中田 未友希¹, 高原 正裕², 坂本 真吾¹, 吉田 光毅³, 光田 展隆¹ (¹産総研, ²アカシア園芸, ³大成建設)</p>	11:45
<p>2aE13 新規菌根共生系ケカビ亜門共生はシダ植物にも存在するか? 辻田 有紀¹, 平山 裕美子², 山本 航平³, 海老原 淳², 今市 涼子⁴ (¹佐賀大・農, ²国立科博, ³栃木県博, ⁴日本女子大)</p>	<p>2aF13 ツノケイソウにおけるトランスクリプトーム解析を用いた無機炭素濃縮機構関連因子の探索 香西 紀子¹, 福田 有里¹, 山野 隆志¹, 兼崎 友², 吉川 博文³, 福澤 秀哉¹ (¹京大院・生命科学研究所, ²東京農大・生物資源ゲノム解析センター, ³東京農大・生命科学部)</p>	<p>2aG13 シロイヌナズナ光屈性シグナル伝達因子 NPH3 のリン酸化修飾の機能解析 木村 太郎¹, 芳賀 健², 野村 有子³, 中神 弘史⁴, 酒井 達也¹ (¹新潟大・院・自然科学, ²日本工業大・応用化学, ³理研・CSRS, ⁴マックス・プランク植物育種学研究所)</p>		12:00
<p>2aE14 AM菌のrDNAはタンデムリピート構造を欠損しゲノム内多型を示す 前田 太郎¹, 小林 裕樹¹, 亀岡 啓², 大熊 直生^{1,3}, 武田 直也⁴, 山口 勝司¹, 尾納 隆大¹, 重信 秀治¹, 川口 正代司¹ (¹基礎生物学研究所, ²大阪府立大学, ³総合研究大学院大学, ⁴関西学院大学)</p>	<p>12:15-12:45</p> <p>2aF-AL1 奨励賞 植物オルガネラ機能を支えるレドックス制御ネットワークの包括的解析 吉田 啓亮 (東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所)</p>	<p>2aG14 遺伝子組み換えにより従属栄養増殖を可能にした単細胞紅藻シソンの解析 向井 瑞梨¹, 兼崎 友², 宮澤 和己¹, 藤原 崇之³, 渡辺 智¹ (¹東京農大・バイオ, ²静岡大・グリーン研, ³遺伝研)</p>		12:15
		<p>2aG15 ゼニゴケのストレス応答性長距離シグナル伝達におけるROS-Ca²⁺シグナルネットワークの解析 橋本 研志¹, 進藤 大輝², 板橋 武², 朽津 和幸^{1,2} (¹東京理科大・イメージングフロンティアセンター, ²東京理科大・理工・応用生物科学)</p>		12:30
				12:45

時間	A会場	B会場	C会場
	JPR国際シンポジウム New aspects of functional plant nuclear architecture	シンポジウム 植物系NBRPリソースとその活用研究最前線	シンポジウム ウェットからモデリングまでのシームレスな研究に向けて
9:00	9:00-9:20 3aSA01 Plant nuclear lamina regulates gene expression under stress condition <u>Yuki Sakamoto</u> ¹ , Mayuko Sato ² , Kiminori Toyooka ² , Shingo Takagi ³ , Sachihito Matsunaga ¹ (¹ Tokyo Univ. Sci., ² CSRS, RIKEN, ³ Osaka Univ.)	9:00-9:05 3aSB01 植物科学における藻類リソースの魅力について <u>河地 正伸</u> ¹ , <u>川井 浩史</u> ² (¹ 国立環境研・生物・生態系環境研究センター, ² 神戸大・内海地域環境教育研究センター)	9:00-9:15 3aSC01 Pythonで茎の表現型解析プログラムを作るまでの道のり <u>中田 未友希</u> (産総研)
9:15	9:20-9:50 3aSA02 Exploring bridging complexes at the nuclear envelope in plants <u>Katja Graumann</u> ¹ , Vidya Pawar ¹ , Gwen Detourne ^{1,2} , Frances Tolmie ¹ , Joe McKenna ¹ , Hardeep Gumber ³ , David Evans ¹ , Christophe Tatout ² , Hank Bass ³ (¹ Oxford Brookes University, ² Université Clermont Auvergne, ³ Florida State University)	9:05-9:29 3aSB02 ゾンビ化実験で明らかになった創発現象としてのボルボックス走光性 <u>植木 紀子</u> (ニューヨーク市立大・ブルックリン校)	9:15-9:40 3aSC02 発生シグナルの時空間動態を解くための実験と理論 <u>川出 健介</u> ^{1,2,3} (¹ 岡崎統合バイオサイエンスセンター, ² 基生研, ³ 総研大)
9:30		9:29-9:34 3aSB03 細胞性粘菌リソースと研究への利用 <u>上村 陽一郎</u> ¹ , <u>桑山 秀一</u> ² , <u>上田 昌宏</u> ¹ (¹ 理研・生命機能科学研究センター, ² 筑波大学・生命環境)	
		9:34-9:58 3aSB04 細胞性粘菌の化学生態学 <u>齊藤 玉緒</u> (上智大・理工)	
9:45	9:50-10:20 3aSA03 Dynamic regulation of plant nuclear architecture <u>Kentaro Tamura</u> (Univ. Shizuoka)		9:40-10:05 3aSC03 植物科学における数理モデル研究 <u>藤田 浩徳</u> ^{1,2} (¹ 基生研, ² 総研大・院・生命科学)
10:00		9:58-10:05 3aSB05 キクタニギク自家和合性突然変異体を用いたキク属モデル系統の開発 <u>草場 信</u> , <u>中野 道治</u> , <u>小塚 俊明</u> , <u>谷口 研至</u> (広島大・院・理)	10:05-10:20 3aSC04 初歩的なモデリングでわかったこと, わからなかったこと ~葉の発生研究を例に~ <u>爲重 才覚</u> ¹ , <u>鳥居 啓子</u> ^{2,3,4} , <u>打田 直行</u> ² (¹ 横浜市大・木原生研, ² 名古屋大・ITbM, ³ Univ. Washington, ⁴ HHMI)
		10:05-10:27 3aSB06 キクタニギクを用いた光周性花成制御機構の解明と電照栽培技術への応用 <u>樋口 洋平</u> ¹ , <u>久松 完</u> ² (¹ 東京大・院・農学生命, ² 農研機構・野菜花き)	

D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	時間
<p>発 生</p> <p>座長：平川 有宇樹 玉田 洋介</p>	<p>分類, 系統, 進化</p> <p>座長：國府方 吾郎 菅原 敬</p>	<p>ゲノム, プロテオーム</p> <p>座長：西辻 光希 重信 秀治</p>	<p>生体膜</p> <p>座長：佐々木 孝行 長野 稔</p>	
<p>3aD01 Molecular mechanism of root diffusion barrier control by SGN3 - CIF peptides interaction Satohiro Okuda¹, Satoshi Fujita², Veronica Gonzalez Doblas², Andrea Moretti¹, Niko Geldner², Michael Hothorn¹ (¹Department of Botany and Plant Biology, University of Geneva, ²Department of Plant Molecular Biology, University of Lausanne)</p>	<p>3aE01 ミスミソウの花色多型と訪花昆虫による食害・種子生産量の関係 亀岡 慎一郎¹, 高橋 大樹¹, 長澤 耕樹², 崎尾 均³, 阿部 晴恵³, 瀬戸口 浩彰¹ (¹京大院・人環, ²京大・総合人間, ³新潟大・農)</p>	<p>3aF01 比較ゲノム解析によるアーバスキュラー菌根菌の宿主依存性の解明 小林 裕樹^{1,2}, 前田 太郎^{1,2}, 山口 勝司³, 亀岡 啓⁴, 田中 幸子^{1,2}, 江沢 辰広^{2,5}, 重信 秀治^{3,6}, 川口 正代司^{1,2,6} (¹基生研・共生システム, ²JST ACCEL, ³基生研・機能解析セ, ⁴大阪府大・生命環境, ⁵北大・農, ⁶総研大)</p>	<p>3aG01 スフィンゴ脂質による植物細胞膜ダイナミクスの制御 長野 稔¹, Yohann Bouitte², Adilah Mamode-Cassim², Lactitia Fouillen², 川合 真紀³, Sebastien Mongrand² (¹立命館大・生命科学・生命情報, ²Laboratoire de Biogenese, CNRS-Universite de Bordeaux, France, ³埼玉大・院・理工)</p>	9:00
<p>3aD02 ヒメツリガネゴケにおけるヒストンバリアントH3.3とH3.3シヤペロンHIRAの機能解析 玉田 洋介^{1,2}, 程 朝陽^{1,3}, 壁谷 幸子¹, 西山 智明^{3,4}, 長谷部 光泰^{1,2,3} (¹基生研・生物進化, ²総研大・生命科学, ³ERATO, JST, ⁴金沢大・学際科学実験センター)</p>	<p>3aE02 メジロによる送粉に適応したハマジロチョウ (ゴマノハグサ科) 菅原 敬^{1,2}, 中路 真嘉¹, 田畑 満大² (¹首都大・院・理・牧野標本館, ²鹿児島県・奄美市)</p>	<p>3aF02 共生研究の新規モデル植物シラン (<i>Bletilla striata</i>) のゲノム解読 山口 勝司¹, 三浦 千裕², 谷亀 高広³, 大和 政秀⁴, 重信 秀治^{1,5}, 上中 弘典² (¹基生研・生物機能解析センター, ²鳥取大・農, ³瑞穂町郷土資料館, ⁴千葉大・教, ⁵総研大)</p>	<p>3aG02 イネアクアポリン OsPIP1群の細胞内局在の決定要因 岩崎 郁子, 中井 慶輔, 森田 更紗, 高橋 永暉 (秋田県立大・生物資源・応用生物)</p>	9:15
<p>3aD03 転写因子 SBP はヒメツリガネゴケにおいて幹細胞化の抑制と茎葉体・造精器・造卵器の形成に機能する 壁谷 幸子¹, 越水 静^{1,2}, 樋口 洋平^{3,4}, 佐藤 良勝^{3,5}, 程 朝陽³, 玉田 洋介^{1,6}, 長谷部 光泰^{1,3,6} (¹基生研・生物進化, ²現所属・明治大・農, ³ERATO, ⁴現所属・東大・農, ⁵現所属・名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研, ⁶総研大)</p>	<p>3aE03 異なる緯度に生育するタネツケバナ属 (<i>Cardamine</i>) の姉妹種におけるフィトクロム (PHYB) の環境感受性の進化 池田 啓¹, 鈴木 友美², 岡 義人³, Lovisa Gustafsson⁴, Christian Brochmann⁴, 長谷 あきら² (¹岡山山大・植物研, ²京都大・院・理, ³福建農林大学, ⁴オスロ大・博物館)</p>	<p>3aF03 緑色海藻クビレズタ <i>Caulerpa lentillifera</i> の差別的発現遺伝子の探索 有本 飛鳥, 西辻 光希, 佐藤 矩行, 將口 栄一 (沖縄科学技術大学院大学・マリンゲノミクスユニット)</p>	<p>3aG03 タバコ BY-2細胞におけるマイクロオートファジー 岩原 和貴, 井上 悠子, 森安 裕二 (埼玉大・院・理工研)</p>	9:30
<p>3aD04 ゼニゴケ葉状体の分枝における MpCLE2シグナルの役割 平川 有宇樹¹, 藤本 童子¹, 打田 直行², 澤 進一郎³, 石崎 公庸⁴, 西浜 竜一⁵, 河内 孝之⁵, 清末 知宏¹, John Bowman⁶ (¹学習院大・理, ²名大・ITbM, ³熊大・院・自然, ⁴神戸大・院・理, ⁵京大・院・生命, ⁶モナシユ大・生物)</p>	<p>3aE04 東北地方のエンレイソウ属研究 (1) 堀井 雄治郎</p>	<p>3aF04 褐藻類モズク <i>Nemacystus decipiens</i> のゲノム解析: フコイダン合成関連遺伝子の構造比較 西辻 光希¹, 有本 飛鳥¹, 比嘉 義視², 銘苅 宗和², 川満 真由美³, 佐藤 矩行¹, 將口 栄一¹ (¹沖縄科学技術大学院大学 マリンゲノミクスユニット, ²恩納村漁協, ³沖縄科学技術大学院大学 DNA シーケンシングセクション)</p>	<p>3aG04 オオシャジクモの傷害において発生する脱分極の機構 新免 隼男, 吉久 徹 (兵庫県立大・院・生命理学)</p>	9:45
<p>形 態</p> <p>座長：平川 有宇樹 玉田 洋介</p>				
<p>3aD05 新規実験系を用いた物理的圧力が花形態に及ぼす影響の解析 岩元 明敏, 岡部 生利子, 吉岡 優奈 (東京学芸大・自然科学・生命科学)</p>	<p>3aE05 種の分布北限域における保全ゲノミクス 芝林 真友¹, 栗田 和紀¹, 横田 昌嗣², 阿部 篤志³, 赤井 賢成³, 國府方 吾郎⁴, 遊川 知久⁴, 長澤 淳一⁵, 志内 利明⁶, 市河 三英⁷, 橋本 季正⁸, 阪口 翔太⁹, 寺峰 孜^{10,11}, 井鷲 裕司¹ (¹京都大・院・農・森林科学, ²琉球大・理・生物, ³沖縄美ら島財団・植物, ⁴科博・植物, ⁵京都府立植物園, ⁶富山県中央植物園, ⁷自然環境研究センター, ⁸高知県立牧野植物園, ⁹京都大・院・人間・環境・相関環境, ¹⁰近畿大, ¹¹九州短期大)</p>	<p>3aF05 Genome-wide comparison of plant genomes for understanding the genomic distance between species Jongsun Park^{1,2}, Hong Xi^{1,2}, Yongsung Kim^{1,2} (¹InfoBoss Co. Ltd., ²InfoBoss Research Center)</p>	<p>3aG05 シャジクモ細胞膜リン酸輸送体の分子機能解析 三村 徹郎¹, 大西 美輪¹, 村西 直樹¹, 藤原 ひとみ¹, 石崎 公庸¹, 深城 英弘¹, 西山 智明², 坂山 英俊¹, Rob J. Reid³, 且原 真木⁴ (¹神戸大・院・理, ²金沢大・学際, ³オーストラリア・アデレード大, ⁴岡山大・資源植物研)</p>	10:00

時間	A会場	B会場	C会場
	JPR国際シンポジウム New aspects of functional plant nuclear architecture	シンポジウム 植物系NBRPリソースと その活用研究最前線	シンポジウム ウェットからモデリングまでの シームレスな研究に向けて
10:15	10:20-10:50 3aSA04 Transgene Silencing in 3D —How a Chromosomal Knot Can Inactivate Foreign DNA Elements Stefan Grob, Ueli Grossniklaus (Univ. Zurich)	10:27-10:32 3aSB07 アサガオの多様な変異体リソースと高精度ゲノム情報 仁田坂 英二 ¹ , 星野 敦 ² (¹ 九州大・院・理, ² 基生研)	10:20-10:45 3aSC05 分子生物学的なモデリングとの馴れ初め 寛 雄介 ^{1,2} , 嶋田 幸久 ² (¹ 農研機構・野菜花き, ² 横浜市大・木原生研)
10:30		10:32-10:56 3aSB08 アサガオ花弁屈曲系統「台咲」から見る花器官のミクロ構造の役割 武田 征士 (京都府立大・院・生命環境)	
10:45	10:50-11:20 3aSA05 Elucidating the role of the nucleolus in the global chromatin organization in <i>A. thaliana</i> Ariadna Picart-Piccolo ^{1,2} , Marie-Christine Carpentier ^{1,2} , Nathalie Picault ^{1,2} , Frédéric Pontvianne ^{1,2} (¹ CNRS, Laboratoire Génome et Développement des Plantes, ² Univ. de Perpignan Via Domitia, Laboratoire Génome et Développement des Plantes)		10:45-11:10 3aSC06 境界を越え, 異分野に学ぼう ~野外トランスクリプトーム研究などを通じて~ 永野 惺 (龍谷大・農)
11:00		10:56-11:00 3aSB09 マメ科植物研究を牽引するミヤコグサ・ダイズバイオリソース 橋口 正嗣 ¹ , 佐藤 修正 ² , 橋口 拓勇 ¹ , 田中 秀典 ³ , 明石 良 ^{1,3} (¹ 宮崎大・農, ² 東北大・院・生命科学, ³ 宮崎大・IR推進センター)	
11:15	11:20-11:40 3aSA06 Maintenance of chromatin stability brought by two-step regulation of centromere distribution Takuya Sakamoto ¹ , Yuki Sakamoto ¹ , Oko Yuka ¹ , Stephan Grob ² , Ueli Grossniklaus ² , Sachihito Matsunaga ¹ (¹ Tokyo Univ. Sci., ² Univ. Zurich)	11:00-11:25 3aSB10 「ミヤコグサ国内野生系統が示す開花時期の大きな違いとその遺伝基盤」~全ゲノム関連解析による責任遺伝子の検出~ 瀬戸口 浩彰 ^{1,2} , 若林 智美 ³ (¹ 京都大・院・人間環境, ² 京都大・地球環境学堂, ³ 奈良女子大・理系女性教育開発共同機構)	11:10-11:35 3aSC07 表現学習による仮説提案型モデルの構築 青木 裕一 ^{1,2} (¹ 東北大・東北メディカルメガバンク機構, ² 東北大・院・情報科学)
11:30		11:25-11:30 3aSB11 実験植物としてのコムギとその近縁種 那須田 周平 (京都大・院・農)	
		11:30-11:54 3aSB12 パンコムギの冠水応答にみられるコムギ・エギロプス属細胞質の多様性 竹中 祥太郎, 山本 涼平, 中村 千春 (龍谷大・農)	11:35-12:00 総合討論
11:45		11:54-12:00 総合討論 佐藤 豊, 山口 晴代	
12:00			

D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	時間
<p style="text-align: center;">形態</p> <p style="text-align: center;">座長：平川 有宇樹 玉田 洋介</p>	<p style="text-align: center;">分類, 系統, 進化</p> <p style="text-align: center;">座長：國府方 吾郎 菅原 敬</p>		<p style="text-align: center;">生体膜</p> <p style="text-align: center;">座長：佐々木 孝行 長野 稔</p>	
<p>3aD06 バラのトゲ形成に関わる候補遺伝子の探索</p> <p>長 和宏¹, 太田垣 駿吾¹, 落合 正樹², 磯部 祥子³, 松本 省吾¹, 河村 耕史⁴ (¹名古屋大院生命農学研究科, ²岐阜大応用生物科学部, ³かずさ DNA 研, ⁴大阪工業大学工学部)</p>	<p>3aE06 データベース「琉球の植物」からわかった植物地理学的知見</p> <p>國府方 吾郎¹, 海老原 淳¹, 阿部 篤志², 齊藤 由紀子³, 天野 正晴⁴, 中村 剛⁵, 横田 昌嗣⁶ (¹科博・植物, ²沖縄美ら島財団・総合研究センター, ³琉大・教育, ⁴沖縄美ら島財団, ⁵北海道大・北方圏・植物園, ⁶琉大・理)</p>		<p>3aG06 植物のALMT リンゴ酸輸送体の多様性</p> <p>佐々木 孝行, 有吉 美智代, 森 泉, 山本 洋子 (岡山大・植物研)</p>	10:15
				10:30
				10:45
				11:00
				11:15
				11:30
				11:45
				12:00

時間	A会場	B会場	C会場
	<p>理事会シンポジウム</p> <p>おぼえきれない高校生物！ 一意味のある学びのために研究者 コミュニティにできることー</p>	<p>シンポジウム</p> <p>重力環境が変化した時、動植物は どのように変化し、適応するのか</p>	<p>シンポジウム</p> <p>小笠原諸島返還から50年、 絶滅危惧植物の現状と対策研究</p>
13:00		<p>13:00-13:20</p> <p>3pSB01 生物にとっての重力とは？ 質量・重さ・ 浮力・対流 久米 篤 (九州大・農院)</p>	<p>13:00-13:30</p> <p>3pSC01 初めに：いま、なぜ、小笠原諸島の絶滅危 惧植物なのか 瀬戸口 浩彰^{1,2} (1京都大・院・人間環境, 2京都大・ 地球環境学堂)</p>
13:15		<p>13:20-13:45</p> <p>3pSB02 重力屈性における重力シグナリング機構 森田 (寺尾) 美代^{1,2}, 古谷 将彦³, 西村 岳志¹, 中村 守貴¹, 谷口 雅俊¹, 橋本 (杉本) 美海¹ (1名古屋大・ 院・生命農学, 2基生研, 3福建農林大学)</p>	
13:30	<p>13:30-13:40</p> <p>3pSA01 はじめに 経塚 淳子 (東北大学生命科学研究科)</p>		<p>13:30-14:10</p> <p>3pSC02 小笠原に生育する希少植物の保全ゲノミク ス 井鷲 裕司¹, 兼子 伸吾², 牧野 能士³, 浜端 朋子³, 邑 田 仁⁴, 小牧 義輝⁴, 成田 智史⁵, 加藤 英寿⁶, 加藤 朗子⁶, 鈴木 節子⁷, 須貝 杏子⁸, 成田 あゆ⁹ (1京都大・ 院・農, 2福島大・院・共生システム理工, 3北大・ 院・生命科学, 4東京大・院・理, 5環境省・関東地方 環境事務所, 6首都大学東京・牧野標本館, 7森林総 研・森林遺伝研究領域, 8鳥根大・生物資源科学, 9北海道立総合研究機構・林業試験場)</p>
13:45	<p>13:40-14:05</p> <p>3pSA02 「深い学び」を志向した高等学校生物にお ける授業改善の取り組み 井上 純一 (広島大学付属高等学校)</p>	<p>13:45-14:05</p> <p>3pSB03 植物が重力に抗して体を支える反応：抗重 力反応 曾我 康一, 若林 和幸, 保尊 隆享 (大阪市大・院・理)</p>	
14:00	<p>14:05-14:30</p> <p>3pSA03 なぜ学習は主体的でなくなったか、どうし たら主体的になるか、主体的になると何が よいか 松浦 克美 (首都大学東京)</p>	<p>14:05-14:25</p> <p>3pSB04 樹木の重力応答 一方向変化と疑似微少重 力に対して一 馬場 啓一¹, 辻 祥子², 土井 隆雄³ (1京都大・生存 研, 2京都大・生態研, 3京都大・宇宙ユニット)</p>	
14:15			<p>14:10-14:50</p> <p>3pSC03 小笠原の絶滅危惧植物の現状と課題 加藤 英寿 (首都大学東京・院・理工)</p>
14:30	<p>14:30-14:45</p> <p>休憩</p>	<p>14:25-14:50</p> <p>3pSB05 植物の機械 (重力) 刺激受容機構の生物物 理学的研究 豊田 正嗣 (埼玉大・院・理)</p>	

D 会場	F 会場	G 会場	時間
<p style="text-align: center;">シンポジウム 植物の窒素およびリン栄養獲得戦略</p>	<p style="text-align: center;">遺伝子発現制御 座長：池田 陽子 松永 幸大</p>	<p style="text-align: center;">植物微生物相互作用 座長：吉田 聡子 今泉(安楽) 温子</p>	
<p>13:00-13:05</p>	<p>3pF01</p>	<p>3pG01</p>	<p>13:00</p>
<p>はじめに</p>	<p>ダイコンを遅咲きにする原因遺伝子の同定 三井 裕樹¹, 中江川 航², 田中 啓介³ (¹東農大・農・生物資源,²東農大・農・バイオセラピー,³東農大・ゲノム)</p>	<p>菌根共生に伴うダイズ植物体イオノームの動態解析 今泉(安楽) 温子¹, 高木 恭子², 石本 政男³ (¹農研機構・生物機能利用,²農研機構・東北農研,³農研機構・次世代作物センター)</p>	
<p>13:05-13:30</p>	<p>3pF02</p>	<p>3pG02</p>	<p>13:15</p>
<p>3pSD01 硝酸シグナル伝達とリン飢餓シグナル伝達の転写カスケードを介したクロストーク 柳澤 修一 (東京大・生物生産工学研究センター)</p>	<p>イメージング技術を用いた植物体におけるヒストン修飾の解析 松岡 慈, 栗田 和貴, 坂本 卓也, 八木 慎宜, 松永 幸大 (東理大・理工・応用生物科学)</p>	<p>ラン科植物シランの共生発芽における種皮の役割 三浦 千裕¹, 才所 美晴¹, 谷亀 高広², 大和 政秀³, 上中 弘典¹ (¹鳥取大農,²瑞穂町郷土資料館,³千葉大教育)</p>	
<p>13:30-13:55</p>	<p>3pF03</p>	<p>3pG03</p>	<p>13:30</p>
<p>3pSD02 窒素飢餓応答制御系とリン飢餓応答制御系のクロストーク 木羽 隆敏 (名古屋大・院・生命農学)</p>	<p>原始紅藻 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> における染色体構造の解析 中山 直¹, 北川 美也子¹, 竹村 時空², 乾 弥生¹, 坂本 卓也¹, 松永 朋子¹, 田中 寛², 松永 幸大¹ (¹東理大・理工・応用生物科学,²東工大・化生研)</p>	<p>硝酸に応答した根粒共生の抑制機構に関わるNRSYM3の解析 三澤 文香¹, 西田 帆那², 鈴木 孝征³, 伊藤 百代¹, 川口 正代司², 寿崎 拓哉¹ (¹筑波大・生命環境,²基生研,³中部大・応用生物)</p>	
<p>13:55-14:20</p>	<p>3pF04</p>	<p>3pG04</p>	<p>13:45</p>
<p>3pSD03 植物の窒素充足応答 蜂谷 卓士 (島根大・総合科学研究支援センター)</p>	<p>ゼニゴケにおけるDNAメチル化制御 池田 陽子¹, 西浜 竜一², 山岡 尚平², Mario A. Arteaga-Vazquez³, Daniel Grimanelli⁴, Robert A. Martienssen⁵, Romain Pogorelecnik⁶, Olivier Mathieu⁶, 大和 勝幸⁷, 河内 孝之², 平山 隆志¹ (¹岡山大学 資源植物科学研究所,²京大・院生命科学,³INBIOTECA, Universidad Veracruzana, Mexico,⁴CNRS-Universite de Perpignan, France,⁵Cold Spring Harbor Laboratory, USA,⁶CNRS-Universite Clermont Auvergne, France,⁷近畿大・院・生物理工)</p>	<p>根粒菌感染と硝酸処理によって共通して葉で合成誘導されるサイトカイニンの作用機構の解析 大熊 直生^{1,2}, 征矢野 敬^{1,2}, 川口 正代司^{1,2} (¹総合研究大学院大学,²基礎生物学研究所)</p>	
<p>13:55-14:20</p>	<p>3pF05</p>	<p>3pG05</p>	<p>14:00</p>
<p>3pSD03 植物の窒素充足応答 蜂谷 卓士 (島根大・総合科学研究支援センター)</p>	<p>レトログレードシグナルによる核コード光合成遺伝子発現制御の多様性 梅原 未来, 舩城 桐子, 猪狩 温, 平安山 昌史, 華岡 光正 (千葉大・院園芸・応用生命)</p>	<p>ハマウツボ科寄生植物の宿主植物との相互作用におけるエチレンの役割 Songkui Cui^{1,2}, 白須 賢^{2,3}, 吉田 聡子^{1,2} (¹奈良先端大・バイオ,²理研・CSRS,³東京大院・理)</p>	
<p>14:20-14:45</p>	<p>3pF06</p>	<p>3pG06</p>	<p>14:15</p>
<p>3pSD04 長鎖ノンコーディングRNAを介した植物の低窒素・低リン適応戦略 西田 翔¹, 福田 牧葉², 笥 雄介³, 嶋田 幸久³, 和崎 淳¹, 藤原 徹² (¹広島大・院・生物圏,²東京大・院・農学生命,³横浜市立大・木原生研)</p>	<p>NMDによる遺伝子発現制御の網羅的解析 栗原 志夫, 蒔田 由布子, 松井 南 (理研・環境資源)</p>	<p>寄生植物ストライガが吸器誘導物質へ与える影響 和田 将吾, Songkui Cui, 清水 崇文, 峠 隆之, 吉田 聡子 (奈良先端科学技術大学院大学)</p>	
<p>3pF07</p>	<p>3pG07</p>	<p>14:30</p>	
<p>花粉をモデルとしたRNA細胞間移行メカニズムの解析 元村 一基¹, 鈴木 孝征², 市橋 泰範^{3,4}, 野田口 理孝^{4,5}, 佐藤 萌子⁶, 豊岡 公德⁶, 東山 哲也^{1,7}, 丸山 大輔⁸ (¹名大・WPI-ITbM,²中部大・応用生物,³理研・BRC,⁴JST・さきがけ,⁵名大・院生命科学,⁶理研・CSRS,⁷名大・院・理,⁸横浜市立大・木原生研)</p>	<p>シロイヌナズナを用いた新規耐病性検定法・トランスクリプトーム解析による, 植物免疫活性化化合物の評価 中野 正貴¹, 北畑 信隆^{1,2}, 安江 啓人¹, 吉田 亜祐美¹, 末次 真悠¹, 佐藤 静香¹, 来須 孝光³, 石賀 貴子⁴, 石賀 康博⁴, 木村 成介³, 諸橋 賢吾¹, 浅見 忠男⁶, 朽津 和幸^{1,2} (¹東京理科大・理工・応用生物科学,²東京理科大・イメージングフロンティアセンター,³公立諏訪東京理科大・工,⁴筑波大・生命環境,⁵京都産業大・総合生命科学,⁶東京大院・農学生命科学)</p>		

時間	A会場	B会場	C会場
	<p>理事会シンポジウム</p> <p>おぼえきれない高校生物！ —意味のある学びのために研究者 コミュニティにできること—</p>	<p>シンポジウム</p> <p>重力環境が変化した時、動植物は どのように変化し、適応するのか</p>	<p>シンポジウム</p> <p>小笠原諸島返還から50年、 絶滅危惧植物の現状と対策研究</p>
14:45	<p>14:45-15:10</p> <p>3pSA04 高校生物の重要用語について日本学術会議 からのメッセージ 中野 明彦 (理研・光子工学研究センター)</p>	<p>14:50-15:15</p> <p>3pSB06 筋細胞における無重力ストレスのシグナル・ トランスダクション 二川 健 (徳島大・院・医歯薬)</p>	<p>14:50-15:30</p> <p>3pSC04 小笠原諸島における絶滅危惧植物保全に関 わる活動のこれまで 中村 隆太 (東京大・院・理)</p>
15:00			
15:15	<p>15:10-15:35</p> <p>3pSA05 生物教育の未来—入試・教科書・検定の三 すくみからの脱出を目指して— 園池 公毅 (早稲田大学)</p>	<p>15:15-15:40</p> <p>3pSB07 微小重力環境は、植物の紫外線障害・修復・ 応答に影響を及ぼすのか？ 日出間 純¹、高橋 昭久² (¹東北大・院・生命科学, ²群馬大・重粒子線医学研究センター)</p>	
15:30	<p>15:35-16:00</p> <p>パネルディスカッション</p>		
15:45		<p>15:40-16:00</p> <p>3pSB08 1Gとは異なる重力環境におけるヒメツリ ガネゴケの成長、光合成、遺伝子発現変化 藤田 知道¹、北島 佐紀人²、蒲池 浩之³、久米 篤⁴、唐 原 一郎⁵、坂田 洋一⁵、半場 祐子² (¹北海道大・院・ 理, ²京都工繊大・応用生物, ³富山大・院・理工, ⁴九 州大・農院, ⁵東京農大・生命科学)</p>	
16:00			

D 会場	F 会場	G 会場	時間
<p style="text-align: center;">シンポジウム 植物の窒素およびリン栄養獲得戦略</p> <p>14:45-15:10</p> <p>3pSD05 植物-根粒菌共生における窒素栄養獲得の制御機構 寿崎 拓哉 (筑波大・生命環境)</p> <p>15:10-15:35</p> <p>3pSD06 内生糸状菌との相互作用を介したアブラナ科植物のリン栄養獲得戦略 晝間 敬^{1,2} (¹奈良先端大・院・バイオ, ²JST・さきがけ)</p> <p>15:35-15:45</p> <p>総合討論</p>			<p>14:45</p> <p>15:00</p> <p>15:15</p> <p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p>

●座長表（口頭発表）

開催日	会場	演題番号	分野	座長氏名
9月14日 午前	D	1aD01 ~ 1aD11	代謝	瀬上 紹嗣 石川 寿樹 戸田 恭子
	E	1aE01 ~ 1aE10	生殖	南野 尚紀 山岡 尚平 武内 秀憲
	F	1aF01 ~ 1aF07	生態	中坪 孝之 木下 晃彦
	G	1aG01 ~ 1aG09	細胞小器官	吉田 大和 高野 博嘉 岩根 敦子
	I	1aI01 ~ 1aI10	成長生理	楠見 健介 下遠野 明恵 岩元 明敏
9月14日 午後	D	1pD01 ~ 1pD05	代謝	来須 孝光 岩科 司
	D	1pD06 ~ 1pD013	発生	栗原 大輔 前川 修吾
	E	1pE01 ~ 1pE05	生殖	西川 周一 野々村 賢一
	E	1pE06 ~ 1pE014	分類, 系統, 進化	半田 信司 井藤賀 操 野崎 久義
	F	1pF01 ~ 1pF14	細胞増殖, 細胞分化	久保 稔 大谷 美沙都 近藤 侑貴 藤原 崇之
	G	1pG01 ~ 1pG04	遺伝	小野 道之 内藤 健
	G	1pG05 ~ 1pG13	環境応答	黒羽 剛 橋本 研志 小林 啓恵
I	1pI01 ~ 1pI08	細胞骨格	本瀬 宏康 濱田 隆宏	

開催日	会場	演題番号	分野	座長氏名
9月15日 午前	D	2aD01 ~ 2aD13	発生	藤田 知道 坂本 智昭 石田 喬志 伊藤(大橋) 恭子
	E	2aE01 ~ 2aE14	分類, 系統, 進化	田村 実 藤井 伸二 厚井 聡 田頭 紀和
	F	2aF01 ~ 2aF13	光合成	野口 航 寺島 一郎 山崎 朋人 小林 康一
	G	2aG01 ~ 2aG15	環境応答	廣岡 俊亮 遠藤 求 後藤 栄治 岡崎 久美子
	I	2aI01 ~ 2aI12	細胞壁	小竹 敬久 岩井 宏暁 馬場 啓一
9月16日 午前	D	3aD01 ~ 3aD06	発生/形態	平川 有宇樹 玉田 洋介
	E	3aE01 ~ 3aE06	分類, 系統, 進化	國府方 吾郎 菅原 敬
	F	3aF01 ~ 3aF05	ゲノム, プロテオーム	西辻 光希 重信 秀治
	G	3aG01 ~ 3aG06	生体膜	佐々木 孝行 長野 稔
9月16日 午後	F	3pF01 ~ 3pF07	遺伝子発現制御	池田 陽子 松永 幸大
	G	3pG01 ~ 3pG07	植物微生物相互作用	吉田 聡子 今泉(安楽) 温子

前半 (PF) : 9月15日 (土) 13:20~14:50 発表

後半 (PL) : 9月16日 (日) 10:30~12:00 発表

遺伝

PF-001

理研 BRC のシロイヌナズナバイオリソースのデータベースの機能と更新について

井内 聖, 小林 正智

(理研BRC実験植物)

PF-002

平成 30 年度に理研 BRC が実施する植物培養細胞リソースに関連する事業について

小林 俊弘, 井内 聖, 小林 正智

(理研・BRC)

PF-003

高 LET 重イオンビームは高頻度で染色体再編成を誘発する
風間 裕介¹, 平野 智也^{2,3}, 石井 公太郎³, 若菜 妙子³,
山田 美恵子³, 大部 澄江³, 阿部 知子³

(¹理研・仁科センター・変異ゲノム, ²宮崎大・農・応用生物, ³理研・仁科センター・生物照射)

PF-004

寄生植物コシオガマの吸器形成変異体の解析

島田 捷太¹, Songkui Cui¹, Simon B Saucet², 白須 賢^{2,3},

吉田 聡子¹

(¹奈良先端・バイオ, ²理研 CSRS, ³東大院・理)

PF-005

紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* における CmRuvX 遺伝子の機能解析

片岡 聡¹, 小林 優介², 三角 修己¹

(¹山口大・院・創成科学, ²遺伝研)

PF-006

エクソヌクレアーゼの変異によるプラスミド接合伝達の高頻度化

清川 一矢, 大嶺 悠太, 柚木 和也, 山本 真司, 守口 和基,

鈴木 克周

(広島大学大学院理学研究科 生物科学専攻)

ゲノム, プロテオーム

PF-007

ゼノゲゲノムに対する off target が少ない gRNA の網羅的な自動設計と遺伝子破壊技術の構築

田井 雅人¹, 石野 江太郎¹, 大和 勝幸², 西浜 竜一³,

河内 孝之³, 深尾 陽一郎¹, 菅野 茂夫^{4,5}

(¹立命館大・院・生命科学, ²近畿大・院・生物理工学, ³京都大・院・生命科学, ⁴立命館グローバルイノベーション研究機構, ⁵JST さきがけ)

PF-008

毛状根系を用いた TALEN によるタバコ *SurA/SurB* 遺伝子破壊

土山 賢太¹, 佐久間 哲史², 山本 卓², 田中 伸和¹

(¹広島大・院先端物質・分子生命, ²広島大・院理・数理分子生命)

PF-009

異形葉性植物 *Rorippa aquatica* の比較ゲノム解析

坂本 智昭, 木村 成介

(京産大・総合生命)

PF-010

Whole genome analysis of *Marchantia polymorpha* of Korean isolate (KDBI00084)

Jongsun Park^{1,2}, Woochan Kwon^{1,2}

(¹InfoBoss Co. Ltd., ²InfoBoss Research Center)

PF-011

Organelle genomes of *Marchantia polymorpha* of Korean isolate (KBDI00084)

Woochan Kwon^{1,2}, Juhyeon Min^{1,2}, Jongsun Park^{1,2}

(¹InfoBoss Co. Ltd., ²InfoBoss Research Center)

PF-012

Genome-wide identification from GATA transcription factors in seven *Populus* genomes

Mangi Kim^{1,2}, Hong Xi^{1,2}, Jongsun Park^{1,2}

(¹InfoBoss Co. Ltd., ²InfoBoss Research Center)

遺伝子発現制御

PF-013

シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC6803 の酸性ストレス応答性 ncRNA SyR47 の機能解析

内山 純爾¹, 太田 尚孝^{1,2,3}

(¹東理大・理・教養, ²東理大院・科学教育・科学教育, ³東理大院・理・科学教育)

PF-014

ゲノム編集による機能性成分を向上させたタマネギ個体の作出

渡辺 康平¹, 今井 真介², 鴨井 享宏², 生貝 達也², 中村 郁郎¹, 井川 智子¹

(¹千葉大学大学院園芸学研究科, ²ハウス食品G本社)

PF-015

講演取消

PF-016

イーストワンハイブリッド法で単離された *RSX1* プロモーターに結合する転写因子の解析岩崎 文也¹, 吉井 優生¹, 大鶴 真寿美¹, 光田 展隆², 高木 優¹, 藤木 友紀¹, 西田 生郎¹

(1)埼玉大学, (2)国立研究開発法人産業技術総合研究所)

PF-017

シロイヌナズナ *pect1-4* 変異株における早期花成とヒストン修飾に関する研究佐藤 有季, 星野 奈摘, 生貝 咲貴, 藤木 友紀, 西田 生郎
(埼玉大・院・理工)

PF-018

スズタケは 120 年の長期開花周期をどのように計測しているのか?

丹羽 峻也¹, 井鷲 裕司¹, 岡本 透², 齋藤 智之³

(1)京都大学大学院農学研究科森林科学専攻, (2)森林総合研究所関西支所, (3)森林総合研究所東北支所)

PF-019

ウイルスベクターを利用したヒロハノマンテマの遺伝子機能解析系の確立

藤田 尚子¹, 風間 裕介², 山岸 紀子³, 安藤 咲⁴, 辻 寛之¹, 吉川 信幸³, 小松 健⁴

(1)横浜市大・木原生物学研究所, (2)理化学研究所, (3)岩手大・農学部, (4)東京農工大・農学部)

PF-020

Characterisation of a novel family of plant nuclear envelope associated proteins (NEAP) in *Arabidopsis thaliana*Gwénaëlle Detourne^{1,2}, Emmanuel Vanrobays¹,Katja Graumann², Aline V. Probst¹, Christophe Tatout¹, David E. Evans²

(1)Clermont Université Auvergne, (2)Oxford Brookes University)

環境応答

PF-021

アカモクが持つオーレオクロムの photocycle について

高橋 文雄¹, 田中 正紀¹, 吉川 伸哉², 笠原 賢洋¹

(1)立命館大学・生命科学部, (2)福井県立大学・海洋生物資源学部)

PF-022

シロイヌナズナ葉における赤色光による孔辺細胞細胞膜 H⁺-ATPase のリン酸化と気孔開口の解析安藤 英伍¹, 木下 俊則^{1,2}

(1)名大院・理・生命, (2)名大・WPI-ITbM)

PF-023

シロイヌナズナの光による RNA スプライシングの調節と根毛形成促進との関連性の検討

石澤 未来¹, 橋本 佳世¹, 大谷 美沙都², 松井 南³, 奈良 久美⁴

(1)奈良女子大・院, (2)奈良先端大・バイオ, (3)理研・CSRS, (4)奈良女子大・自然科学)

PF-024

葉緑体の二酸化炭素定位運動

杉山 太一, 寺島 一郎

(東京大・院・理・生物科学)

PF-025

膜脂質組成の改変によるラン藻 *Synechocystis* sp. PCC 6803 遊離脂肪酸生産株の強光耐性の向上氣多 澄江¹, 猿橋 保乃佳¹, 池田 和貴², 妹尾 勇哉², 小俣 達男³, 愛知 真木子¹

(1)中部大・応用生物, (2)理研IMS, (3)名古屋大・院・生命農)

PF-026

シロイヌナズナの陽葉型と陰葉型にみられる葉緑体光定位運動の相違

増田 彩, 高木 慎吾

(大阪大・院・理・生物科学)

PF-027

光による茎伸長制御機構の解析

中川 繭

(石巻専修大・理工・生物科学)

PF-028

根系の光環境が植物のリン酸応答に与える影響

吉岡 優介¹, 大西 美輪¹, 石崎 公庸¹, 木下 俊則², 深城 英弘¹, 三村 徹郎¹

(1)神戸大・院・理・生物, (2)名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所)

PF-029

二酸化窒素によるシロイヌナズナ胚軸伸長抑制には PIF4 が関与している

高橋 美佐, 坂本 敦, 森川 弘道

(広島大・院理・数理)

PF-030

変動光環境における C₄ 植物葉肉葉緑体の配置変化間合 絵里¹, 中田 彩太², 中崎 鉄也¹

(1)京都大学大学院農学研究科, (2)京都大学農学部)

PF-031

単離単一細胞を用いた光環境の変化による概日リズムへの影響

中村 駿志, 伊藤 照悟, 小山 時隆

(京大・院・理・生物科学)

PF-032

京都市内において交通量の違いが街路樹の光合成機能に与える影響

松本 真由¹, 山田 悦², 半場 祐子¹

(¹京都工芸繊維大学・応用生物学専攻・植物分子工学研究室, ²京都工芸繊維大学・環境計測学研究室)

PF-033

VPD の変化に対するユーカリの光合成応答にアクアポリンが果たす役割

山岸 彩, 北島 佐紀人, 半場 祐子

(京都工芸繊維大学 応用生物学系 植物分子工学研究室)

PF-034

植物の垂鉛欠乏応答におけるオートファジーの役割

篠崎 大樹¹, Ekaterina Merkulova², Loreto Naya²,

Celine Masclaux-Daubresse², 吉本 光希^{1,2}

(¹明治大・院・農・生命科学, ²フランス国立農学研究所)

PF-035

緑藻クロレラにおけるエネルギー生産とヒ素汚染水浄化に向けて

大石 裕太郎, 大滝 理恵, 室田 知里, 藤原 祥子,
佐藤 典裕

(東京薬科大学)

PF-036

生長阻害および遅延発光試験法による海産微細藻類株の重金属感受性評価

大田 修平, 山口 晴代, 山岸 隆博, 淵田 茂司, 越川 海,
山本 裕史, 河地 正伸

(国立環境研究所)

PF-037

シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC6803 において ClpXP 変異株は、細胞を肥大化させる。

甲賀 栄貴¹, 斎藤 慶和², 中原 凌波¹, 今井田 明子¹,
内山 純爾³, 太田 尚孝^{1,3}

(¹東京理科大学大学院 理学研究科, ²東京理科大学 基礎工学部, ³東京理科大学 理学部)

形態

PF-038

メリステムの超微形態を光電子相関顕微鏡法を用いて捉える

宮 彩子¹, 佐藤 蘭子¹, 齋藤 夕子¹, 前田 躍², 許斐 麻美²,
星野 吉延², 豊岡 公德¹

(¹理研CSRS, ²日立ハイテク)

PF-039

Euglena gracilis の細胞形態に及ぼす嫌氣的条件下における pH の影響

吉岡 和政

(明治大・院・農・農芸化学)

PF-040

植物透明化試薬 ClearSee の改良

栗原 大輔¹, 水多 陽子^{2,3}, 永原 史織¹, 東山 哲也^{1,3}

(¹名大・院・理, ²JST・さきがけ, ³名大・ITbM)

PF-041

トウガラシ (*Capsicum baccatum*) 果実の早期成熟による内部組織の変化

杉山 立志

(名古屋文理・フードビジネス)

PF-042

過重力環境で生育したヒメツリガネゴケ茎葉体の力学的特性

新濱 梨奈¹, 森 耀久², 小野田 雄介³, 長嶋 寿江⁴, 久米 篤⁵,
唐原 一郎², 半場 祐子⁶, 藤田 知道⁷, 蒲池 浩之²

(¹富山大・理・生物圏環境, ²富山大・院・理工, ³京大・院・農,
⁴東北大・院・生命科学, ⁵九大・院・農, ⁶京都工繊大・応用生物,
⁷北大・院・理)

PF-043

SPring-8 を用いた X 線マイクロ CT によるシロイヌナズナ根系形態の可視化

黒金 智文¹, 唐原 一郎¹, 玉置 大介¹, 矢野 幸子², 谷垣 文章²,
嶋津 徹³, 笠原 春夫², 山内 大輔⁴, 上杉 健太郎⁵, 星野 真人⁵,
神阪 盛一郎¹, 峰雪 芳宣⁴

(¹富山大・院・理工, ²宇宙航空研究開発機構, ³日本宇宙フォーラム,
⁴兵県大・院・生命理学, ⁵高輝度光科学研究センター)

PF-044

寄生植物吸器の内部構造の 3D 構築

増本 奈津美¹, Songkui Cui¹, 市橋 泰範^{2,3}, 柴田 ありさ⁴,
鈴木 裕紀^{5,6}, 若崎 眞由美⁴, 佐藤 嘉伸⁵, 豊岡 公德⁴,
白須 賢^{4,7}, 吉田 聡子¹

(¹奈良先端大バイオ, ²理研BRC, ³JST さきがけ, ⁴理研 CSRS, ⁵奈良先端大 情報, ⁶大阪大院 情報, ⁷東大院 理)

光合成

PF-045

Synechocystis sp. PCC6803 の ArsR 欠損はフィコビリソーム含有量に影響を及ぼす

中原 凌波¹, 甲賀 栄貴¹, 今井田 明子¹, 内山 純爾²,
太田 尚孝^{1,2}

(¹東京理科大学大学院理学研究科科学教育専攻, ²東京理科大学理学部第一部教養学科)

PF-046

Synechocystis sp. PCC 6803 の転写制御因子 NtcA と光合成の関係の解明

有坂 聡美, 小山内 崇

(明治大学大学院・農学研究科・農芸化学専攻)

PF-047

反射分光を用いた光合成挙動のリモートセンシング

上妻 馨梨, 彦坂 幸毅

(東北大・生命)

PF-048

気孔応答強化が生産性に及ぼす影響の解析

木村 遼希¹, 橋本 (杉本) 美海², 射場 厚³, 寺島 一郎¹,
矢守 航¹¹東大・院理・生物科学, ²名古屋大・院・生命農学, ³九州大・院理・生物科学)

PF-049

遠赤色光の補光が光合成に与える影響

河野 優, 矢守 航, 寺島 一郎

(東大・院・理・植物生態)

PF-050

シロイヌナズナの光合成系の低温順化能力のエコタイプ間差の解析

神浦 悠那, 尾崎 洋史, 野口 航

(東京薬科大学・生命科学部)

PF-051

鉄欠乏耐性の異なるオオムギにおける光化学系 I 維持能力の品種間差

若林 優奈, 間嶋 勇太, 上原理花, 齋藤 彰宏, 大山 卓爾,
樋口 恭子

(東京農大・応生・農芸化学)

細胞増殖, 細胞分化

PF-052

単細胞紅藻 *C. merolae* におけるタイムラプスイメージング系の構築一ノ瀬 孝子¹, 岩根 敦子^{1,2}¹理化学研究所・生命機能科学研究センター, ²広島大学大学院・理学研究科)

PF-053

塩生植物ハママツナの無菌培養

上原 歩, 栗山 昭

(東電大・理工・生命科学)

PF-054

サーモスペルミンとザイレミンを用いたシロイヌナズナ子葉の木部分化制御の解析

岡本 崇¹, 松尾 拓俊², 本瀬 宏康¹, 高橋 卓¹¹岡山大・院・自然科学, ²岡山大・理)

PF-055

RNA-Seq data analysis of CDKA double knockout in *Physcomitrella patens* and investigation into affected potassium transport and photosynthesis pathwaysBrody Frink¹, Atsushi Takabayashi², Masaki Ishikawa³,Yuzuru Suzuki⁴, Sumio Sagano⁴, Ayumi Tanaka²,Mitsuyasu Hasebe³, Tomomichi Fujita⁵¹Grad. Sch. of Life Sci. Hokkaido Univ., ²Inst. of Low Temp. Sci. Hokkaido Univ., ³Natl. Inst. Basic Biol., ⁴Grad. Sci. of Front. Sci. Tokyo Univ., ⁵Fac. of Sci. Hokkaido Univ.)

PF-056

ヒノキ科樹木の組織・細胞培養による植物体再分化

細井 佳久, 丸山 毅

((国研) 森林総合研究所)

細胞内小器官

PF-057

単細胞紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* の細胞質分裂における ESCRT の役割八木沢 美美¹, 藤原 崇之^{2,3}, 竹村 時空⁴, 小林 勇氣⁴,宮城島 進也^{2,3}, 中村 宗一⁵, 田中 寛⁴, 黒岩 晴子⁶,黒岩 常祥⁶¹琉球大・研基セ, ²遺伝研・細胞遺伝, ³総研大・生命科学・遺伝学, ⁴東工大・研究院・化生研, ⁵琉球大・理・海洋自然, ⁶日本女子大・理・物質生物学)

PF-058

分裂酵母 *Schizosaccharomyces japonicus* ミトコンドリア核様体からの DNA 結合タンパク質の同定川合 正士¹, 宮川 勇²¹山口大・理・生物, ²山口大・院・創成科学)

PF-059

水生食虫植物ムジナモの捕虫葉における消化酵素の分泌と細胞構造変化

柳川 初¹, 鎌田 丞², 松本 彰太郎², 厚沢 季美江³,金子 康子^{1,2}¹埼玉大・院・理工, ²埼玉大・教育, ³埼玉大・科学分析支援センター)

PF-060

愛媛県鈍川温泉から単離された新規油脂生産藻類の脂肪滴大沼 みお¹, 黒岩 晴子², 黒岩 常祥², 三角 修己³¹広島高専・一般教科, ²日本女子大・理, ³山口大・院・創成科学)

PF-061

灰色藻 *Cyanophora suda* の細胞周期進行と葉緑体分裂

墨谷 暢子

(慶應大・生物)

PF-062

緑色植物に保存された, 葉緑体の分化や分裂に関与する

MurE の機能相補解析

加治佐 一朗¹, 林 晓飞², 鄂 一嵐², 工藤 裕美¹, 池田 孝介¹,瀧尾 進³, 武智 克彰⁴, 高野 博嘉⁴¹熊本大・院・自然科学, ²内蒙古大・生命科学, ³熊本大・くまもと水循環, ⁴熊本大・院・先端科学)

細胞壁

PF-063

ミヤコグサ子葉における細胞間隙出現機構の解析

山内 大輔¹, 中井 朋則¹, 金子 康子², 佐藤 繭子³, 豊岡 公德³, 上杉 健太郎⁴, 星野 真人⁴, 玉置 大介⁵, 唐原 一郎⁵, 峰雪 芳宣¹

(¹兵庫県大・院・生命, ²埼玉大・教育, ³理研・CSRS, ⁴高輝度光科学研究センター, ⁵富山大・院・理工)

PF-064

同位体バルスラベリングを用いた樹木木部形成過程の解析
竹内 美由紀¹, 則定 真利子², 磯貝 明¹

(¹東大・院・農, ²東大・アジアセンター)

PF-065

ペクチン分解酵素過剰発現イネを用いたオリゴラクツロン酸誘導性病害応答

豊田 一希¹, 竹内 春樹¹, 木村 郷子¹, 小原 崇司¹, 佐藤 淳也¹, 中村 敦子¹, 出崎 能丈², 渋谷 直人³, 賀来 華江³, 南 栄一⁴, 佐藤 忍¹, 岩井 宏暁¹

(¹筑波大・生命環境, ²東京理科大・生物工, ³明治大・生命科学, ⁴農研機構)

PF-066

イネ花粉管メカニカルガイダンスにおけるペクチンメチル化転移酵素の機能解析

竹原 昇平, 竹内 春樹, 鎌田 志保美, 長谷川 和也, 中村 敦子, 佐藤 忍, 岩井 宏暁

(筑波大・生命環境)

PF-067

イネ細胞壁構造タンパク質 OsTHRGP はラミナジョイント角度を調節している

田口 美樹, 渡辺 朝美, 宮下 彩, 中村 敦子, 佐藤 忍, 岩井 宏暁

(筑波大・生命環境)

PF-068

シロイヌナズナの AGP4 単一分子種の糖鎖構造

原 克弥¹, 澤田 鉄兵², 吉見 圭永¹, 円谷 陽一¹, 小竹 敬久¹

(¹埼玉大院・理工, ²埼玉大・理)

PF-069

AGP による細胞生長制御に関与する未知因子の探索

菊池 馨¹, 澤 進一郎², 円谷 陽一¹, 小竹 敬久¹

(¹埼玉大院・理工, ²熊本大院・自然科学)

PF-070

Characterization of xylan synthase genes and their biochemical properties of *Dendrocalamus latiflorus*

Heng Yeh¹, Hsin-Tzu Wang², Ting-Feng Yeh¹

(¹National Taiwan University, ²University of Georgia)

植物微生物相互作用

PF-071

重金属集積樹木タカノツメの内生菌相分析

織邊 尚子, 岡野 由季, 富岡 利恵, 竹中 千里
(名古屋大学大学院生命農学研究所)

PF-072

ヤドリギの種子に感染する内生菌の種構成

對馬 宗志¹, 武浪 秀子², 横山 潤³

(¹山大・院・理, ²横浜市こども植物園, ³山大・理・生物)

PF-073

イチヤクソウとその近縁種におけるエンドファイト真菌類相

小泉 翠夏¹, 横山 潤²

(¹山形大・院・理工・生物学, ²山形大・理学・理学科)

PF-074

イネ及びムギ類由来内生アグロバクテリアの解析: 分類, プラスミドと植物病原性について

姜 秉宇¹, 岡本 彩¹, 前重 太一¹, 山本 真司¹, 谷 明生², 鈴木 克周¹

(¹広島大・理・生物科学, ²岡山大・資源植物科学研)

PF-075

宿主表皮細胞に感染する絶対寄生菌の栄養吸収メカニズムの解析

井上 博¹, 小林 括平², 山岡 直人², 中神 弘史³, 八丈野 孝²

(¹愛媛大・農, ²愛媛大・院・農, ³マックスプランク研究所)

PF-076

宿主ペルオキシソームを標的とするオオムギうどんこ病菌エフェクタータンパク質の機能解析

井上 智絵¹, 武井 博¹, 香口 智宏¹, 小林 括平¹, 山岡 直人¹, 中神 弘史², 八丈野 孝¹

(¹愛媛大・院・農, ²理研CSRS)

PF-077

オオムギうどんこ病菌による *mlo* 侵入抵抗性打破メカニズムの解析

長野 眞依¹, 和原 未季¹, 井上 智絵¹, 久野 裕², 小林 括平¹, 山岡 直人¹, 中神 弘史³, 八丈野 孝¹

(¹愛媛大・院・農, ²岡山大植物研, ³マックスプランク研究所)

PF-078

パターン認識シグナルはオオムギうどんこ病菌に対する宿主特異的抵抗性に寄与する

岩井 さくら¹, 上原 由紀子², 小林 括平¹, 山岡 直人¹, 持田 恵一², 八丈野 孝¹

(¹愛媛大・院・農, ²理研・CSRS)

成長生理

PF-079

速度改変によるミオシン XI メンバーの機能解析

太皇 舜¹, 段 中瑞^{1,2,3}, 原口 武士⁴, 中野 明彦⁵, 伊藤 光二⁴, 富永 基樹^{1,2,3}

(1早稲田大・院・先進理工, 2早稲田大・教育, 3JST・先端低炭素, 4千葉大・院・生物, 5理研・光量子工学)

PF-080

Characterization of ethylene-mediated cotyledon curling of Japanese radish (*Raphanus sativus* var. *longipinnatus*)久保 裕亮¹, 佐藤 忍², 木下 俊則¹, 中嶋 信美³

(1名古屋大学, 2筑波大学, 3国立環境研究所)

PF-081

スイゼンジノリクローン株を用いた室内養殖の試み

大城 香^{1,2}, 吉川 伸哉¹, 金子 慎一郎²

(1福井県立大学, 2グリーンサイエンスマテリアル株式会社)

PF-082

青色光に応じてねじれる葉の三次元形態解析

太塚 祐太¹, 芳賀 健², 酒井 達也³, 塚谷 裕一^{1,4}

(1東大・院・理, 2日工大・基幹工・応化, 3新潟大・院・自然科学, 4生命創成探究センター)

PF-083

サイトカニン合成遺伝子 *ISOPENTENYLTRANSFERASE* の複雑な進化過程西井 かなえ^{1,2}, Frank Wright³, Yun-Yu Chen^{2,4},Michael Moeller²

(1東京学芸大・教育・自然科学系, 2エジンバラ植物園, 3BioSS, 4エジンバラ大学)

PF-084

カニクサの造精器と前葉体形成に対する植物ホルモンの影響

大石 奈津美¹, 武田 瑞歩², 星加 名奈美², 柴田 恭美²,横田 孝雄², 山根 久和^{1,2,3}, 朝比奈 雅志^{1,2,3}

(1帝京大・院・総合理工, 2帝京大・理工・バイオ, 3帝京大・先端機器分析センター)

生殖

PF-085

ヒメツリガネゴケ生殖器官発生における RKD 転写因子の役割

養老 瑛美子¹, 小藤 累美子², 榊原 恵子¹

(1立教大・理・生命理, 2金沢大・理工・生命理工)

PF-086

光ピンセットを用いた細胞操作による受精因子解析の試み

中島 耕大¹, 永原 史織², 佐々木 妙子¹, Clari Valansi³,栗原 大輔¹, 佐藤 良勝², 佐々木 成江¹,Benjamin Podbilewicz³, 東山 哲也^{1,2}

(1名古屋大・院・理, 2名古屋大・WPI-ITbM, 3Technion- Israel Institute of Technology)

PF-087

異種と同種を見分ける花粉管誘引における認証機構

長江 拓也¹, 武内 秀憲^{2,3}, Ashutosh Srivastava³,Florence Tama³, 東山 哲也^{1,3}

(1名古屋大・院・理, 2名古屋大・高等研究院, 3名古屋大・ITbM)

PF-088

ヒメミカヅキモの有性生殖進行に関わる RWP-RK 遺伝子の解析

平田 優香¹, 土金 勇樹¹, 西山 智明², 関本 弘之^{1,3}

(1日本女子大・理, 2金沢大・学際, 3日本女子大・院・理)

PF-089

ヒメミカヅキモの *CpMinus1* 形質転換体の比較トランスクリプトーム解析露木 奈津美¹, 小宮 あゆみ¹, 大槻 涼², 西山 智明³,関本 弘之^{1,2}

(1日本女子大・院・理, 2日本女子大・理, 3金沢大・学際)

PF-090

イネの葍タペート層のプログラム細胞死過程における ROS 生成・オートファジーの動態解析

福永 任吾¹, 澤田 隼平¹, 陶 文紀¹, 花俣 繁^{2,3}, 小野 聖二郎⁴,野々村 賢一⁴, 来須 孝光^{2,5}, 朽津 和幸^{1,2}

(1東京理科大院・理工・応用生物科学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3新潟大・自然科学系(農), 4国立遺伝研・実験圃場, 5公立諏訪東京理科大・工)

PF-091

海産緑藻オオハネモの配偶子と動接合子における走光性行動の変化

宮村 新一

(筑波大学生命環境系)

PF-092

被子植物の新規雄性受精因子 LGM1 のトポロジー解析

福田 真由, 井川 智子

(千葉大・院・園芸)

生体膜

PF-093

気孔開閉制御における PP2C-D の機能解析

秋山 光雅¹, 杉本 穂高¹, 高橋 洋平¹, 林 真妃¹, 井上 晋一郎¹,William M. Gray², 木下 俊則¹

(1名古屋大・院・理・生命理学, 2Department of Plant Biology, University of Minnesota)

PF-094

シロイヌナズナの液胞膜型アクアポリン *AtTIP2;2* と *AtTIP2;3* の水透過性

山成 由佳子¹, 中原 由揮², 且原 真木², 奈良 久美³
(¹奈良女子大・院, ²岡山大・植物研, ³奈良女子大・自然科学)

PF-095

シロイヌナズナの根と根細胞の水透過性測定

藤田 知美¹, 奥村 綾子¹, 且原 真木², 奈良 久美³
(¹奈良女子大・院, ²岡山大・植物研, ³奈良女子大・自然科学)

PF-096

ナンノクロロプシスにおける LDSP のプロリンノット様モチーフの機能解析

安田 翔平, 信澤 岳, 岩井 雅子, 下嶋 美恵, 太田 啓之
(東京工業大学生命理工学院)

PF-097

シロイヌナズナ斑入り突然変異体 *var2* における機械刺激依存的 Ca^{2+} 応答

原田 明子¹, 田中 智佳子¹, 三原 加寿代¹, 林 晃之²
(¹大阪医大・生物, ²甲子園大・栄養)

PF-098

シロイヌナズナの CNCG 変異体の表現型解析

尾上 真里奈, 村田 鷹規, 椎名 隆
(京都府立大学)

生態

PF-099

ハクビシン媒の発見—アジアでは当てはまらないコウモリ媒シンドローム—

小林 峻¹, Stephan Gale², 傳田 哲郎¹, 伊澤 雅子¹
(¹琉球大・理, ²KFBG)

PF-100

小型ソーラーパネルを配した人工樹冠 (ダイオードツリー) による樹冠の光吸収過程再評価の試み

隅田 明洋, 森 章一, 千貝 健, 平田 康史, 佐藤 陽亮, 齋藤 史明, 加藤 由佳子, 小野 和也, 若土 もえ
(北海道大学低温科学研究所)

PF-101

温帯ヒノキ林における太陽光誘起クロロフィル蛍光の環境依存性

桑田 清史¹, 野田 響², 小杉 緑子³, 饗庭 正寛¹, 中路 達郎⁴, 辻本 克斗¹, 彦坂 幸毅¹
(¹東北大・院・生命科学, ²国立環境研究所, ³京大・院・農, ⁴北大・フィールド科学センター)

PF-102

熱帯性植物ヒメノボタンの種子発芽特性

高岸 慧, 切手 実央子, 宮本 太
(東京農業大学・農学部)

PF-103

亜高山帯性常緑針葉樹シラビソの越冬戦略 一枝における冬の通水阻害とその回復—

種子田 春彦¹, 小笠 真由美², 矢崎 健一², 宮沢 良行³, 丸田 恵美子⁴
(¹東京大・院・理・生物科学, ²森林総合研究所, ³九州大・キャンパス整備室, ⁴神奈川大・理・生物)

PF-104

クローナル矮性低木ヤブコウジにおける DNA メチル化の伝達

南 淳¹, 奥山 康希², 工藤 佳祐², 齋藤 大河², 齋藤 有馬², 西村 泰介³
(¹鶴岡高専・創造工学, ²鶴岡高専・物質工学, ³長岡技術科学大学・生物機能)

PF-105

やんばるの送粉系ネットワークと土地利用の影響

安部 哲人¹, 齋藤 和彦²
(¹森林総研・九州, ²森林総研・関西)

PF-106

構成収量要素と新梢生長解析による一番茶の収量予測の理論的解析

柴田 勝¹, 最上 翔流¹, 坂井 佑輔², 安田 喜一^{2,3}, 吉岡 哲也²
(¹山口大学教育学部, ²福岡県農林業総合試験場八女分場, ³東海大学農学部)

PF-107

絶滅危惧海藻ホソエガサにおける至適培養条件の探索

清水 淳平
(福井県立大学 大学院)

代謝

PF-108

カボチャ属 (*Cucurbita* sp.) 果実のデンプン蓄積過程におけるスターチホスホリラーゼの関与

水野 真二, 上吉原 裕亮, 新町 文絵, 渡辺 慶一, 井上 弘明, 立石 亮
(日本大学生物資源科学部)

PF-109

ミヤコグサ毛状根におけるフラボノール生成の光照射による誘導

島村 昌幸, 明石 智義, 青木 俊夫
(日本大・生物資源・応用生物)

PF-110

シアノバクテリアにおける NAD キナーゼの異なる役割

石川 優真¹, 宮城 敦子¹, 石川 寿樹¹, 長野 稔², 山口 雅利¹, 園池 公毅³, 日原 由香子¹, 金子 康子¹, 川合 真紀¹
(¹埼玉大学 理工学研究科, ²立命館大学 生命科学部 生命情報学科, ³早稲田大学 教育・総合科学学術院)

PF-111

ナンノクロロプシスの増殖とトリアシルグリセロール蓄積にリン酸濃度が及ぼす影響の解析

富田博信¹, 岡崎久美子¹, 栗田朋和¹, 信澤岳¹, 高見明秀², 野村誠治², 斎藤史彦², 山本卓¹, 太田啓之³, 坂本敦¹
(¹広島大・院理, ²マツダ・技術研, ³東京工業大・生命理工学院)

PF-112

窒素欠乏環境下で葉緑素と脂質を異常蓄積する緑藻変異株の解析

長房すずか, 宮本明日香, 嶋村大亮, 本庄智也, 新川友貴, 香西紀子, 梶川昌孝, 山野隆志, 福澤秀哉
(京大・院・生命科学)

発生

PF-113

ヒメツリガネゴケ HD-Zip IV 遺伝子は胞子のう表皮細胞運命を制御する

藤井絵実加¹, Chris Zalewski², John Bowman², 榎原恵子¹
(¹立教大学理学部, ²Monash University)

PF-114

as2 rpl4d 二重変異体における葉の背軸化を抑圧する rpl12b 及び szk2 変異に関する解析

前川修吾¹, 深田かなえ¹, 高原正裕¹, 塚谷裕一^{2,3}, 堀口吾朗^{1,4}
(¹立教大・理・生命, ²東大・院・理, ³岡崎統合バイオ, ⁴立教大・理・生命理センター)

PF-115

シロイヌナズナとゼニゴケにおける AN3 および GRF の機能の比較

齋藤美永子¹, 長野夏未¹, 塚谷裕一^{2,3}, 堀口吾朗^{1,4}
(¹立教大・理・生命, ²東大・院・理, ³岡崎統合バイオ, ⁴立教大・理・生命理センター)

PF-116

根冠細胞の分化過程における細胞内膜輸送経路の役割

郷達明¹, 小堤彩水¹, 小園紗希¹, 金鍾明², 遠藤高帆³, 宮島俊介¹, 中島敬二¹
(¹奈良先端大・バイオ, ²理研 CSRS, ³理研 IMS)

PF-117

シロイヌナズナ RKD4 による初期胚発生制御機構の解析

渡部貴史¹, 金鍾明², 遠藤高帆³, 郷達明¹, 中島敬二¹
(¹奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科バイオサイエンス領域, ²理化学研究所環境資源科学研究センター, ³理化学研究所生命医科学研究センター)

PF-118

KAI2 シグナル伝達経路はゼニゴケの形態形成を制御する

水野陽平¹, 植本悟史¹, 小松愛乃¹, 鳥崎翔太¹, 児玉恭一², 石崎公庸³, 経塚淳子¹
(¹東北大・院・生命科学, ²東北大・理・生物, ³神戸大・院・理)

PF-119

一葉植物モノフィレアの特殊な発生を支える分子機構の解明

木下綾華¹, 古賀皓之¹, Sujung Kim², 望月伸悦², 長谷あきら², 塚谷裕一^{1,3}
(¹東大・院・理, ²京大・院・理, ³NINS・ExCELLS)

PF-120

シロイヌナズナ ANGUSTIFOLIA3 変異体における葉の発生初期の細胞サイズ制御機構

江崎和音¹, 堀口吾朗², 藤倉潮³, 塚谷裕一^{1,4}
(¹東京大・院・理・生物科学, ²立教大・理・生命, ³神戸大・院・科学技術イノベーション, ⁴NINS・生命創成探究センター)

PF-121

発芽調節機構における Arabidopsis thaliana IAP LIKE PROTEINs (AtILPs) の機能解析

中村雅未¹, 高野玲於奈², 鈴木敦士², 東克己^{1,2}
(¹帝京科学大学大学院理工学研究科バイオサイエンス専攻, ²帝京科学大学生命環境学部生命科学科)

PF-122

シロイヌナズナの葉の発生分化に関わる zinc-finger-like タンパク質 AS2 の細胞内局在の解析

安藤沙友里¹, 小川拓海², 小島晶子¹, 坂本勇貴³, 松永幸大³, 町田泰則⁴, 町田千代子¹
(¹中部大学大学院応用生物学研究科, ²中部大学応用生物化学科, ³東京理科大学理工学部応用生物科学科, ⁴名古屋大学大学院理学研究科)

PF-123

シロイヌナズナの葉の向背軸分化に関わる AS1-AS2 と DNA メチル化酵素遺伝子 MET1 の遺伝学的分子的相互作用の解析

山川美里¹, 神谷翔子¹, 安藤沙友里¹, 町田泰則², 小島晶子¹, 町田千代子¹
(¹中部大・院・応用生物, ²名大・院・理)

PF-124

花粉細胞膜可視化マーカーラインの作出

大塚弓華子¹, 井川智子²
(¹千葉大・園芸, ²千葉大・院・園芸)

PF-125

ゼニゴケの無性芽形成における KAR/RopGEF の機能ドメイン解析

樋渡琢真¹, 安居佑季子¹, 上野亜紀¹, Li Quan Koh², 深城英弘¹, 三村徹郎¹, 河内孝之³, 浦野大輔², 石崎公庸¹
(¹神戸大・院・理, ²Temasek LifeScience Labo, ³京大・院・生命科学)

分類, 系統, 進化

PF-126

東北アジア大陸部の近縁種を介して北海道のエゾムラサキツツジと西日本のゲンカイツツジが種複合体を形成した分布変遷過程の推定

菅野 厚志¹, Inna Koksheeva², 福田 知子³, Kwak Myounghai⁴, Elena Pimenova², Pavel Krestov², 中村 剛⁵

(¹北海道大・院・農, ²Botanical Garden-Institute・FEB-RAS-Russia, ³三重大・教養教育機構, ⁴National Institute of Biological Resources, Korea, ⁵北海道大・北方圏・植物園)

PF-127

コケ植物セン類センボンゴケ科内の閉鎖果種の系統関係

井上 侑哉^{1,2}, 坪田 博美³

(¹服部植物研究所, ²千葉県立中央博物館・共同研究員, ³広島大・院・理・宮島)

PF-128

ITS 配列に基づくミャンマー産ショウガ属植物の系統解析

平尾 昂大¹, 内山 寛¹, Aung Mu Mu², 田中 伸幸³

(¹日大・生物資源, ²FRI, Myanmar, ³科博・植物)

PF-129

イズノシマダイモンジソウの起源と分化に関する分子集団遺伝学的研究

堀江 佐知子¹, 白石 大晴², 木村 拓真², 山田 孝幸³,

藤井 伸二⁴, 牧 雅之¹

(¹東北大・植物園, ²東北大・院・生命, ³科博・多様性, ⁴人間環境大・人間環境)

PF-130

ヤマザトタンポポとキビシロタンポポの花色変異とクローン間での比較

中村 剛士¹, 鈴木 武², 狩山 俊悟³, 松井 宏光⁴, 地職 恵⁵, 濱田 展也⁶, 安部 祐史⁷, 篠原 渉⁸, 坪田 博美⁹, 森田 竜義¹⁰, 西野 貴子¹

(¹大阪府大・院・理, ²兵庫県博, ³倉敷市立自然史博, ⁴松山東雲短大, ⁵岡山県自然保護セ, ⁶広島県立尾道東高, ⁷松江市, ⁸香川大, ⁹広島大・院・理, ¹⁰新潟大)

PF-131

サワシロギクの蛇紋岩適応における微生物の作用と土壤細菌の菌叢解析

真鍋 遼¹, 岡野 凌一², 徳本 勇人¹, 福島 慶太郎³, 阪口 翔太⁴, 石川 直子⁵, 伊藤 元己⁵, 西野 貴子¹

(¹大阪府大・院・理, ²大阪府大・院・工, ³京大・生態研, ⁴京大・院・人環, ⁵東大・院・総合文化)

PF-132

接合藻ヒメミカツキモ種内系統間にみられるゲノム構造の変異: 生殖様式の進化との関連

川口 也和子¹, 土金 勇樹², 西山 智明³, 関本 弘之², 土松 隆志¹

(¹千葉大・理・生物, ²日本女子大・理・物質, ³金沢大・学際セ)

PF-133

南米産ペチュニア属植物の自家和合系統を用いた S 遺伝子座の配列解析

坂本 奈緒子¹, 土松 隆志², 渡辺 均¹, 上原 浩一³

(¹千葉大・園芸, ²千葉大・理, ³千葉大・国際教養)

PF-134

オヤマノエンドウ・根粒菌共生系の日本の高山帯における分布変遷

長谷川 慎平¹, 川井 友裕², 瀬尾 直登³, 池田 啓⁴, 佐藤 修正⁵, 矢崎 一史³, 高梨 功次郎^{2,6}

(¹信州大・院・理, ²信州大・理, ³京都大・生存研, ⁴岡山大・植物研, ⁵東北大・院・生命, ⁶信州大・山岳研)

PF-135

スゲ属ヒエスゲ節 4 種の形態的・遺伝的変異と種間交雑の解析

猪越 隼¹, 横山 潤²

(¹山形大・院・理工, ²山形大・理・理)

PF-136

イブキジャコウソウの形態と分布地との関連性

水野 隆文¹, 藤森 朝章², 吉田 晴菜²

(¹三重大院生資, ²三重大生資)

PF-137

イブキジャコウソウに含まれる香気・抗菌成分とその地域的特徴

宇野 賢太郎¹, 近田 翠², 南谷 有輝², 水野 隆文¹

(¹三重大・院・生資, ²三重大・生資)

PF-138

三重県総合博物館収蔵庫への APG 体系導入

森田 奈菜¹, 福田 知子², 海老原 淳³

(¹三重県総合博物館, ²三重大学 教養教育院, ³国立科学博物館 植物研究部)

環境応答

PL-001

渡良瀬遊水地に自生するヨシに関する研究

桂島 沙也加, 田口 尚幸, 木川田 喜一, 神澤 信行

(上智大学大学院 理工学研究科)

PL-002

自然条件における生物同調現象に関与する因子の探索

嘉美 千歳, 工藤 洋

(京大大学生態学研究センター)

PL-003

菅島蛇紋岩地帯の「紅ツゲ」発生メカニズムに関する植物栄養学的アプローチ

南谷 有輝¹, 原 万柚子¹, 水野 隆文²

(¹三重大学・生物資源, ²三重大学・院・生物資源)

PL-004

ZnO ナノ粒子由来の亜鉛イオンによる花粉の発芽遅延と花粉管の伸長阻害

吉原 静恵¹, 山本 花純², 倉橋 健介³, 野村 俊之², 徳本 勇人¹
 (¹大阪府大・院・理, ²大阪府大・院・工, ³大阪府大高専・総合工学システム学科)

PL-005

レタスの根の伸長に ZnO ナノ粒子由来の亜鉛イオンの吸収が与える影響

野村 海斗¹, 山本 花純², 吉原 静恵³, 倉橋 健介⁴, 野村 俊之², 徳本 勇人³
 (¹阪府大・生命環境, ²阪府大・院・工, ³阪府大・院・理, ⁴阪府大高専・総合工学システム学科)

PL-006

ZnO ナノ粒子由来の亜鉛イオンの吸収によるタバコカサスの光合成機能の解析

山本 花純¹, 竹田 恵美², 吉原 静恵², 倉橋 健介³, 徳本 勇人²
 (¹阪府大・院・工, ²阪府大・院・理, ³阪府大高専・総合工学システム学科)

PL-007

トマト育苗期の草丈における温度効果に関する解析

大高 きぬ香¹, 吉田 明希子^{1,2}, 福井 康佑^{1,3}, 小嶋 美紀子¹, 竹林 裕美子¹, 矢野 加奈子⁴, 今西 俊介⁴, 榊原 均^{1,5}
 (¹理研・CSRS, ²横浜市立大・木原生物学研究所, ³岡山理科大・理・生物化学, ⁴農研機構・野菜花き研究部門, ⁵名古屋大学・院・生命農学)

PL-008

シロイヌナズナの呼吸速度と成長の低温応答性の解析

山田 悠介, 尾崎 洋史, 野口 航
 (東京薬科大学生命科学部)

PL-009

セントポーリア温度降下傷害における機械受容 Ca²⁺チャネルの関与と液胞動態の解析

本岡 香奈¹, 大西 美輪¹, 飯田 和子², 角浜 憲明¹, 鈴木 祥弘³, 石崎 公庸¹, 深城 英弘¹, 飯田 秀利², 三村 徹郎¹
 (¹神戸大・院・理, ²東京学芸大・教育・生命, ³神奈川大・理)

PL-010

根の重力屈性に関与するシロイヌナズナ NRT1/PTR ファミリーの機能解析

渡邊 俊介, 瀬尾 光範
 (理研・CSRS)

PL-011

微小重力の宇宙実験下におけるヒメツリガネゴケの栽培環境の検討

安田 柚里¹, 久米 篤², 蒲池 浩之³, 藤田 知道⁴, 半場 祐子¹
 (¹京都工芸繊維大学・大学院・応用生物学系・植物分子工学研究室, ²九州大学・院・農, ³富山大学・院・理工, ⁴北海道大学・院・理)

PL-012

バイオテクノロジーを目指した微細藻類によるリン・窒素吸収

原田 康平, 宮内 啓喜, 岡田 克彦, 都筑 幹夫, 藤原 祥子
 (東葉大・生命)

PL-013

シロイヌナズナにおける地上部から根へ輸送される硝酸イオン充足シグナル候補の探索

岡本 悠希¹, 小嶋 美紀子², 竹林 裕美子², 杉浦 大輔¹, 木羽 隆敏¹, 鈴木 孝征³, 榊原 均¹, 蜂谷 卓士⁴
 (¹名大・院・生命農学, ²理研・CSRS, ³中部大・応用生物, ⁴鳥根大・総合科学研究支援センター)

PL-014

硫黄濃度の変動に対する原始紅藻の細胞応答解析

村上 瑞穂¹, 兼崎 友², 三角 修己¹
 (¹山口大・院・創成科学, ²静岡大・グリーン科学技術研)

PL-015

乾燥条件下における中低木街路樹の光合成機能・水分状態の比較

堀家 広樹, 半場 祐子
 (京都工芸繊維大学)

PL-016

水陸両生植物 *Rorippa aquatica* における水没に応答した気孔形成抑制メカニズムの解析

馬瀬 樹志, 野口 楓子, 池松 朱夏, 坂本 智昭, 木村 成介
 (京産大 総合生命)

PL-017

分裂酵母 (*S. japonicus*) の細胞形態と増殖曲線に対するガジュマルラテックス成分の影響

寺尾 桃子¹, 仁木 宏典², 佐久間 洋¹, 井上 雅裕¹
 (¹愛媛大学・院・理工・生物環境, ²国立遺伝学研究所)

PL-018

スベリヒユの多肉化と茎肥大に及ぼす環境ストレスと無機栄養塩類の影響

梅崎 昇太¹, 勝部 恭平¹, 佐久間 洋², 井上 雅裕²
 (¹愛媛大・理・生物学科, ²愛媛大・院・理工・生物環境)

PL-019

小胞体ストレスによるシロイヌナズナの根の伸長抑制及びリグニン異常蓄積への THESEUS1 の役割

中村 優斗, 佐藤 康
 (愛媛大・院・理工・環境機能)

PL-020

バジルのロスマリン酸蓄積を誘導する環境ストレス条件の検討

佐久間 健, 佐野 俊夫
 (法政大学大学院理工学研究科生命機能学専攻植物医科学領域)

PL-021

機械刺激による表皮細胞での ROS 生成の解析

田川 翔大¹, 山岡 征矢¹, 渡辺 拓也¹, 朽津 和幸², 椎名 隆¹

(¹京府大・院・生命環境, ²東京理科大・理工・応用生物学)

PL-022

シロイヌナズナにおける水分屈性制御遺伝子 *MIZ1* の相同遺伝子の特性解析

宮沢 豊¹, 多田 裕樹¹, 高橋 秀幸²

(¹山形大・理, ²東北大・院・生命)

PL-023

Synechosystis sp. PCC6803 の環境ストレス下における Sll1951 の有無によるバイオフィーム形成

高橋 晃一¹, 石川 晴菜², 板垣 文子², 内山 純爾³,

太田 尚孝^{1,2,3}

(¹東理大院・理・科学教育, ²東理大院・科学教育・科学教育, ³東理大・理・教養)

形態

PL-024

銅イオンがシアノバクテリアの細胞構造に及ぼす影響

林 真子¹, 厚沢 季美江², 金子 康子¹

(¹埼玉大・院・理工, ²埼玉大・科学分析支援センター)

PL-025

ゼニゴケ類の分枝の組織発生的研究

常塚 健裕¹, 嶋村 正樹²

(¹広島大・理・生物科学, ²広島大・院・理・生物科学)

PL-026

ゼニゴケ属における腹鱗片の比較形態学的研究

宮地 清佳¹, 山口 富美夫², 嶋村 正樹²

(¹広島大・理・生物科学, ²広島大・理・院・生物科学)

PL-027

レプリカ膨張顕微鏡法の開発

大槻 涼¹, 関本 弘之²

(¹駒澤大学・総合教育, ²日本女子大学・理)

PL-028

画像解析によるゼニゴケ精子走化性の定量化

土川 太輔, 大和 勝幸

(近畿大・院・生物理工)

PL-029

シロイヌナズナ大輪変異体リソースを用いた花器官サイズ制御機構の解析

Quoc Nhat Vuong¹, 風間 裕介², 石井 公太郎², 大部 澄江²,

國武 久登^{1,3}, 阿部 知子², 平野 智也^{1,2,3}

(¹宮崎大・院・農, ²理研・仁科センター, ³宮崎大・農)

光合成

PL-030

ヘテロシスト形成型シアノバクテリアと紅色光合成細菌を組み合わせた積層バイオリクターによる光生物学的水素生産

佐藤 剛, 永島 賢治, 櫻井 英博, 井上 和仁

(神奈川大・理)

PL-031

CO₂ 補償点の解析から明らかになってきた、針葉樹と被子植物の光呼吸の違い

宮澤 真一¹, 田原 恒¹, 深山 貴文¹, 鈴木 雄二², 飛田 博順¹,

伊原 徳子¹, 西口 満¹

(¹森林総合研究所, ²岩手大・農)

PL-032

イネ葉緑体タンパク質ジスルフィド結合還元開裂酵素 OsCYO1 はイネの短日生育に必須である

富永 淳¹, 高見 常明², 坂本 亘², 坂本 敦¹, 島田 裕士¹

(¹広島大学大学院理学研究科, ²岡山大学資源植物科学研究所)

PL-033

CO₂ 濃縮に必要な因子 LCIB がピレノイド周囲に局在する培養条件の再検討

松岡 俊樹, 豊川 知華, 山野 隆志, 福澤 秀哉

(京大・院・生命科学)

PL-034

緑藻 CO₂ 要求性変異株の単離と CO₂ 濃縮機構の制御因子の大規模探索

嶋村 大亮, 新川 友貴, 胡 東輝, 本庄 智也, 香西 紀子,

山野 隆志, 福澤 秀哉

(京大・院・生命)

PL-035

海洋性珪藻 *Thalassiosira pseudonana* における cAMP 依存的な CO₂ センシング機構の解明

清水 由紀, 中川 真佑, 斉藤 健人, 中島 健介, 辻 敬典,

松田 祐介

(関西学院大学大学院理工学研究科生命科学専攻)

PL-036

海洋性珪藻における葉緑体四重包膜のイオン濃度勾配解析技術の開発

屋代 愛美, 辻 敬典, 松田 祐介

(関西学院大学大学院理工学研究科生命科学専攻)

PL-037

ヘリオバクテリア及び紅色細菌の明暗及び培養条件による NAD(P)還元レベルと ATP レベルの変動

Wanwipa Ittarat¹, 佐藤 剛², 井上 和仁^{2,3}, 櫻井 英博³

(¹National Center, BIOTEC, Thailand, ²神奈川大学理学部, ³神奈川大学総合理学研)

細胞骨格

PL-038

タマネギ根端分裂組織の分裂準備帯形成に関与する核からのシグナル因子

大塚 礼己, 山内 大輔, 中井 朋則, 峰雪 芳宣
(兵庫県立大学大学院 生命理学研究科)

PL-039

ゼニゴケの胞子発芽に伴う微小管の動態

酒井 友希^{1,2}, 西浜 竜一³, 檜垣 匠⁴, 河内 孝之³,
馳澤 盛一郎¹(¹東京大・院・新領域・先端生命, ²東京大・院・理・生物科学,
³京都大・院・生命科学・統合生命, ⁴熊本大・IROAST)

PL-040

中心柱組織に発現するシロイヌナズナミオシン XI-F の機能解析

久保田 一輝¹, 段 中瑞^{2,3}, 中野 明彦⁴, 伊藤 光二⁵,
富永 基樹^{1,2,3}(早稲田大・院・先進理工, ²早稲田大・教育, ³JST・先端低炭素,
⁴理研・光量子工学, ⁵千葉大・院・生物)

PL-041

シロイヌナズナにおいて 13 種のミオシン XI は 8 種のアクチンと同様の親和性で結合するか?

藤澤 祐希¹, 薩 如拉², 諏訪 貴大², 貴嶋 紗久³, 原口 武士^{2,4},
富永 基樹^{4,5}, 上田 太郎³, 伊藤 光二^{2,4}(千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 生物学コース, ²千葉大学大学院理学研究科, ³早稲田大・院・先進理工・物理, ⁴科学技術振興機構・先端低炭素, ⁵早稲田大・教育)

PL-042

単子葉モデル植物ブラキポディウムにおけるミオシン 11 の GUS 発現解析

西島 智宏¹, 原口 武士^{2,3}, 玉那覇 正典¹, 木下 佳菜²,
伊藤 光二^{2,3}(千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 生物学コース, ²千葉大学大学院理学研究科, ³科学技術振興機構・先端低炭素)

PL-043

アクトミオシン系を用いた *in vitro* における原形質流動装置の構築吉村 考平¹, 鯉江 信慶², 原口 武士^{3,4}, 富永 基樹^{3,5},
平塚 祐一⁶, 伊藤 光二^{3,4}(千葉大学・院・融合理工学府・先進理化学・生物, ²千葉大学・院・理学研究科, ³科学技術振興機構・先端低炭素, ⁴千葉大学・院・理学研究科・生物学研究部門, ⁵早稲田大・教育, ⁶北陸先端科学技術大学院大学・マテリアルサイエンス研究)

PL-044

Cytoplasmic streaming; a primitive function of myosin XI conserved in land plants

Misato Tanaka¹, Zhongrui Duan², Takashi Ueda³,
Takehiko Kanazawa³, Kohji Ito⁴, Motoki Tominaga^{1,2}(Grad. Sch. Adv. Sci. and Eng., Waseda Univ., ²Fac. of Edu. and Int. Arts and Sci., Waseda Univ., ³Dept. of Cell Bio., Division of Cellular Dynamics, The National Inst. for Basic Bio., ⁴Dept. of Bio., Grad. Sch. Sci., Chiba Univ.)

細胞内小器官

PL-045

蛍光顕微鏡を用いた気孔葉緑体形成不全変異体の単離

宋 普錫, 山柿 将, 射場 厚, 柘宜 淳太郎
(九州大院・理)

PL-046

ミトコンドリア内膜に局在する機械受容チャネル MSL1 の気孔応答における役割

渡辺 健太, 泉田 颯太, 椎名 隆
(京都府立大学)

PL-047

シロイヌナズナの CAS リン酸化部位置換変異体におけるフラジェリン応答遺伝子の発現解析

桐島 祐貴, 上村 優奈, 水野 公貴, 石崎 陽子, 椎名 隆
(京都府立大・院・生命環境)

PL-048

シロイヌナズナの配偶体形成における膜交通制御因子の機能解析

海老根 一生^{1,2}, 上田 貴志^{1,2}
(¹基生研・細胞動態, ²総研大・基礎生物)

PL-049

人工オルガネラ分裂リングの合成と分子機構の解析

茂木 祐子, 吉田 大和
(茨城大・理・生物科学)

植物微生物相互作用

PL-050

ミドリゾウリムシ共生クロレラの細胞外へのマルトース輸送特性について

柴田 あいか, 高橋 文雄, 今村 信孝, 笠原 賢洋
(立命館大学)

PL-051

赤潮形成渦鞭毛藻は自由生活性バクテリアと相互作用しているのか?

鈴木 重勝, 山口 晴代, 河地 正伸
(国立環境研究所)

PL-052

サリチル酸シグナルの転写制御因子である NPR1 は MYC 転写因子のターンオーバーを制御することでジャスモン酸シグナルを抑制する

野元 美佳¹, 板谷 知健², 鈴木 孝征³, 塚越 啓央⁴, 松下 智直⁵, 時澤 睦朋⁶, 山本 義治⁶, 東山 哲也^{2,7}, Steven Spoel⁸, 多田 安臣¹

(¹名古屋大・遺伝子, ²名古屋大・院・理, ³中部大・応用生物, ⁴名城大・農, ⁵九州大・農, ⁶岐阜大・応用生物, ⁷名古屋大・WPI-ITbM, ⁸Sch. Biol. Sci. Univ. of Edinburgh)

PL-053

シロイヌナズナの表皮におけるムギ類赤かび病菌接種によるタンパク質の発現変動の解析

玉置 大介¹, 池田 大志², 唐原 一郎¹, 西内 巧³

(¹富山大・院・理工, ²富山大・理・生物, ³金沢大・学際・遺伝子)

PL-054

新規植物免疫活性化剤候補化合物の作用機構の解析

北畑 信隆^{1,6}, 齊藤 優歩¹, 中野 正貴¹, 石賀 康博³, 諸橋 賢吾¹, 来須 孝光⁴, 浅見 忠男⁵, 朽津 和幸^{1,6}

(¹東京理科大・理工, ²東京理科大・イメージングフロンティアセンター, ³筑波大・生命環境系, ⁴諏訪東京理科大・工, ⁵東大院・農生科, ⁶東京理科大・イメージングフロンティアセンター)

PL-055

NRSYM1 および NRSYM2 を介した硝酸に応答した根粒共生の制御

西田 帆那¹, 半田 佳宏¹, 鈴木 孝征², 伊藤 百代³, 野元 美佳⁴, 多田 安臣⁴, 征矢野 敬^{1,5}, 川口 正代司^{1,5}, 寿崎 拓哉³

(¹基生研・共生システム, ²中部大・応用生物, ³筑波大・生命環境, ⁴名大・院・理, ⁵総研大・生命科学)

PL-056

Development and senescence of infected cells in *Vicia faba* root nodules

Farhana Sharmin¹, Kimie Atsuzawa², Yasuko Kaneko^{1,3}

(¹Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, ²Comprehensive Analysis Center for Science, Saitama University, ³Faculty of Education, Saitama University)

成長生理

PL-057

CRISPR/Cas9 を用いたアサガオの光周性花成誘導における CONSTANS の機能解析

鷺塚 滯¹, 小野 公代¹, 渡邊 健太¹, 本山 星香¹, 樋口 洋平², 久保山 勉³, 白澤 健太⁴, 小野 道之¹

(¹筑波大・遺伝子, ²東京大・院・農学生命科学, ³茨城大・農, ⁴かずさDNA研)

PL-058

ジベレリン信号伝達に関与するカルシウム依存性タンパク質リン酸化酵素 NtCDPK1 の自己リン酸化による機能制御の解析

伊藤 岳¹, 石田 さらみ², 深澤 壽太郎¹, 高橋 陽介¹

(¹広島大・院・理・生物科学, ²東京大・院・理・生物科学)

PL-059

ゴマの種子発芽時における MATE 型アントシアニン輸送体の役割

中島 皇耀

(宮崎大学 大学院 農学専攻科 植物生産環境科学コース)

PL-060

窒素栄養による根の成長制御の数値モデル解析と実験的検証

榎根 美佳, 川口 正代司, 藤田 浩徳

(基生研)

PL-061

The Analysis of RTFL Family Function on the Control of Rhizoid Development in *Marchantia polymorpha*

Pin Guo¹, Tomoyuki Furuya¹, Takayuki Kohchi²,

Takehiko Kanazawa³, Takashi Ueda³, Hirokazu Tsukaya^{1,4}

(¹Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, ²Graduate School of Biostudies, Kyoto University,

³Division of Cellular Dynamics, National Institute for Basic Biology,

⁴Exploratory Research Center on Life and Living Systems)

生殖

PL-062

GCS1 発現抑制体における重複受精調査

大橋 ゆき乃, 井川 智子

(千葉大・院・園芸)

PL-063

イネの花粉形成に関わるカロス合成遺伝子の解析

上田 健治¹, 角田 美穂¹, 村上 若奈¹, 平塚 理恵², 櫻井 健二¹, 渡辺 明夫¹, 高橋 秀和¹, 赤木 宏守¹

(¹秋田県大・生物資源, ²慈恵医大・生物)

PL-064

ヤブラン雄原細胞の栄養細胞内への取り込み—FE-SEM による準超薄連続切片観察—

平塚 理恵¹, 鈴木 智子²

(¹慈恵医大・生物研, ²日本女子大学・理学部)

PL-065

宝蔵寺沼のムジナモの開花から種子発芽まで

金泉 大樹¹, 厚沢 季美江², 松島 久¹, 金子 康子¹

(¹埼玉大・院・理工学, ²埼玉大・科学分析支援センター)

PL-066

イネ減数分裂細胞における細胞質 RNA 顆粒因子 MEL2 の機能ドメイン解析

三村 真生¹, 小野 聖二郎¹, 野々村 賢一^{1,2}(¹国立遺伝学研究所 実験圃場, ²総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻)

PL-067

母性遺伝メカニズムの解明に向けたクラミドモナス有性生殖のゲノム編集アプローチ

浜地 貴志¹, 山岡 尚平², 鹿内 利治¹, 西村 芳樹¹

(1京大・院理・生科, 2京大・院・生命)

PL-068

雌性配偶体による精細胞の放出方向制御の解析

須崎 大地¹, 大井 崇生², 友実 駿¹, 榎本 早希子³, 荒井 重勇³, 木下 哲¹, 丸山 大輔¹

(1横浜市大・木原生研, 2名大・院・生命農学, 3名大・未来材料・システム研)

PL-069

花粉のゲノム編集

水多 陽子^{1,2}, 永原 史織², 東山 哲也^{2,3}

(1JST・さきがけ, 2名大・ITbM, 3名大・院・理)

生態

PL-070

半乾燥地域の灌木種の生長に及ぼすオゾン増加と水欠乏の複合影響

清水 英幸¹, 安萍², 鄭 元潤³, 許 振柱³

(1国立環境研究所, 2鳥取大学・乾燥地研究センター, 3中国科学院・植物研究所)

PL-071

蘚苔類フロラ調査による岐阜市の自然環境評価

天本 匡宥, 山口 富美夫

(広島大・院・理・生物科学)

PL-072

コケ植物における高温・乾燥ストレス耐性の比較研究

桐生 賢太, 嶋村 正樹

(広島大・院・理・生物科学)

PL-073

広島県宮島へ侵入が確認された外来樹木ナンキンハゼについて

坪田 博美^{1,2}, 諸石 智大³, 川崎 雅裕², Quynh Chi Phan², 内田 慎治^{1,4}

(1広島大・院・理・宮島, 2広島大・院・理・生物科学, 3元 広島大・院・理, 4広島大・技術センター)

PL-074

アブラナ科ハクサンハタザオにおける葉面クチクラワックスの標高二型とその機能

湯本 原樹¹, 本庄 三恵¹, 佐々木 結子^{2,3}, 太田 啓之^{2,3}, 工藤 洋¹

(1京都大・院・理・生態学研究センター, 2東工大 生命理工学院, 3OPERA)

PL-075

侵略的外来植物セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* の繁殖戦略について三浦 壮太¹, 林 蘇娟²

(1島根大・院・理・生物資源科学, 2島根大・生物資源科学)

PL-076

高知県中東部沿岸および愛媛県西部における Google マップを用いたダンチクの分布調査 —ダンチクは津波避難の目印に使えるのか?—

佐久間 洋¹, 森脇 直人², 堀澤 栄³, 井上 雅裕¹

(1愛媛大・院・理工, 2愛媛大・理, 3高知工科大・環境理工)

PL-077

A Genetic Study on Two Different Morphotypes of *Zostera marina* in Seto Inland SeaAdriani Mutmainnah^{1,2}, Yuya Inoue^{3,4}, Hiromi Tsubota¹

(1Department of Biological Science, Graduate School of Science, Hiroshima University, 2Research and Development Center for Marine, Coast and Small Islands, Hasanuddin University, 3Hattori Botanical Laboratory, 4Cooperative Research Fellow of Natural History Museum and Institute, Chiba)

発生

PL-078

ゼニゴケの MYB 型転写因子 GCAM1 による幹細胞制御機構の解析

安居 佑季子¹, 塚本 成幸¹, 西浜 竜一², 深城 英弘¹, 三村 徹郎¹, 河内 孝之², 石崎 公庸¹

(1神戸大・院・理, 2京都大・院・生命科学)

PL-079

シロイヌナズナ側根形成能が顕著に低下する *fewer roots* 変異体のサプレッサー変異体の解析田井中 芳樹¹, 郷 達明^{1,2}, 石崎 公庸¹, 三村 徹郎¹, 深城 英弘¹

(1神戸大・院・理, 2奈良先端大・バイオ)

PL-080

シロイヌナズナ側根形成を抑制する TOLS2 ペプチドに対する応答異常変異体の解析

西丸 陸¹, 青木 優佳¹, 雨川 智美¹, 豊倉 浩一^{1,2}, 篠田 明德¹, 郷 達明^{1,3}, 石崎 公庸¹, 三村 徹郎¹, 深城 英弘¹

(1神戸大・院・理, 2大阪大・院・理, 3奈良先端大・バイオ)

PL-081

フタバネゼニゴケ無性芽の葉状体への分化過程での不等成長
 月山 皓太¹, 花田 俊樹², 小塚 俊明², 嶋村 正樹²
 (1)広島大・理・生物科学, (2)広島大・院・理・生物科学)

PL-082

サギソウの花形態形成に関する遺伝子発現解析
 西川 友貴¹, 立花 耕¹, 坂本 智昭², 木村 成介², 武田 征士¹
 (1)京都府大・院・生命環境科学, (2)京都産業大・院・生命科学)

PL-083

Rorippa aquatica を用いた葉断面からの栄養繁殖機構の解析
 天野 瑠美¹, 中山 北斗², 桃井 理沙¹, 郡司 玄³, 竹林 裕美子⁴,
 坂本 智昭¹, 笠原 博幸⁵, Ali Ferjani⁶, 木村 成介¹
 (1)京産大・総合生命, (2)カリフォルニア大学デービス校, (3)東京学芸大・院・連合, (4)理研CSRS, (5)東京農工大GIR, (6)東京学芸大・教育・生命)

PL-084

MpCLE1 遺伝子領域の部分的破壊によるゼニゴケ分裂組織活性の調節
 高瀬 雄基, 平川 有宇樹, 清末 知宏
 (学習院大・理・生命科学)

PL-085

MpCLE2 ペプチドによるゼニゴケの幹細胞機能増強効果
 藤本 童子, 平川 有宇樹, 清末 知宏
 (学習院大・理)

PL-086

シロイヌナズナの表皮分化に必須な ATML1 と PDF2 に相同なゼニゴケ遺伝子の解析
 磯山 彰吾, 古本 拓也, 本瀬 宏康, 高橋 卓
 (岡山大学自然科学研究科植物発生研究室)

PL-087

Tissue-targeted PPI hydrolysis in *fugu5* mutant background revealed that excess PPI triggers developmental defects cell-autonomously
 Shizuka Gunji¹, Gorou Horiguchi^{2,3}, Hirokazu Tsukaya^{4,5}, Ali Ferjani^{1,6}
 (1)United Graduated School of Education, Tokyo Gakugei University, (2)Department of Life Science, College of Science, Rikkyo University, (3)Research Center for Life Science, College of Science, Rikkyo University, (4)Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, (5)Okazaki Institute for Integrative Bioscience, National Institutes of Natural Sciences, (6)Department of Biology, Tokyo Gakugei University)

PL-088

The role of *PRESSED FLOWERb* in the morphogenesis of flattened unifacial leaf blade
 Xiaofeng Yin¹, Hirokazu Tsukaya^{1,2}
 (1)Graduate School of Science, The University of Tokyo, (2)ExCELLS, NINS)

PL-089

Biomechanical attunement among concentric tissues is a prerequisite for Arabidopsis flowering stem integrity
 Ali Ferjani^{1,2}, Mao Ooe¹, Mariko Asaoka¹, Shizuka Gunji², Hiroko Suzuki¹, Hikaru Kiyokawa¹, Gorou Horiguchi^{3,4}, Hirokazu Tsukaya^{5,6}
 (1)Department of Biology, Tokyo Gakugei University, (2)United Graduated School of Education, Tokyo Gakugei University, (3)Department of Life Science, College of Science, Rikkyo University, (4)Research Center for Life Science, College of Science, Rikkyo University, (5)Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, (6)Okazaki Institute for Integrative Bioscience, National Institutes of Natural Sciences)

PL-090

Angle of apical cell segmentation and its relationships to the leaf arrangement in mosses
 Diana Rios Poveda, Masaki Shimamura
 (Department of Biology, Graduate School of Science, Hiroshima University)

PL-091

光可塑性による葉の厚さの制御機構の解析
 星野 里奈¹, 塚谷 裕一^{1,2}
 (1)東大・院・理, (2)ExCeLLS, NINS)

分類, 系統, 進化

PL-092

小枝着生植物 (twig epiphyte) カヤランの共生菌相解明
 蘭光 健人¹, 山下 由美², 遊川 知久², 辻田 有紀¹
 (1)佐賀大学院農学研究科, (2)国立科学博物館筑波実験植物園)

PL-093

菌従属栄養植物クロヤツシロランの共生培養系の確立
 島崎 茜¹, 檜垣 佳奈¹, 蘭光 健人¹, 山下 由美², 遊川 知久², 辻田 有紀¹
 (1)佐賀大学, (2)国立科学博物館筑波実験植物園)

PL-094

西表島マングローブ林内に生育する *Neolepidozia mamillosa* について
 西畑 和輝, 嶋村 正樹, 山口 富美夫
 (広島大院・理・生物科学)

PL-095

日本産マツナ属植物の系統関係
 太田 順子¹, 井上 侑哉^{2,3}, 坪田 博美⁴, 中西 弘樹⁵, 岡 浩平⁶
 (1)現所属: 計測リサーチコンサルタント, 元所属: 広島工業大・環境・地球環境, (2)服部植物研究所, (3)千葉中央博・共同研究員, (4)広島大・院・理・宮島, (5)重熱帯植物研究所, (6)広島工業大・環境)

PL-096

満鮮要素植物ツチグリとヒロハヤマヨモギにおける葉緑体DNAの地理的変異仁木 教陽¹, 藤本 啓嗣¹, 平良 玲央奈¹, 三山 留莉乃¹,
副島 顕子², 岩崎 貴也³, 池田 啓⁴, 藤井 紀行²(¹熊本大学理学部理学科生物学コース, ²熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門生物科学分野, ³神奈川大学理学部生物科学科, ⁴岡山大学資源植物科学研究所)

PL-097

多様なストレプトファイツ類のゲノム解読西山 智明¹, 土金 勇樹², 山口 勝司³, 重信 秀治³,
野崎 久義⁴(金沢大学・学際, ²日本女子大・理, ³基生研, ⁴東大・院理・生物)

PL-098

ウルシ及び近縁種の葉緑体ゲノムシーケンス石崎 陽子^{1,2}, 桐島 祐貴², 菅 裕³, 椎名 隆², 北島 佐紀人¹(京都工芸繊維大学, ²京都府立大学, ³県立広島大学)

PL-099

湧水湿地に自生するトキソウの遺伝的多様性の評価赤尾 奈緒子¹, 南山 泰宏²(京教大・院・環セ, ²京教大・環セ)

PL-100

キビシロタンポポとヤマザトタンポポの外部形態とフェノロジー阪本 愛¹, 坪田 博美², 井上 侑哉^{3,4}(愛媛大・SSC, ²広島大・院・理・宮島, ³服部植物研究所, ⁴千葉中央博・共同研究員)

PL-101

モウセンゴケ属の開花時期による接触刺激における花閉鎖反応の実体渡邊 幹男¹, 田川 一希², 佐野 聖¹, 大崎 遥花³, 矢原 徹一⁴(愛教大・生物, ²鳥取短大・幼児教育, ³九大・院・シス生, ⁴九大・理・生物)

PL-102

Comparison of Flora under Street Trees between Seoul and Tokyo with the web-based platform, Street Tree Flora DatabaseYongsung Kim^{1,2,3}, Jihun Yeon^{1,2}, Hyejung Kim^{1,2},Jongsun Park^{1,2}(Infoboss Co Ltd., ²Infoboss Research Center, ³Department of Biological Sciences, Sungkyunkwan University)

PL-103

Comparative pollen morphology of *Kirengeshoma palmata* and *K. koreana* (Hydrangeaceae)Choi Hayeon¹, Lee Hojeong¹, Sakiko Mitsuyama²,Heo Kweon¹(College of Agriculture & Life Science, Kangwon National University, ²Rokko Alpine Botanical Garden)

理科教育

PL-104

スイバの倍数体と染色体異常個体の減数分裂, 性表現, 次代の染色体構成

岩坪 美兼

(富山大・理)

PL-105

植物細胞のつくりとはたらきを分かりやすく伝える方法の検討

亀田 周諭, 厚沢 季美江, 金子 康子

(埼玉大学)

PL-106

学校教育, 社会人教育のフィールド学習として, 地衣類を活用する

宮脇 博巳

(佐賀大学教育学部)

PL-107

構内ビオトープ池を活用した微細藻類に着目した教養教育のための環境教育教材の開発

幡野 恭子, 大野 理沙, 野口 哲子

(京都大・院・人環・相関環境学)

高校生研究ポスター発表 プログラム

H-1

総苞外片の形状と DNA の関係
～広島城敷地内のタンポポ調査～

佐藤 桃香, 日野本 みのり, 河野 夏実, 永井 静
(安田女子高等学校 ヤスダンデライオンズ)

H-2

宮島の樹木の植生の研究

武内 泰治
(AICJ 高等学校 科学チャレンジ同好会)

H-3

化石花粉から見たミツガシワ自生地における植生変遷

木村 里音, 後藤 歩, 北郷 千夏, 大蔵 朱音, 谷本 千苑
(大分県立日田高等学校 生物班)

H-4

なぜ古後にミツガシワ!?
～絶滅危惧種ミツガシワの謎を追え～

中野 智宏, 丑田 智佳, 深津 麻倫, 塚田 多映子
(大分県立日田高等学校 科学部ミツガシワ班)

H-5

樹皮生粘菌によるスギ樹皮の生体防御:
高齢化した樹幹では粘菌相が変化するのだろうか

藤川 綾弥, 堀 明日香, 城 晴道, 大平 涼太, 山崎 裕弥
(岡山理科大学附属高等学校 科学部)

H-6

スギの樹勢劣化による樹皮常在微生物への影響:
樹皮生粘菌は樹勢により変わるのだろうか

戸川 祐太, 藤井 拓洋, 堀 明日香, 山崎 裕弥
(岡山理科大学附属高等学校 科学部)

H-7

身近なコケを用いた金属イオンの回収

河本 隆子, 廣田 杏, 藤原 千穂, 邑岡 美嘉
(広島大学附属高等学校 科学研究班)

H-8

水カビを用いた水質浄化技術の開発

仲山 誉
(大阪府立園芸高等学校 バイオ研究部)

H-9

紅色非硫黄細菌による水浄化

恵美 羽奏, 片山 美里, 新畑 希実
(広島県立広島国泰寺高等学校 光合成細菌チーム)

H-10

屋上緑化の効果を高めるには? 植物の混植 vs マルチング

澤野 咲来, 篠原 咲希音, 松岡 達也
(東京都立忍岡高等学校, 東京大学教育学部附属中等教育学校,
東京大学農学部, 江戸川区共育プラザ平井, 屋上緑化研究チーム)

H-11

学校周辺より得られた菌類による紙分解能力についての研究
～バイオマスとしての古紙や落ち葉の利用を目指して～

小栗 健, 野田 晏伎, 板垣 都亜
(福岡県立城南高等学校 生物部)

H-12

里山を利用した循環型社会の構築～森林樹木調査を通して～

新谷 浩矢, 川本 愛佳, 井上 雄次郎, 上垣 将詞
(広島県立西条農業高等学校 緑地土木科3年 測量班)

H-13

サツキツツジ盆栽苗木の栽培研究
～サツキ EU 輸出プロジェクト～

黒子 はるか, 篠原 亮太, 沼尾 拓弥, 三井 瑠南
(栃木県立鹿沼南高等学校 環境緑地科)

H-14

オーキシンの種類によるカキツバタ花蕾からの不定組織等の
形成差異

伊東 和継, 西田 もえ, 武田 滯奈, 野々山 かりん, 埜 花音,
葉山 美菜
(愛知教育大学附属高等学校 課外研究 カキツバタ班)

H-15

菊栽培～挿し芽の新技术と海外輸出～

藤井 美帆, 岸根 遼子, 須崎 伸, 大石 竜史
(大阪府立園芸高等学校 菊鉢物班)

H-16

コチョウラン根端からの個体再生～PLB増殖から開花まで～

山田 菜月, 藤井 美帆, 宮田 真
(大阪府立園芸高等学校 植物バイオ部)

H-17

植物 *in-vitro culture* における培地への糖転化の必要性とは
＜添加糖は栄養源ではなく浸透圧調整を担う＞

林 知輝
(大阪府立園芸高等学校 バイオ研究部)

H-18

ササユリのリン片無菌培養における産出地域別の低温条件
への適応能力

三明 時也, 高橋 美乃
(大阪府立園芸高等学校 バイオ研究部)

H-19

栄養欠損培地がケイトウの生育におよぼす影響

谷 萌々香, 杉本 萌唯
(大阪府立園芸高等学校 バイオ研究部)

H-20

多賀城高校の松枯れの原因を探る

大江 透真, 市川 一紀, 伊藤 瑛玲奈
(宮城県多賀城高等学校 SS科学部)

H-21

水生食虫植物ムジナモの消化と吸収の仕組み

笠原 真珠
(埼玉県立川越女子高等学校 ムジナモ！)

H-22

ウツボカズラの生き残り戦略～捕虫器内の液体の謎に迫る～

川崎 康生, 橋本 綾華, 新井 豊信, 河村 夏輝, 中原 憧哉,
児玉 悠泰, 尾道 祐子, 川本 龍馬, 福島 翼
(広島県立西条農業高等学校 自然科学部)

H-23

なぜタンポポの葉は形が変わっていくのか

桑島 知優
(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 課題研究)

H-24

根で光合成を行うキロスキスタはどのように気体を交換しているのか

佐藤 潤苑
(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 課題研究)

H-25

STYプロジェクト ～ウキクサを嫌われものから人気者へ～

重田 吏駒, 田中 睦真, 山崎 一真
(広島県立広島国泰寺高等学校 生物班2年)

H-26

カテキンの効果

林 真優, 麦島 さ瑛, 原 菜桜, 林 智葉
(岐阜県立恵那高等学校 理数科)

H-27

樹体内の非破壊水分測定法の開発

山崎 大地, 児玉 悠泰
(広島県立西条農業高等学校 園芸科 果樹専攻班)

H-28

***Pseudogoniochloris* sp. の生活環**

森脇 結唯, 横田 隼人, 青木 春樹, 安食 昂輝
(鳥根県立出雲高等学校 自然科学部生物班)

H-29

オジギソウの葉が閉じなくなる現象について

鎌田 彩音, 木上 晴登, 首藤 大輝, 藤井 優子, 湯川 綾
(広島県立広島国泰寺高等学校 オジギソウチーム)

H-30

西条盆地の希少植物「サイジョウコウホネ」の生育調査と保存

上野 泰嗣, 日名田 祐希, 眞崎 健太, 森脇 大貴, 三宅 知央
(広島県立西条農業高等学校 生物工学科 植物バイオテクノロジー班)

H-31

シダ植物の雑種に関する基礎的研究:**日本産イノデ属植物を用いた研究**

長崎 涼平, 梶山 裕之, 堺 丈, 寺河 知夏, 光井 涼典,
早稲田 要
(広島県立祇園北高等学校 科学研究部 生物班)